

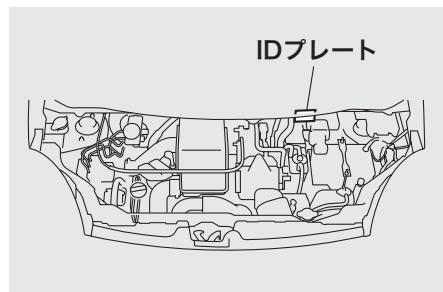
ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、IDプレートをご覧ください。

ご愛車のメモ	
車名および 車両型式	車名： 型式：
車台番号	
エンジン型式	K6A型
車体色記号	
機種記号	
トランス ミッション	オートマチックミッション
ナンバープレート (車両番号)	
ご購入年月日	年 月 日

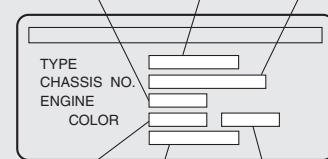
IDプレート

エンジンルームに貼付しております。



81J00011

エンジン型式 車両型式 車体番号



車体色 仕様記号 車体色と内装
色の組合せ
コード

81J00021

1. イラストもくじ
2. 必読！ 安全なドライブのために
3. 運転装置の取扱い
4. 安全装備の取扱い
5. 快適装備の取扱い
6. お車との上手なつきあいかた
7. 万一のとき
8. サービスデータ
9. さくいん

イラストもくじ 1-2

1

必読！ 2-2

2

ドアの開閉 3-2
警報装置 3-12
各部の開閉 3-15
シートの調節 3-21
各部の調節 3-29
メーター 3-32

3

シートベルト 4-2
SRSエアバッグ 4-8
ABS 4-16

4

エアコン、ヒーター 5-2
オーディオ 5-14
室内装備 5-15

5

お手入れ 6-2
寒冷時の取扱い 6-5

6

パンク 7-2
バッテリーあがり 7-8
ヒューズ切れ 7-10

電球切れ 7-12
オーバーヒート 7-13
その他 7-14

7

サービスデータ 8-1

8

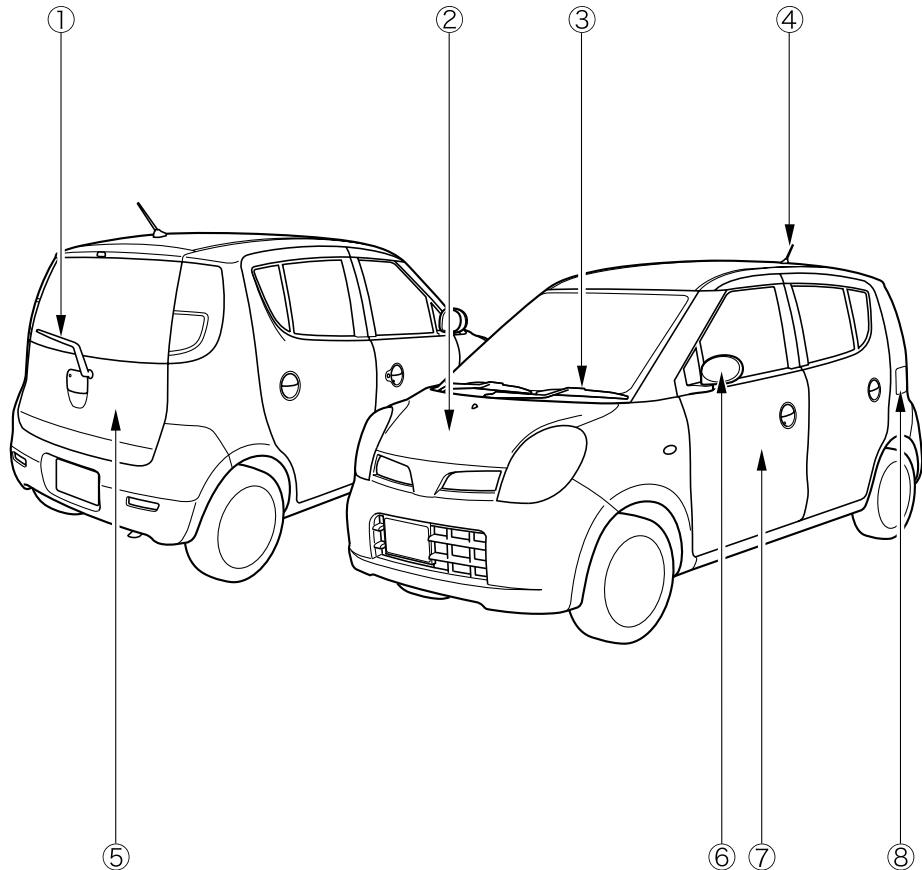
さくいん 9-1

9

1. イラストもくじ

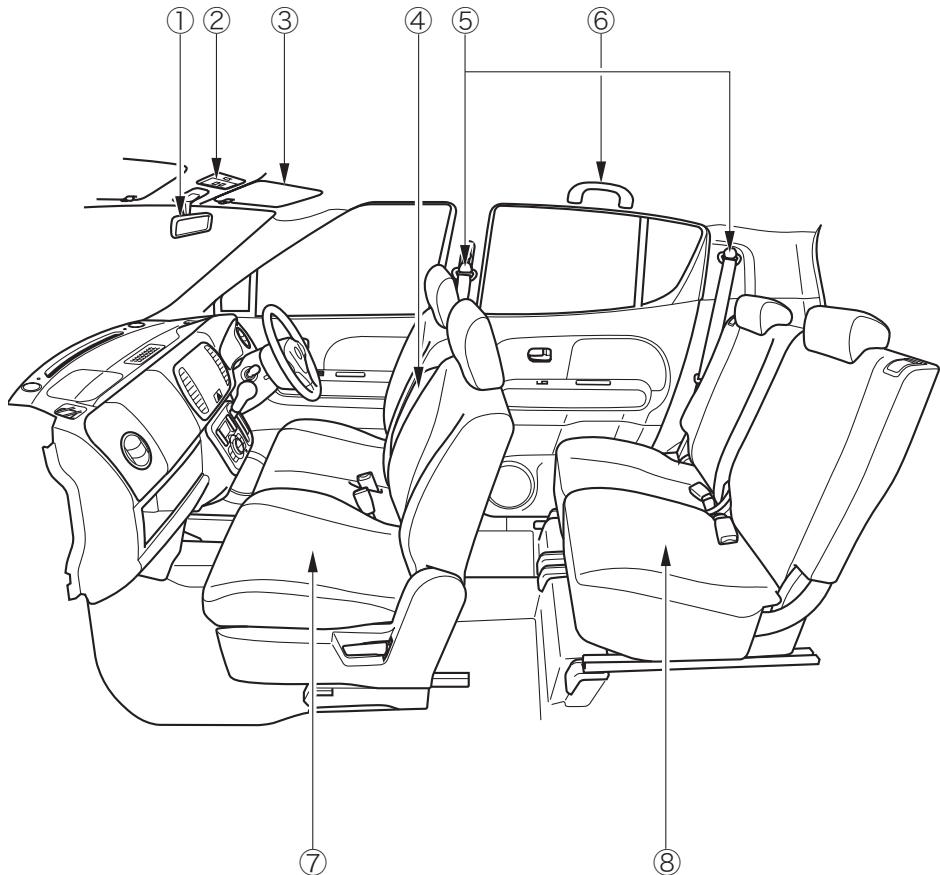
イラストもくじ

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。



81J10010

①リヤワイパー	3-45	⑥ドアミラー	3-29
②ボンネット	3-18	⑦ドア	3-3
③フロントワイパー	3-45	⑧燃料給油口 (フューエルリッド)	3-20
④アンテナ	5-14		
⑤バックドア	3-4		

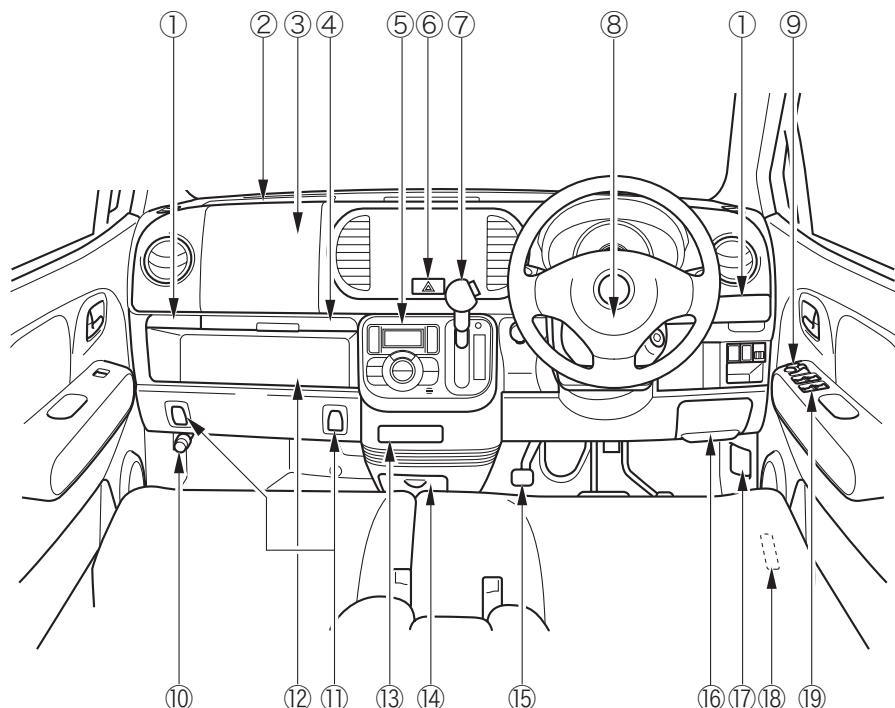


81J10021

①ルームミラー	3-29	⑤シートベルト	4-2
②ルームランプ.....	5-15	⑥格納式アシストグリップ ..	5-26
③サンバイザー	5-16	⑦前席シート	3-21
④フロントセンター アームレスト.....	5-21	⑧後席シート	3-24

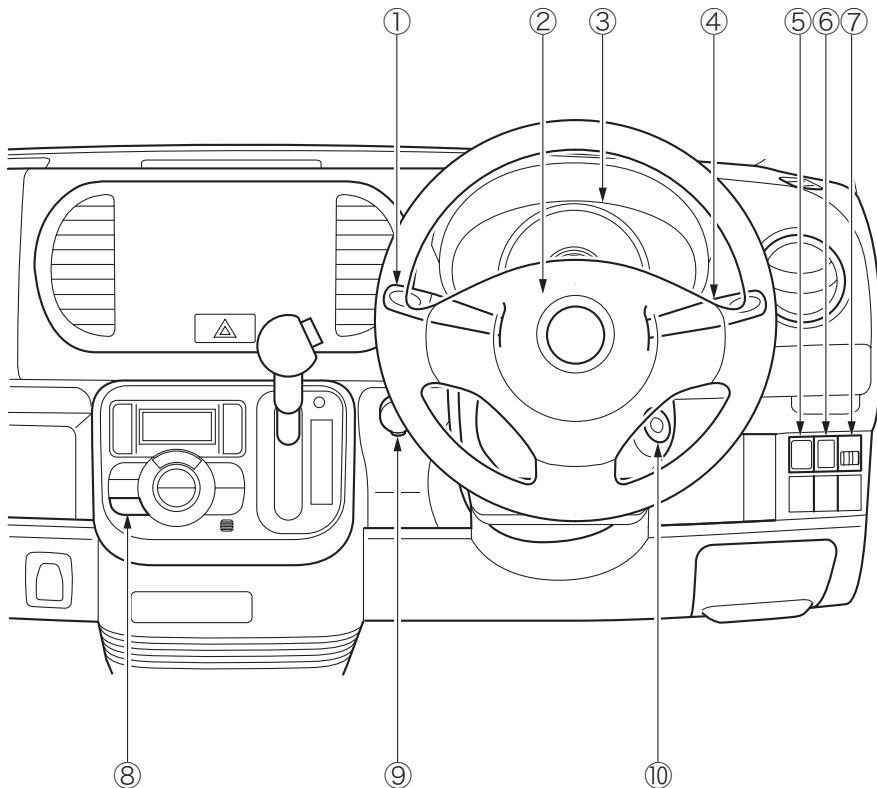
1. イラストもくじ

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。



81J10031

①フロントカップホルダー	5-19	⑩発炎筒	7-14
②助手席SRSエアバッグ	4-11	⑪買い物フック(2個)	5-18
③リッド付インパネ ボックス	5-16	⑫助手席大型ポケット	5-18
④助手席インストアッパーボード (スライド式)	5-17	⑬カードケース	5-18
⑤エアコン、ヒーター	5-2	⑭インストセンター ロアボックス	5-18
⑥非常点滅灯スイッチ	3-44	⑮パーキングブレーキ	3-53
⑦セレクトレバー	3-54	⑯運転席アンダーボックス	5-20
⑧ホーンスイッチ	3-46	⑰ボンネットオープナー	3-18
⑨ドアミラー角度調節／格納 スイッチ	3-29	⑱フューエルリッド オープナー	3-20
		⑲パワーウィンドースイッチ	3-15

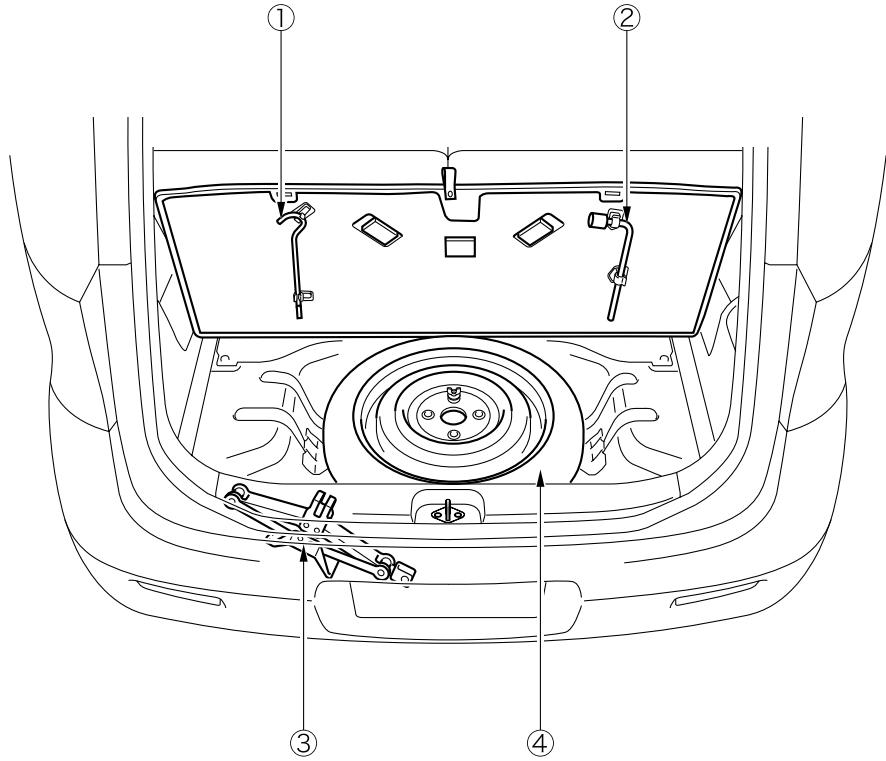


81J10041

- | | | | |
|---------------------------|------|--|------------|
| ①ワイパー／ウォッシャー
スイッチ..... | 3-44 | ⑥フォグランプスイッチ | 3-47 |
| ②運転席SRSエアバッグ | 4-11 | ⑦ヘッドランプレベライザー
スイッチ | 3-43 |
| ③メーター | 3-32 | ⑧リヤデフォッガースイッチ
ヒーター付ドアミラー非装備車 | 3-46 |
| 警告灯..... | 3-35 | ドアミラーヒーター &
リヤデフォッガースイッチ
ヒーター付ドアミラー装備車 | 3-31, 3-46 |
| 表示灯..... | 3-35 | ⑨電源ソケット | 5-20 |
| ④ライトスイッチ | 3-41 | ⑩エンジンスイッチ | 3-47 |
| 方向指示器スイッチ | 3-44 | | |
| ⑤チケットホルダー | 5-20 | | |
| 運転席ヒーターシート
スイッチ..... | 3-23 | | |

1. イラストもくじ

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。



81J10050

①ジャッキバー	7-2
②ホイールナットレンチ	7-2
③ジャッキ	7-2
④応急用スペアタイヤ	7-2

2. 必読！ 安全なドライブのために

とくに重要な項目ですのでしっかりお読みください。

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRS エアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守とともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

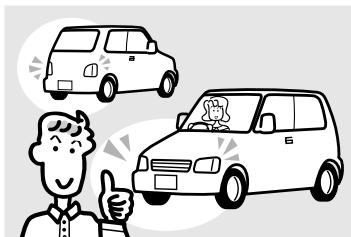
出発の前に（お車の確認）	2-2
荷物を積むときは	2-3
お子さまを乗せるときは	2-4
運転席に座って	2-8
エンジンをかけるときは	2-9
走行するときは	2-10
駐車するときは	2-14
給油するときは	2-16
オートマチック車を運転するときは	2-18
SRSエアバッグ車を運転するときは	2-19
4WD車を運転するときは	2-20
ターボ車を運転するときは	2-21
こんなことにも注意して	2-22
エコドライブをしましょう	2-25

2. 必読！安全なドライブのために

必
読
！

出発の前に（お車の確認）

日常点検を確実に



81J20010

お車の走行距離、使用状態から判断した適切な時期に実施してください。

→ メンテナンスノート（日常点検）

こんな症状に気づいたときは



81J20020

▲注意

- 次のような場合は日産販売会社で点検を受けてください。
 - 地面に油や液の漏れたあとが残っている
 - ブレーキ液が不足している
 - いつもと違うにおい、音、振動がある
 - ハンドルやブレーキを操作したときの感じがいつもと違う

タイヤの空気圧をチェック

• 必ず定期的に点検・調整してください。この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認できます。

→ メンテナンスノート（日常点検）



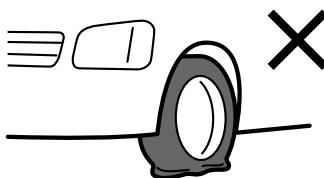
空気圧ラベル

81J20030

- 空気圧が不足したまま走行すると、タイヤの両端が摩耗する原因となります。また、燃費が悪くなります。
- 扁平タイヤ (165/55R14 72V) は、見た目では空気圧の不足がわかりにくいので注意が必要です。

▲注意

- 空気圧が極端に低いまま走行すると、タイヤがバースト（破裂）して思わぬ事故につながるおそれがあります。



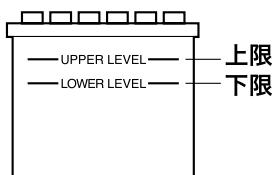
81J20040

2. 必読！安全なドライブのために

●指定空気圧を守らないと、走行安定性が悪化したり、ブレーキをかけたときの制動距離が伸びたりするなどして、車の性能が十分に発揮できません。さらに、思わぬ事故につながったり、故障の原因となったりするおそれがあります。

- ABS（アンチロックブレーキシステム）の場合、正確な速度が検出できなくなり、ABSが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。

バッテリーの液面を点検する



81J20050

バッテリー液面が下限より下にあるときは、バッテリー補充液を上限まで補給してください。

→ メンテナンスノート（日常点検）

！警告

バッテリー液が不足すると、発熱や爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

排気管も点検



81J20060

排気管に穴やひび割れがないか、ときどき点検してください。

！警告

排気管に漏れがあると、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒を起こすそれがあります。異常を感じたときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。

荷物を積むときは

燃料や薬品が入った容器、スプレー缶などを車内に持ち込まない



81J20070

！警告

引火や爆発のおそれがあります。

必
読
！

2. 必読！安全なドライブのために

荷物を積み過ぎない



81J20080

！警告

運転視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いたりして、安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故で助手席SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、助手席SRSエアバッグがふくらんだときにとばされたりして、けがのおそれがあります。

▲注意

車内に手荷物を積み重ねないでください。視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキで荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

荷物の積み過ぎは、車体や走行に悪影響をおよぼします。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して

▲注意

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

インパネの上に物を置かない



81J20090

お子さまを乗せるときは

いつもより慎重に安全を確保し、スピードを控えめに安全運転を心がけましょう。

お子さまは後席に乗せる



51K0188

- できるだけ大人が隣にすわり、お子さまを見守ってください。
- 後席のお子さまが走行中にドアを開けないように、チャイルドブルーフをご使用ください。
→ 3-6ページ(チャイルドブルーフ)

2. 必読！安全なドライブのために

！警告

- 助手席に乗せると、お子さまの不意の動作が気になったり、お子さまがいたずらしたりして、運転のさまたげになるおそれがあります。
- やむをえず助手席に乗せるときは、助手席シートをいちばん後ろの位置にしてください。助手席シートを前に出していると、SRSエアバッグがふくらんだときの衝撃でお子さまがけがをするおそれがあります。



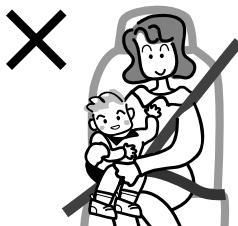
81J20120

- 首がすわっていないお子さま、ひとりすわりのできないお子さまには乳児用チャイルドシートを使用してください。

お子さまもシートベルトを着用

！警告

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。しっかり抱いていても、衝突のときなどに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



81J20110

- 後席でも必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトは一人用です。一本のシートベルトを二人以上で使用しないでください。
- シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまには、チャイルドセーフティシートやジュニアセーフティシートをご使用ください。シートベルトを正しく使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトで遊ばせない



81J20130

！警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくに後席のチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合、ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいるときに誤ってこの機構が作動すると、ベルトが引き出せなくなり、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一の場合はハサミでベルトを切断してください。

必
読
！

2. 必読！安全なドライブのために

小さなお子さまはお子さま用シートへ

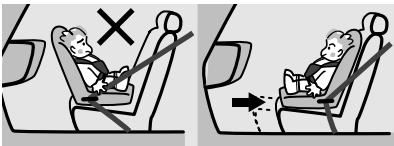
• お子さま用シートの選択の目安 (日産純正用品の場合)

	体重 (kg)	参考 身長 (cm)	参考 年齢
チャイルドセーフティシート (後向き用)	新生児～ 13未満	新生児～ 85未満	新生児～ 18か月頃
チャイルドセーフティシート (前向き用)	9～18 以下	70～ 100以下	9か月頃～ 4才頃
ジュニアセーフティシート	15～ 36以下	100～ 150未満	3才頃～ 12才頃

- 取付け方法や取扱いなどについては、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取付けができないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書でよくご確認ください。
- 乳児用チャイルドシートなど後ろ向きしか使用できないお子さま用シートは、必ず後席に取り付けてください。
- チャイルドセーフティシート、ジュニアセーフティシートも後席に取り付けるのがいちばん安全と言われています。
- 後席には、チャイルドシート固定機構付シートベルトがついています。
→ 4-7ページ（チャイルドシート固定機構付シートベルト）

! 警告

- 助手席には、乳児用チャイルドシートなどのお子さま用シートを後ろ向きに取り付けないでください。助手席SRSエアバッグがふくらむと、お子さま用シートの背面に強い衝撃が加わり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- やむをえず助手席にチャイルドセーフティシートやジュニアセーフティシートを取り付けるときは、シートをいちばん後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



81J20140

- 走行する前に、お子さま用シートが確実に固定され、ガタつき、ゆるみなどがないことを確認してください。

2. 必読！安全なドライブのために

- お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んで、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さま用シートを使用していても、お子さまの安全の確保には限界があります。スピードは控えめにして、安全運転に心がけてください。
- 万一の事故でお子さま用シートに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。いざというときに性能を十分発揮できないおそれがあります。

お子さまが自分でパワーウィンドーを操作しないように、ウインドーロックスイッチをご使用ください。

→ 3-16ページ
(ウインドーロックスイッチ)

▲注意

お子さまの手足や首をはさまないように、大人が開閉や調節を行なってください。

▲注意

お子さま用シートは、お子さまを乗せていないときでもしっかりとシートに取り付けるか、または、使用しないときは荷室に収納してください。シートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときに乗員や物にあたるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

窓から顔や手を出さない



81J20160

ドアやウインドーの開閉、シートの調節は大人が行なう



81J20150

!警告

お子さまが手や顔などを出さないように注意してください。急ブレーキで重大な傷害を受けたり、転落のおそれがあります。また、車外の物などにあたって重大な傷害を受けるおそれがあります。

2. 必読！安全なドライブのために

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さない



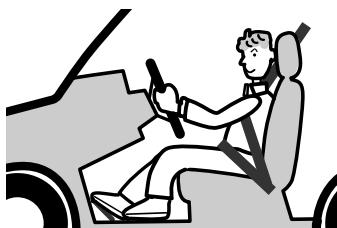
81J20170

⚠️ 警告

- 炎天下の車内は高温になり、お子さまが熱射病にかかるおそれがあります。
- お子さまのいたずらで、車の発進や火災などの事故を起こすおそれがあります。
- エンジンをかけてエアコンをつけていても、車内にお子さまだけを残さないでください。

運転席に座って

ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に

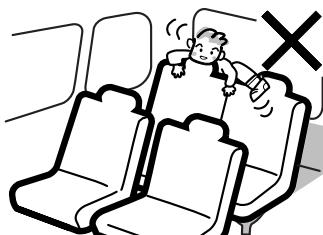


81J20190

⚠️ 警告

- 走行中にハンドルやシートを調節すると、ハンドル操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。
→ 3-31ページ
(チルトステアリング)
→ 3-21ページ (前席シート)
- 背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

お子さまを荷室に乗せない



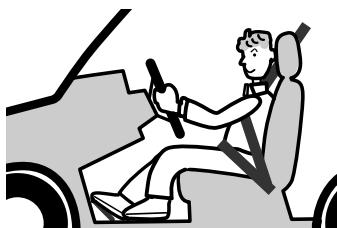
81J20180

⚠️ 警告

荷室は人が乗る構造になっていません。お子さまを乗せないでください。急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。停車中もお子さまを荷室で遊ばせないでください。

運転席に座って

ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に



81J20190

⚠️ 注意

走行中にルームミラーやドアミラーを調節すると、前方不注意の原因となります。
→ 3-29ページ
(ルームミラー、ドアミラー)

シートベルトは正しく着用



65J106

2. 必読！安全なドライブのために

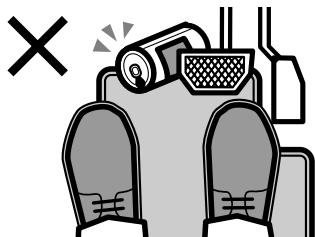
⚠ 警告

- 走行前にシートベルトを正しく着用してください。
- 助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。
→ 4-2ページ（シートベルト）

⚠ 警告

フロアマットを重ねて敷いたり、足元の形に合わないフロアマットを使用したりすると、ペダル操作のままたげになって思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近に物を置かない

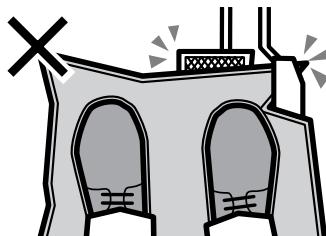


81J20210

⚠ 警告

- 空き缶などを足元に放置しないでください。ペダル操作ができなくなつて思わぬ事故につながるおそれがあります。

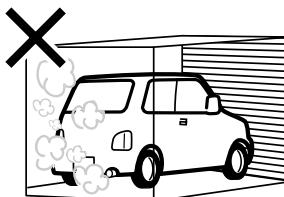
車に合ったフロアマットを使用する



81J20220

エンジンをかけるときは

換気が悪いところでエンジンをかけっぱなしにしない



81J20230

⚠ 警告

- 車庫の中など、換気が悪いところでエンジンをかけたままにする、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- エンジンをかけたままバックドアを開けっぱなしにしないでください。排気ガスが車内に侵入します。
- 車内で排気ガスのにおいがしたときは、すべての窓を全開にし、エアコン、ヒーターの内外気切替えを外気導入に切り替え、ファンを強にして換気します。換気してもにおいが消えないときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

2. 必読！安全なドライブのために

必
読
！

窓越しのエンジン始動はしない



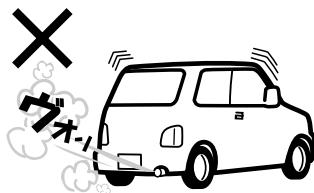
81J20240

▲注意

運転席にすわり、ブレーキペダルを踏んでからエンジンを始動してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

→ 3-51ページ
(エンジンのかけかた)

エンジン始動直後の空ぶかし、急加速をしない

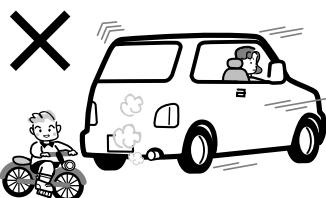


81J20260

エンジンオイルが暖まっていないので、暖機が完了するまでは空ぶかしや急加速をしないでください。エンジン故障の原因となります。

走行するときは

周囲をよく確認してから発進する



81J20250

▲注意

- 周囲の安全をしっかりと確認してから発進してください。
- バックミラーだけでは後方の安全が十分に確認できません。車を後退させるとときは、車からおりて自分の目で後方を確認してください。

携帯電話やカーナビゲーションなどに気を取られないで

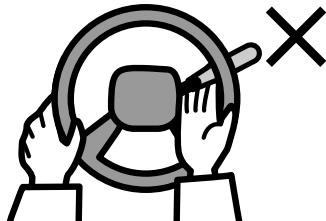


85K2114

▲注意

- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話などを使用しないでください。会話や電話の操作に気を取られ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は、走行中にテレビを見たり、カーナビゲーションやオーディオなどを操作したりしないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルの中に手を入れてスイッチなどを操作しない



81J20280

▲注意

走行中は、セレクトレバーをニュートラルにしないでください。エンジンブレーキがまったくきかないため、思わぬ事故の原因となります。

▲注意

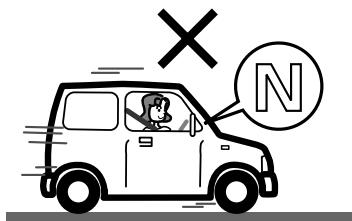
ハンドル操作のさまたげになり、思わぬ事故の原因となります。

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

▲注意

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ装置が過熱したりして、ききが悪くなるおそれがあります。

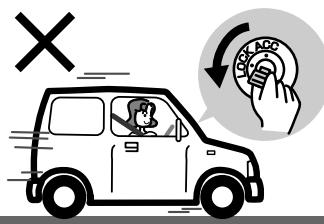
走行中はニュートラルにしない



81J20290

▲警告

- ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。
- パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。



81J20300

2. 必読！安全なドライブのために

こんなときどうする？

● 警告灯が点灯したら？

ただちに安全な場所に停車して処置をしてください。

→ 3-35ページ（警告灯）

● 床下に強い衝撃を受けたら？

ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料が漏れていないか、排気管などに異常がないか点検してください。異常が見つかったときは日産販売会社にご連絡ください。

● タイヤが突然パンクしたら？

ハンドルをしっかりと握り、慎重にブレーキをかけて徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

→ 7-2ページ（パンク）

● ブレーキペダルが重く感じたら？

車には、エンジンの負圧を利用してブレーキペダルを踏む力を軽減するブレーキ倍力装置がついています。エンジンの負圧が低下していると、ブレーキペダルを踏んだときに重く感じることがありますが、異常ではありません。そのままペダルを強く踏んでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキを使用する

長い下り坂ではエンジンブレーキ（※）を併用してください。アクセルペダルから足をはなし、走行速度に合わせて、次のようにします。

- オーバードライブ（O/D）スイッチをOFFにするか、セレクトレバーを②またはLにシフトダウンします。

→ 3-54ページ

（セレクトレバーの操作）

※エンジンブレーキとは、走行中にアクセルペダルから足をはなしたときに起こるブレーキ効果のことをいいます。エンジンブレーキは低速ギヤほどよくきます。

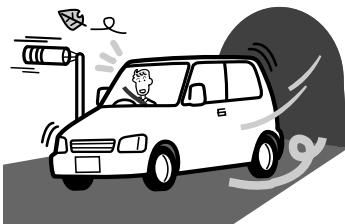


81J20310

！警告

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキがきかなくなるおそれがあります。

横風が強いときは



81J20320

2. 必読！安全なドライブのために

トンネルの出口や橋の上、大型トラックが通り過ぎるときなどに、横風を受けて車が横に流されることができます。あわてずハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落として進路を立て直してください。

滑りやすい路面ではゆっくり走る



▲注意

濡れた路面や凍結路、積雪路などでは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。スリップ事故につながるおそれがあります。

水たまりを高速で通り抜けない



81J20340

▲注意

水たまりや濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることがあります。これをハイドロブレーニング現象といい、ハンドルやブレーキがまったくきかなくなってしまう事故につながるおそれがあります。

水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキのききを確認



81J20350

▲注意

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキのききを確かめてください。
- ブレーキのききが悪いときは、ききが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

2. 必読！安全なドライブのために

冠水した場所は走行しない



81J20360

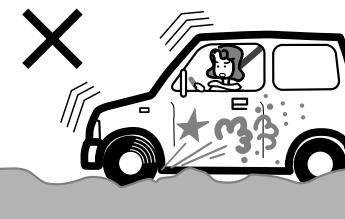
▲注意

- 冠水した場所や、深い水たまりを走行しないでください。エンスト、電装品のショート、エンジン破損などの原因になります。
万一、冠水した場所を走行したときは、ブレーキのききを確かめながら安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。また、次の項目などについて点検を受けてください。
 - ブレーキのきき具合
 - エンジン、トランスマッision、デファレンシャルなどのオイル量および質の変化（オイルが白濁している場合は、水が混入していますのでオイル交換が必要です）
 - ベアリング、ジョイント部などの潤滑不良

- 前進と後退を繰り返すときは、駆動装置などが損傷するおそれがあるため、次のことに注意してください。
 - セレクトレバーを確実に入れてからアクセルを軽く踏んでください。
 - 数回行なっても脱出できないときは、操作を中止してください。
 - タイヤの下に石や木を入れると脱出しやすくなります。

▲注意

- 脱出しようとする前に、必ず周囲の安全を十分に確認してください。勢いよく発進して事故を起こすおそれがあります。
- タイヤを高速で空転させないでください。タイヤが異常に過熱して破損したり、駆動装置が損傷するおそれがあります。



81J20370

駐車するときは

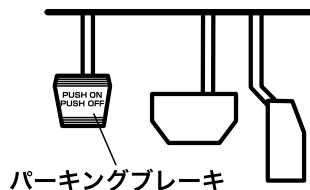
スタック（立ち往生）したときは

- ぬかるみや砂地などで、駆動輪が空転して脱出できなくなることをスタックといいます。

パーキングブレーキをしっかりとかけて

セレクトレバーを P に入れてください。

2. 必読！安全なドライブのために



81J20380



81J20390

必
読
！

- 坂道で駐車するときは、必ず次のことをお守りください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、車が動き出さないことを確認してください。
- 2 市販品の輪止めや石などでタイヤを固定し、車が動き出さないようにしてください。

⚠ 警告

急な坂道には駐車しないでください。
無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を移動するときはエンジンをかけて

⚠ 注意

坂道を利用して惰性で車を移動しないでください。ハンドルを回すときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起すおそれがあります。

エンジンをかけたまま仮眠しない

⚠ 警告

- 周囲の状況や風向きで排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して火災が発生するおそれがあります。

燃えやすい物の近くに駐車しない



81J20400

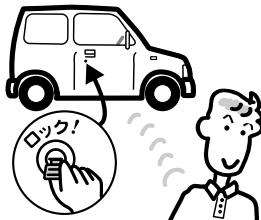
⚠ 注意

枯れ草、紙くず、ベニヤ板などの可燃物の近くに車を止めないでください。排気管や排気ガスが高温になるため、火災が発生するおそれがあります。

2. 必読！安全なドライブのために

必
読
！

車から離れるときはエンジンを止めてドアを施錠



81J20410

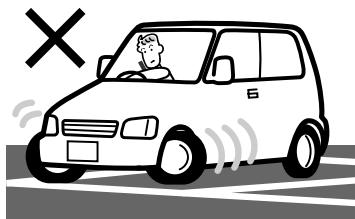
車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。

盗難のおそれがあります。

▲注意

エンジンをかけたまま車から離れないでください。火災や盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない



81J20420

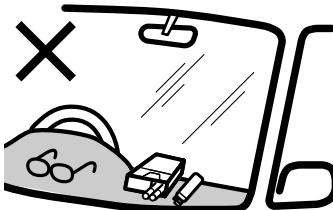
▲注意

駐車するときや車庫入れのとき、ハンドルをいっぱいにまわして力をかけた状態を長く続けれでください。パワーステアリング装置が損傷する原因となります。

車内にパソコンや携帯電話などを放置しない

盗難にあったり、水分や湿気または温度変化などにより故障したりするおそれがあります。

ライターやメガネなどを放置しない



81J20430

▲注意

- 炎天下で駐車するときは、車内にライターやスプレー缶、プラスチック素材のメガネやカード、炭酸飲料缶を放置しないでください。車内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカードの変形やひび割れ、炭酸飲料缶の破裂を起こすおそれがあります。

- 操作部が露出しているライターやスプレー缶を助手席大型ポケットや小物入れなどに入れたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

給油するときは

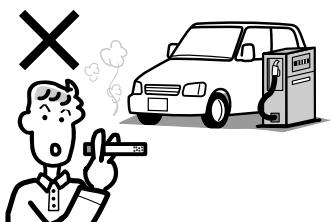
→ 3-20ページ (燃料給油口)

2. 必読！安全なドライブのために

火気につけて

！警告

- 必ず次のことをお守りください。
 - エンジンを止めてください。
 - 給油中はドアや窓を閉めてください。
 - ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。



81J20440

セルフスタンドで給油するときは

！警告

- セルフスタンドで給油するときは必ず次のことをお守りください。
 - フューエルキャップを開ける前に、車体または給油機の金属部分に手を触れて、身体の静電気（※）を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。
また、給油中は車内にもどらないでください。再び帯電するおそれがあります。
 - 給油口には、静電気除去を行なった方以外の人を近づけないでください。
※空気が乾燥すると、身体に多くの静電気が帯電します。また、かさね着をすると、繊維の摩擦により静電気が発生します。とくに乾燥する季節は注意してください。

- フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気が抜ける音が止まつたらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出しあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いてください。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。



81J20450

※給油機によっては、早期に自動停止機能が作動して給油できない場合があります。スタンド従業員の指示に従ってください。

- 燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などで拭き取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。

必
読
！

2. 必読！安全なドライブのために

⚠ 警告

- 給油後は、給油ノズルを確実にもとの位置にもどし、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。キャップが確実に閉まっているないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
- 燃料は人体に有害な物質を含んでいます。気化した燃料を吸い込まないでください。
- その他、ガソリンスタンドに掲示されている注意事項をお守りください。

無鉛ガソリン以外は使用しない

⚠ 注意

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、その他の燃料（アルコール系、軽油など）を使用すると、エンジンや燃料配管系などに悪影響をおよぼします。

オートマチック車を運転するときは

オートマチック車には特有の操作上の注意があります。3-54ページの「オートマチック車」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくて車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

⚠ 注意

- セレクトレバーを[P][N]以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

R(リバース)ポジション警告ブザー

セレクトレバーを[R]に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが[R]に入っていることを運転者に知らせます。

⚠ アドバイス

この警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

ペダルの踏み間違いに注意

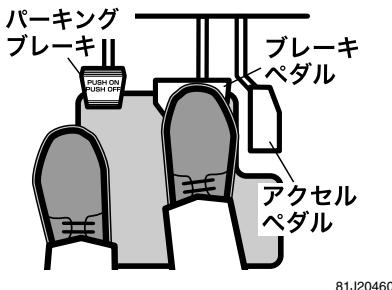
ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

⚠ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながります。

ブレーキペダルは右足で踏む

2. 必読！安全なドライブのために



81J20460

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを [R] に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに [R] から [N] に入る習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

▲ 注意

アクセルペダルを踏んだままでセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

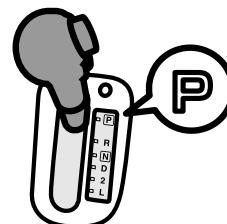
セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は [P]、前進時は [D]、後退時は [R] にあることを目で確認してください。

車から離れるときは

▲ 注意

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが [P] 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進をするおそれがあります。



81J20470

SRSエアバッグ車を運転するときは

SRS エアバッグシステムの効果を発揮させるために、4-8 ページの「SRS エアバッグ」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

シートベルトは必ず着用

▲ 警告

SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがって SRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。

2. 必読！安全なドライブのために

必
読
！

着座姿勢

瞬時にふくらむSRSエアバッグにより強い衝撃を受けるおそれがあるため、運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出し過ぎないようにシートの位置を調節してください。



81J20190

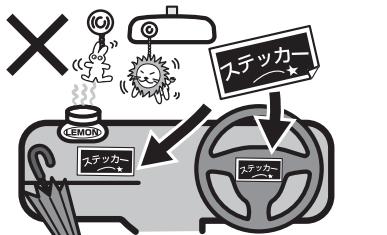
！警告

- ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーでおおうなどの改造をしないでください。
- インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤などの物を置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。
- フロントガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けないでください。

！警告

ハンドルやインパネに、顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしないでください。

SRSエアバッグシステムを正常に機能させるために



66K20540

お子さま用シートの取付け

→ 2-6ページ

(小さなお子さまはお子さま用シートへ)

4WD車を運転するときは

4WD車には特有の操作上の注意があります。正しい取扱いをしてください。

路面の状況に注意して走行する

！注意

- 4WD車は、雪道、急坂路、砂地、ぬかるみなどのタイヤがスリップしやすい路面で優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。また、オフロード（不整地）、ラリー専用車ではありません。必ず次のことをお守りください。

2. 必読！ 安全なドライブのために

- 砂地やぬかるみなど、タイヤが空転しやすいところでは連続走行しないでください。
- ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がありません。滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作も、2WD車と同様に慎重に行ってください。
- 渡河走行や水中走行をしないでください。



81J20360

エンジン始動直後の空ぶかし、急加速をしない



81J20260

エンジンオイルが暖まっていないときは、空ぶかしや急加速をしないでください。

高速走行、登坂走行直後は、すぐにエンジンを止めない

約1分間のアイドリング運転をしてターボ装置を冷やしてから、エンジンを止めてください。

ターボ車を運転するときは

ターボ車には特有の操作上の注意があります。正しい取扱いをしてください。

ターボとは

エンジンに多量の空気を送り込んで、より大きな馬力を引き出す装置です。ターボ装置には高温で超高速回転する羽根が取り付けられており、その軸受け部をエンジンオイルで潤滑・冷却しています。ターボ装置の潤滑や冷却を適切に行なうために、次のことをお守りください。

必
読
！

2. 必読！安全なドライブのために

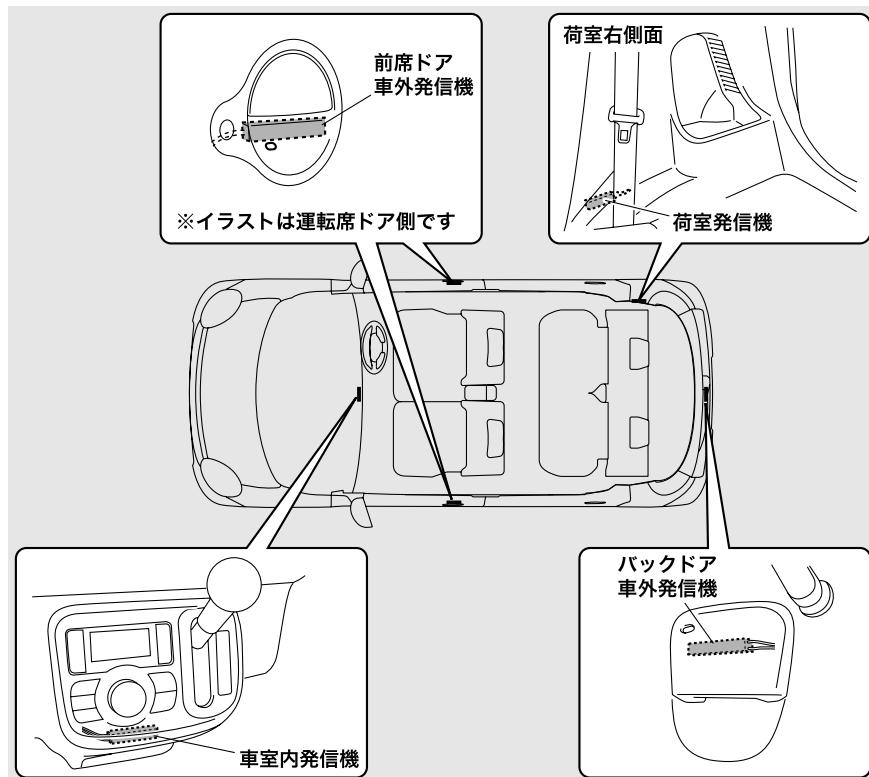
こんなことにも注意して

必
読
！

植込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ

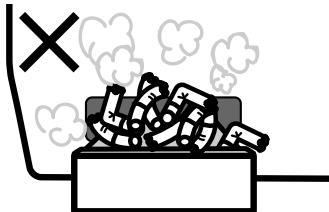
！警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、インテリジェントキー装備車の各発信機（下図参照）から約22cm以内の範囲に、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）が近づかないようしてください。電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響をあたえるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療用電気機器を使用している方は、インテリジェントキー装備車の電波が医療用電気機器の作動に影響をあたえる場合があるため、医療用電気機器製造業者などへ影響を確認してください。
- 詳しくは、日産販売会社にお問い合わせください。



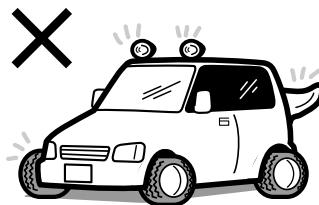
2. 必読！安全なドライブのために

マッチ、タバコの火は確実に消す



81J20500

違法改造はしない



81J20510

▲ 注意

- マッチ、タバコの火は確実に消し、吸いがらを入れた灰皿（別売り）は完全に閉めてください。
- 灰皿（別売り）の中に吸いがらをため過ぎたり、紙など燃えやすい物を入れたりしないでください。

外装部品に力をかけすぎない

スpoiラー、リヤバンパー、サイドスカートなどに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

段差などに注意して

▲ 注意

- 次のような場合は、バンパーまたは車両下部が破損するおそれがあります。十分注意してください。
 - 路肩など段差がある場所への乗り入れ
 - わだちやくぼみなどがある道路の走行

▲ 警告

- この車に適さない部品を取り付けたり、自己流のエンジン調整や配線をしたりしないでください。思いがけない火災や事故を起こしたり、違法改造になることがあります。
- 無線機、オーディオ、ETC車載器などの電気製品の取付け、取外しをするときは、日産販売会社にご相談ください。電子部品の働きをさまたげたり、火災、故障、バッテリー上がりなどを起こしたりするおそれがあります。
- ホイール、ホイールナットは指定の日産純正品以外を使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、走行中にナットがゆるんでホイールが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。

必
読
！

2. 必読！安全なドライブのために

部品の取付け、取外し、修理をするときは

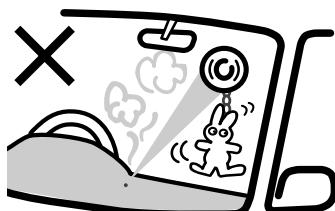
▲警告

SRSエアバッグ、シートベルトブリテンショナーは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときに作動したり、必要なときに正常に作動しなかったりすることがあります。

次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。必ず日産販売会社にご相談ください。

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、前席シート下の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- センターピラーまわりの修理

アクセサリーの取付けに注意して



81J20520

▲警告

窓ガラスにアクセサリーを取り付けてください。アクセサリーや吸盤が視界をさまたげたり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり

するおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときに、アクセサリーがとんでもないおそれがあります。

エンジンオイルを交換するときは

■定期的に必ず交換する

- 標準的な使用方法では、エンジンオイルは10,000 km（ターク車は5,000 km）ごと、または6か月ごとのどちらか早い方で交換し、エンジンオイルフィルターは10,000 kmごとに交換してください。
- 指定のエンジンオイルを使ってください。
 - 8-1ページ（サービスデータ）
- 厳しい条件（シビアコンディション）で使用した場合は、標準的な場合より早めの交換が必要です。
 - メンテナンスノート

▲注意

交換時期を守ってください。劣化したオイルや目詰まりしたフィルターは、エンジン故障や異音の原因となります。交換については、日産販売会社へお申しつけください。



81J2N540

エコドライブをしましょう

タイヤの空気圧を適正に

- タイヤの空気圧が低いとガソリンを多く消費します。適正な空気圧にしてください。
- この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認のうえ、調整してください。



空気圧ラベル

81J20030

急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない



81J20530

必
読
！

空ぶかしをしない



81J20260

不要な荷物は積まない

燃費が悪化したりタイヤが早く摩耗したりするなど、車に悪影響があります。

燃料を消費するだけで、何の効果もありません。

暖機運転は適切に

暖機運転は、低水温表示灯が消灯するまでで十分です。

車速に応じたギヤで走行する

低速ギヤを使って高いエンジン回転で走行すると燃費が悪くなります。走行速度に応じた正しいギヤをお使いください。

3. 運転装置の取扱い

ドアの開閉

キー	3-2
ドア	3-3
リモートコントロールエントリーシステム	3-7
携帯リモコン	3-8

警報装置

盗難防止装置（カーアラーム）	3-12
----------------	------

各部の開閉

パワーウィンドー	3-15
ボンネット	3-18
燃料給油口	3-20

シートの調節

前席シート	3-21
後席シート	3-24
フルフラットシート	3-28

各部の調節

ルームミラー	3-29
ドアミラー	3-29
チルトステアリング	3-31

メーター

メーターの見かた	3-32
警告灯・表示灯の見かた	3-35

スイッチの使いかた

ライトスイッチ	3-41
ヘッドランプレベライザースイッチ	3-43
方向指示器スイッチ	3-44
非常点滅灯スイッチ	3-44
ワイパー／ウォッシャースイッチ	3-44
ホーンスイッチ	3-46
リヤデフォッガースイッチ	3-46
フォグラランプスイッチ	3-47

エンジン始動

エンジンスイッチの各位置のはたらき	3-47
インテリジェントキー	3-49
エンジンのかけかた	3-51

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作	3-53
--------------------	------

オートマチック車

セレクトレバーの操作	3-54
オートマチック車の特性	3-57
オートマチック車を運転するとき	3-58
オートマチック車の運転のしかた	3-59

ドア

警報装置

各部の開閉

シート

各部の調節

スイッチ

エンジン始動

ブレーキ

オートマチック車

メーター

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

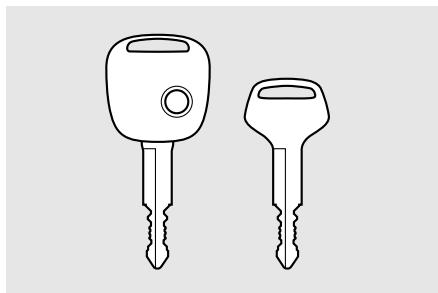
ド
ア

キー

- キーは、エンジンの始動・停止のほかに、ドアの施錠・解錠に使用します。
- キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。

インテリジェントキー非装備車

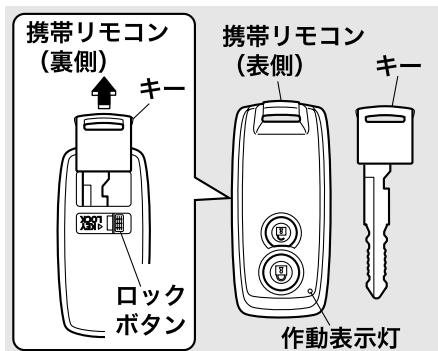
- キーが2本ついています。



81J30011

インテリジェントキー装備車

- 携帯リモコンが1個、携帯リモコンに格納可能なキーが2本ついています。
- 携帯リモコンに格納されているキーは、ロックボタンを ▶ 方向に引くとロックが解除され、取り出せます。



81J30021

警告

リモコンキーを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

※リモコンキーは、航空機内での使用が制限される電子機器に該当します。

注意

キーホルダーのアクセサリーなどは必要最小限にしてください。アクセサリーを多数付けたり、重い物を付けたりすると、走行中の振動などでキーがまわるおそれがあります。

また、大きなアクセサリーを付けていると、膝や手などがあたってキーをまわしてしまうおそれがあります。

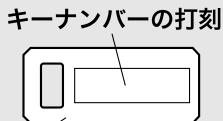
→ 3-47ページ
(エンジンスイッチの各位置のはたらき)

アドバイス

- 携帯リモコンには、必ずキーを格納してください。携帯リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠やエンジン始動ができなくなるおそれがあります。
- 盗難などを防ぐため、キーや携帯リモコンを紛失したときは、すみやかに日産販売会社にご相談ください。
- キーや携帯リモコンのご購入、電池交換、暗証コードの登録については、日産販売会社にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレートには、キー作成時に必要なキーナンバーが打刻されています。



81J30040

キーナンバープレート

- お客様以外の方にキーナンバーを知らないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、日産販売会社にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有される方のために、キーナンバープレートをお車のキーとともにお渡しください。

ドア

▲ 注意

- ドアの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように注意してください。
- ドアを開けるときは、後ろからの車に注意してください。とくに風が強い日は注意してください。
- シートベルトや荷物などをはさまないように、ドアを確実に閉めてください。半ドアの場合、走行中にドアが開くことがあります。

- エンジンがかかっているときは、排気管の真後ろでバックドアを開閉しないでください。やけどなどのおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、完全に開けてください。開けかたが不完全な場合、思わずときにドアが閉まって、けがをするおそれがあります。
- バックドアを開けたまま走行しないでください。排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

▲ アドバイス

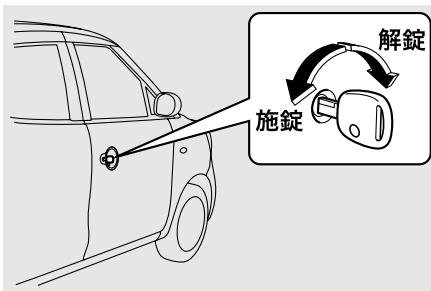
- 火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。
- 車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

キー操作による車外からの施錠・解錠

- 3-7 ページ (リモートコントロール
エントリーシステム)
→ 3-8 ページ (携帯リモコン)

■ 運転席ドア

キーを差し込んで車の前方向にまわすと解錠、後ろ方向にまわすと施錠できます。



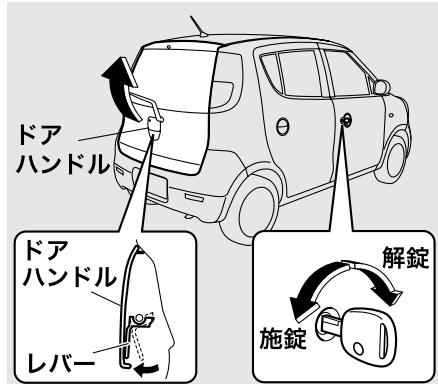
81J30050

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

■ バックドア

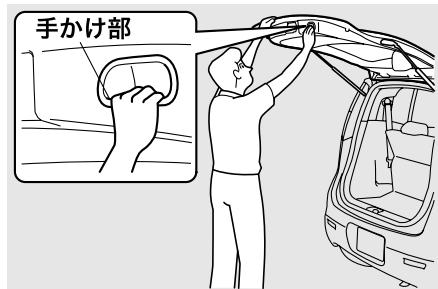
運転席ドアにキーを差し込んで、車の前方向にまわすと解錠、後ろ方向にまわすと施錠できます。

- バックドアを開けるときは、解錠後、ドアハンドル内のレバーを手前に引きながらドアを持ち上げます。



81J30060

- バックドアを閉めるときは、バックドア下面右側の手かけ部を持って、バックドアを手で押しやすいところまで引き下げます。最後はバックドアを外側から手で押しつけます。

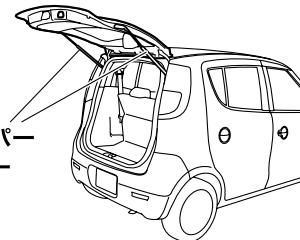


81J30070

▲ 注意

- バックドアを支えているダンバーステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。ステーが円滑に動かなくなったり、バックドアを開けたときに保持できなくなったりするおそれがあります。

- ステーのロッド部（メッキしてある棒部）に傷をつけたり、ビニール片やテープなどの異物を付着させたりしないでください。
- ステーに手をかけたり、物をかけたりしないでください。

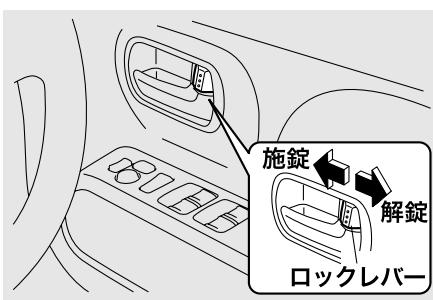


81J30080

車内からの施錠・解錠

■ 前席ドア、後席ドア

ドアを閉めてロックレバーを施錠側（車の前方向）にすると施錠、解錠側（車の後ろ方向）にすると解錠できます。



81J30090

アドバイス

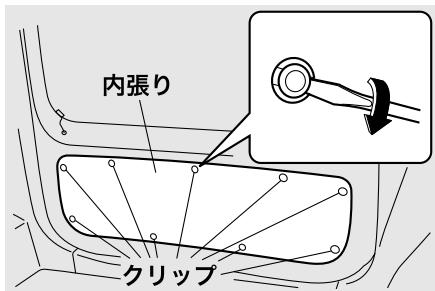
解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

■ バックドア

故障やバッテリー上がりなどでバックドアが解錠できないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

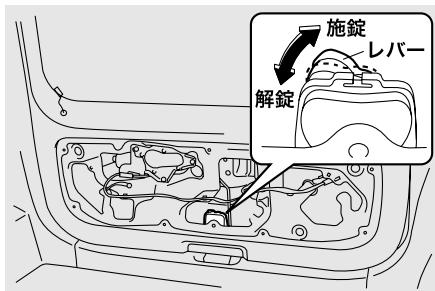
緊急を要するときは、下記手順で解錠してください。

- 1 バックドアの内張りを外します。
固定しているクリップ（9個）は、マイナスドライバー（市販品）やジャッキバーなどの先が細く平たいものでこじって外します。



81J30100

- 2 レバーを押し下げると、解錠します。施錠するときは、レバーを引き上げます。



81J30110

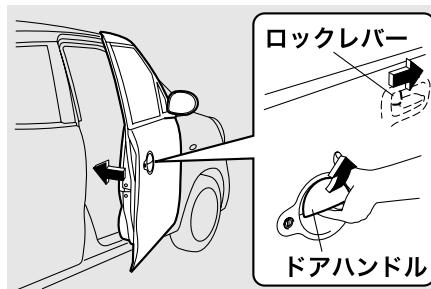
▲ 注意

レバー操作をするときは、バックドアの穴周囲のエッジ部分をさわらないでください。けがをするおそれがあります。

キーを使わない施錠

■ 前席ドア

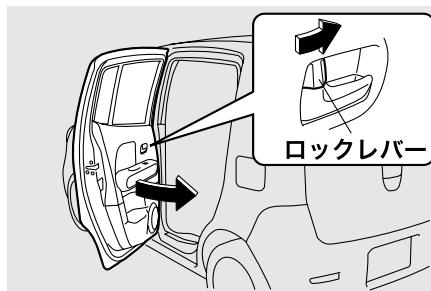
ロックレバーを施錠側（車の前方向）にして、ドアハンドルを引いたままドアを閉めると施錠できます。



81J30120

■ 後席ドア

ロックレバーを施錠側（車の前方向）にして、ドアを閉めると施錠できます。



81J30130

アドバイス

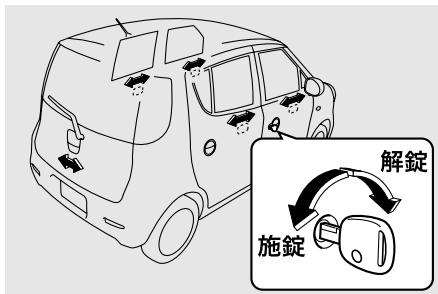
- キーの閉じ込み防止のため、「キーを使わない施錠」をするときは、キーが手元にあることを確認してください。
- インテリジェントキー装備車の場合、運転席ドアのロックレバーが施錠側（車の前方向）にあると、「キーを使わない施錠」ができない場合があります。
→ **3-11ページ**
(携帯リモコン閉じ込み防止機能)
- **3-12ページ**
(エンジンスタートノブもどし忘れ時施錠防止機能)

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

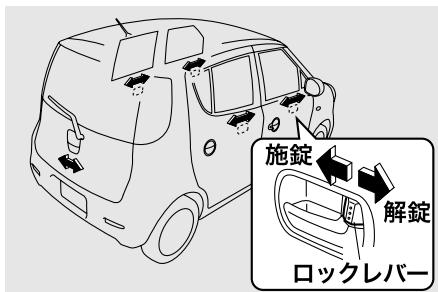
キーまたはロックレバー操作によるパワードアロック

- 3-7ページ
(リモートコントロールエントリーシステム)
→ 3-8ページ (携帯リモコン)

運転席ドアをキー操作またはロックレバー操作で施錠・解錠すると、助手席ドア、後席ドアおよびバックドアも同時に施錠・解錠します。



81J30140



81J30150

■ ドアロック解除機能

衝突などでSRSエアバッグが作動すると、自動的にすべてのドアロックを解除します。

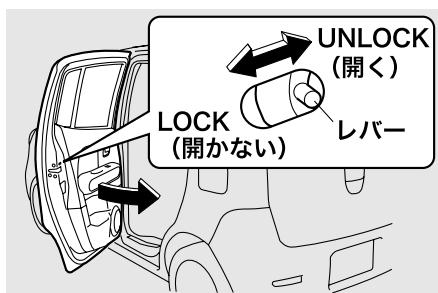
♪アドバイス

SRSエアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、この機能が作動しません。

チャイルドプルーフによる施錠・解錠

車内から後席ドアが開かないようにできます。

- 後席ドアにあるレバーを **LOCK (開かない)** の位置にして、ドアを閉めます。ロックレバーの位置に関係なく、車内からはドアが開きません。
- ドアを開けるときはロックレバーを解錠側（車の後ろ方向）にして、外からドアハンドルを引きます。



81J30160

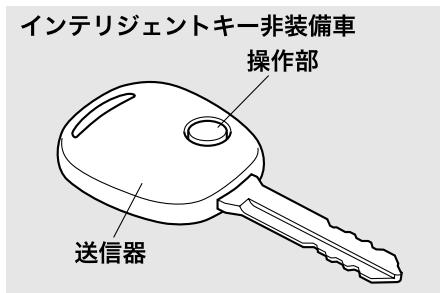
♪アドバイス

- 後席乗員（とくにお子さま）のドア誤開放の防止にご使用ください。
- チャイルドプルーフで施錠している後席ドアを車内から開ける場合は、ロックレバーを解錠側（車の後ろ方向）にしてウインドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

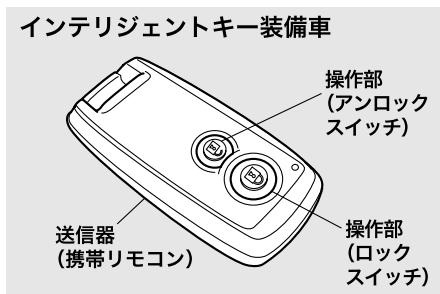
3. 運転装置の取り扱い／ドアの開閉

リモートコントロール エントリーシステム

すべてのドアが閉まっているときに、車から約2m以内の範囲で送信器の操作部を押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。



81J30170



81J30180

アドバイス

- いずれかのドアが開いていると、リモコンが作動しません。
- リモコンの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、リモコンが作動しないことがあります。
- 各ドアのロックレバーの状態にかかわらず、送信器の操作部を押すと、すべてのドアが施錠または解錠されます。

- エンジンスイッチにキーが差し込まれている、またはインテリジェントキー装備車のエンジンスタートノブが押されていたりまわされていたらしくすると、リモコンが作動しません。
- 火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。
- 車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- 施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。
- 送信器は、インパネの上など高温になる場所に置かないでください。
- 送信器を落下させるなどして、強い衝撃をあたえないでください。
- 水洗いをしたり、水中に入れたりしないでください。
- 1台の車両で最大3個の送信器を使用できます。
- 送信器でドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠をしてください。
- 送信器が正しい距離で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。
- 送信器の操作部を必要以上に押すと、電池の消耗が早まります。
- 送信器のご購入、電池交換、暗証コードの登録については、日産販売会社にご相談ください。

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

アンサーバック機能

リモコンによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。

アンサー バック 機能	初期設定 (工場出荷時)		設定切替え時	
	ロック (施錠)	アンロック (解錠)	ロック (施錠)	アンロック (解錠)
非常点滅灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯 (スイッチが DOOR位置)		約10秒間 点灯	2回点滅	約10秒間 点灯

- リモコンの作動と同時に室内灯を点灯または点滅させたい場合は、室内灯スイッチをDOOR位置にします。
- 室内灯が約10秒間点灯したあとは、徐々に減光しながら消灯します。
→ **5-15ページ (室内灯)**

アドバイス

- アンサーバック機能の設定切替え(カスタマイズ)については、日産販売会社にご相談ください。
- インテリジェントキー装備車は、リクエストスイッチで施錠・解錠したときにも、アンサーバック機能が作動します。

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- リモコンで解錠したあと、約30秒以内にいずれのドアも開けなかつたときに作動します。

- タイマーロック機能が作動すると、カーアラームが自動的にセットされます。(警報なしのAモードを除く)
→ **3-12ページ
(盗難防止装置 (カーアラーム))**

アドバイス

インテリジェントキー装備車は、リクエストスイッチで解錠したときにも、タイマーロック機能が作動します。

携帯リモコン

タイプ別装備

すべてのドアが閉まっているときに、前席ドアまたはパックドアのリクエストスイッチを押すと、所持している携帯リモコンが車両と電波で通信を開始し、照合がとれるとドアの施錠・解錠が可能となります。

また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム
→ **3-7ページ
(リモートコントロールエントリーシステム)**
- エンジンスタートノブによる始動機能
→ **3-51ページ
(エンジンのかけかた)**

アドバイス

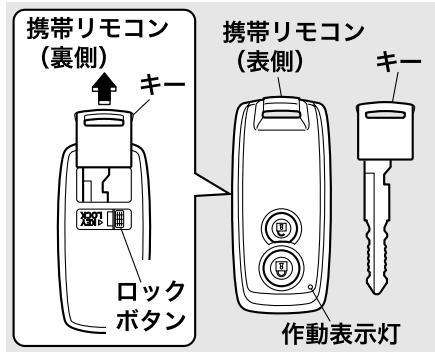
- 携帯リモコンは必ず運転者が所持し、管理してください。車内にリモコンを置き忘れないでください。
- 盗難などを防ぐため、携帯リモコンを紛失したときは、すみやかに日産販売会社にご相談ください。

3. 運転装置の取り扱い／ドアの開閉

- 携帯リモコンは車両と通信するとき、外的影響を受けやすい微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では、正常に作動しないことがあります。
 - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備がある
 - 携帯電話、無線機などの無線通信機器やノートパソコンなどと一緒に所持している
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 近くで他車のリモコンが使用されている
 - コインパーキングに駐車している（車両検出用の電波の影響があるため）

お車には、携帯リモコンが1個、リモコンに格納可能なキーが2本ついています。

- リモコンに格納されているキーは、ロックボタンを ▶ 方向に引くとロックが解除され、取り出せます。



81J30021

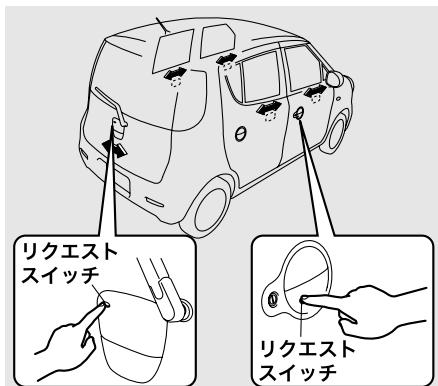
アドバイス

- 携帯リモコンには、必ずキーを格納してください。携帯リモコンの電池が消耗しているときや故障したときなどに、ドアの施錠・解錠やエンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- 携帯リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - インパネの上などの高温になるような場所に置かない
 - 落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
 - 水洗いをしたり、水中に入れたりしない
 - 磁気をおびたキーホルダーなどをつけない
 - テレビやオーディオなど磁気をおびた機器の近くに置かない
- 1台の車両で、3個の携帯リモコンまで登録できます。
- 電池の寿命は使用状況によりますが約2年です。電池が切れたときは、新しい電池と交換してください。
- 携帯リモコンは、車両と通信するために常時受信動作をしています。強い電波を受信し続けたとき、電池を著しく消耗することがあります。携帯リモコンをテレビやパソコンなどの強い電波を発信する電化製品の近くに置かないでください。
- 携帯リモコンのご購入、電池交換、暗証コードの登録については、日産販売会社にご相談ください。

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

リクエストスイッチによる ドアの施錠・解錠

すべてのドアが閉まっているときに、所持している携帯リモコンが「リクエストスイッチの作動範囲」に入っていると、リクエストスイッチを押すごとに、すべてのドアを施錠・解錠できます。



81J30200

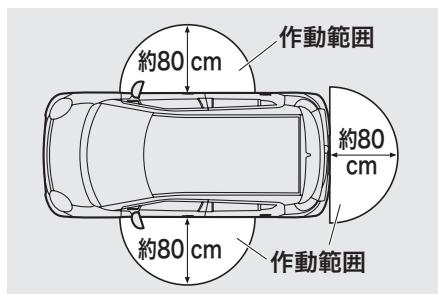
アドバイス

- いずれかのドアが開いていると、リクエストスイッチが作動しません。
- リクエストスイッチでドアの施錠・解錠をすると、アンサーバック機能やタイマーロック機能が作動します。
→ 3-8ページ(アンサーバック機能)
→ 3-8ページ(タイマーロック機能)
- 次のようなときは、リクエストスイッチが作動しません。
 - エンジンスタートノブを押してたり、まわしていたりする
 - エンジンスイッチにキーを差し込んでいる

- 火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めドアを施錠してください。
- 少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難などのおそれがあります。
- 施錠したときは、必ずドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。

リクエストスイッチの作動範囲（車外）

前席ドアまたはバックドアのリクエストスイッチから半球状に周囲約80 cm以内です。



81J30211

アドバイス

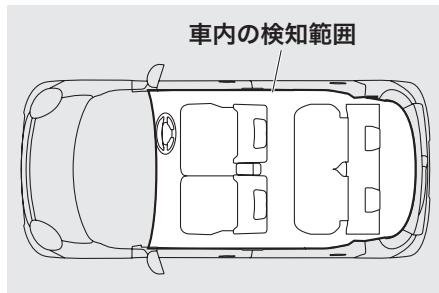
- 「リクエストスイッチの作動範囲」で携帯リモコンを所持していても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、リクエストスイッチが作動しない場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている

3. 運転装置の取り扱い／ドアの開閉

- ・携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
- ・携帯リモコンがドアに近づきすぎている
- ・携帯リモコンが地面の近くや高い位置にあったり、お尻のポケットの中などにあったりして、リクエストスイッチから離れている
- ・車内に予備の携帯リモコンがあると、その携帯リモコンが検知され、リクエストスイッチが正常に作動しなくなるおそれがあります。

携帯リモコン閉じ込み防止機能の検知範囲（車内）

「車内の検知範囲」は、インパネの上などを除く車室内です。



81J30221

携帯リモコン閉じ込み防止機能

「キーを使わない施錠」（3-5 ページ参照）で、携帯リモコンを閉じ込んでしまうのを防止する機能です。

- ・携帯リモコンを車内に置き忘れた状態で、エンジンスタートノブを [LOCK] の位置へ完全にもどし、「キーを使わない施錠」ですべてのドアを施錠しようとすると、自動的にすべてのドアが解錠されます。

アドバイス

- ・携帯リモコンの閉じ込み防止のため、「キーを使わない施錠」をするときは、携帯リモコンが手元にあるか確認してください。
- ・エンジンスタートノブを [LOCK] の位置へもどし忘れたときに、「キーを使わない施錠」を行なってしまうのを防止する機能があります。
→ 3-12ページ
(エンジンスタートノブもどし忘れ時施錠防止機能)

アドバイス

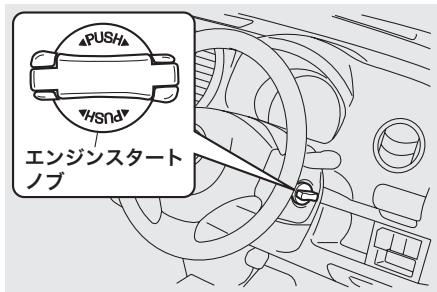
- ・「車内の検知範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。
 - ・携帯リモコンの電池が消耗している
 - ・携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - ・携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - ・携帯リモコンが運転席アンダーポックスや助手席大型ポケット、ドアポケットなどの小物入れの中にある
 - ・携帯リモコンがサンバイザーや床、荷室にある
- ・「車内の検知範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、携帯リモコン閉じ込み防止機能が作動する場合があります。
 - ・車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
 - ・携帯リモコンがインパネの上にある

3. 運転装置の取扱い／ドアの開閉

エンジンスタートノブもどし 忘れ時施錠防止機能

エンジンスタートノブをもどし忘れたときに、「キーを使わない施錠」（3-5ページ参照）を行なってしまうのを防止する機能です。

- エンジン回転中、またはノブが [LOCK] の位置へ完全にもどされていないときに、「キーを使わない施錠」ですべてのドアを施錠しようとすると、自動的にすべてのドアが解錠されます。



81J30231

アドバイス

- エンジンスタートノブもどし忘れ時施錠防止機能は、携帯リモコンの位置に関係なく作動します。
- お車から離れるときは盗難防止のためエンジンを停止し、必ずエンジンスタートノブを [LOCK] の位置へもどしたことを確認して、ドアを施錠してください。[LOCK] の位置にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。
→ 3-47ページ（エンジンスイッチの各位置のはたらき）
- 「キーを使わない施錠」で、携帯リモコンを閉じ込んでしまうのを防止する機能があります。
→ 3-11ページ
(携帯リモコン閉じ込み防止機能)

盗難防止装置 (カーアラーム)

カーアラームは、ドアをリモコン、またはインテリジェントキー装備車のリクエストスイッチで施錠すると、約20秒後にセットされます。

セット状態にて、リモコンまたはリクエストスイッチ以外のもの（※）で解錠し、いずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

- 工場出荷時は、警報ありの＜Dモード＞設定です。任意で警報なしの＜Aモード＞に切り替えてください。
→ 3-14ページ
(モード設定の切替えのしかた)
- 警報が誤作動したときは
→ 3-13ページ
(警報の停止のしかた)

アドバイス

- カーアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- カーアラームのセット中は、ドアを必ずリモコンまたはリクエストスイッチで解錠してください。キーを使ってドアを解錠すると、警報が作動します。
- お車を貸すときや、カーアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、カーアラームモードを警報なしの＜Aモード＞に切り替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。

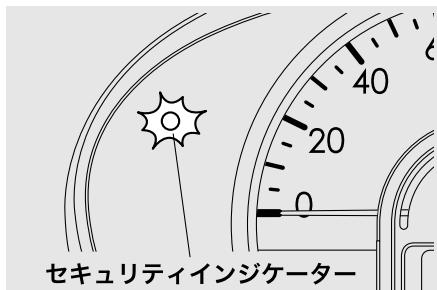
3. 運転装置の取り扱い／警報装置

- カーアラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

カーアラームのセットのしかた (Dモード時)

ドアをリモコン、またはリクエストスイッチで施錠してください。セキュリティインジケーターが小刻みに点滅し、20秒後にカーアラームがセットされます。

セット中は、セキュリティインジケーターが約2秒間隔で点滅します。



81J30240

アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはカーアラームをセットしないでください。車内の人人がロックレバーで施錠し、ドアを開けた場合にも警報は作動します。
- すべてのドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、カーアラームがセットされません。
- タイマーロック機能が作動すると、カーアラームが自動的にセットされます。（警報なしのAモードを除く）
→ **3-8ページ**
(タイマーロック機能)

カーアラームの解除のしかた

リモコン、またはリクエストスイッチでドアを解錠してください。カーアラームが解除され、セキュリティインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、エンジンスイッチを [ON] にしてください。警報を途中で停止できます。

アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをリモコンまたはリクエストスイッチで施錠すると、カーアラームが再びセット状態となります。
- カーアラームがセット状態、または警報作動状態でバッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- 警報が終了しても、カーアラームの解除をせずにドアを開けると、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを [ON] にすると、セキュリティインジケーターが約8秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが4回鳴ります。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。

3. 運転装置の取扱い／警報装置

カーアラームモード

<Aモード>と<Dモード>の2つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

<Aモード>

警報は作動しません。

<Dモード> (工場出荷時)

非常点滅灯が約40秒間点滅するとともに、室内ブザーが約10秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終えると、ホーンが約30秒間断続的に鳴ります。

※<Dモード>では、セキュリティインジケーターも点滅します。

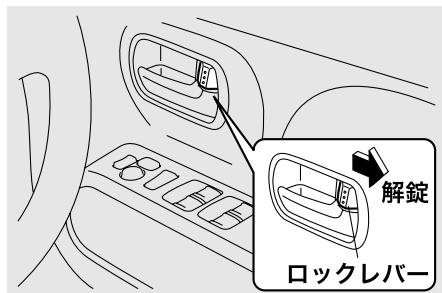
モード設定の切替えのしかた

次の手順で切り替えてください。

1 インテリジェントキー装備車は、エンジンスタートノブのキャップを外します。

→ 3-47ページ（エンジンスイッチの各位置のはたらき）

2 エンジンスイッチにキーを差して、すべてのドアを閉め、ロックレバーを解錠側（車の後ろ方向）にします。



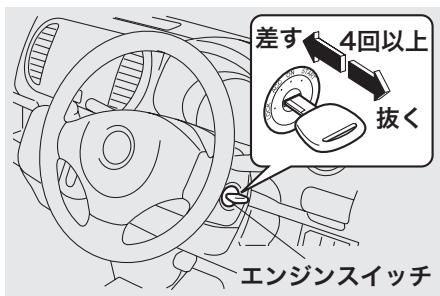
81J30250

アドバイス

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見えます。目安としてください。

※次の③から④までの一連の手順は、15秒以内に完了してください。

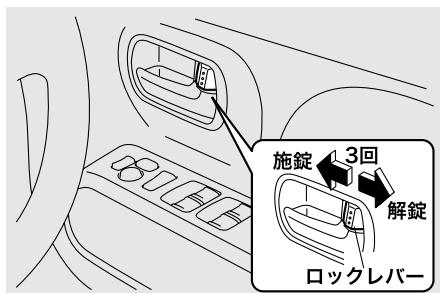
3 キーを抜きます。抜いたキーを再び差します。これらの操作を4回以上行ない、最後にキーを差した状態にします。



81J30261

●上図のエンジンスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

4 ロックレバーを施錠側（車の前方）にして施錠します。解錠側（車の後ろ方向）にして解錠します。これらの操作を3回行ない、最後に施錠状態にします。



81J30270

前記手順を行なうと、モード設定が下表の順で切り替わります。また、室内ブザーの回数によって設定状態が確認できます。

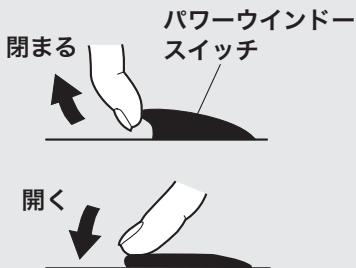
モード設定状態	設定確認ブザー
Aモード	1回 ↑↓
Dモード	4回

アドバイス

- カーラームがセット状態のときは、モード設定の切り替えはできません。
- ③から④までの手順を15秒以内にできなかったときは、②からやりなおしてください。
- モード設定を切り替えるときは、ドアを閉めたまま行ってください。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが[ON]のときに、パワーウィンドースイッチを操作すると、ウインドーの開閉ができます。



81J30281

警告

- パワーウィンドーは強い力で開閉します。閉めるときは手や首をはさまないように注意してください。
- 窓から手を入れてパワーウィンドースイッチを操作しないでください。手や腕などをはさむおそれがあります。

注意

ウインドーガラスを開閉するときは、ガラスにふれないでください。巻き込まれるおそれがあります。

アドバイス

- 走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。

後席ウインドーを開けたままでこの音を軽減したい場合は、次のような方法があります。

- 前席ウインドーも開ける。
- 後席ウインドーの開き具合を変える。例えばウインドーが全開なら半開にする。
- バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときにウインドーを開閉してください。

3. 運転装置の取扱い／各部の開閉

■ ウィンドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウィンドーロックスイッチの [ロック] 側を押すと、運転席以外のウインドーが開閉できなくなります。

- ロックを解除するときは、ウインドーロックスイッチの [解除] 側を押します。



81J30291



81J30301

■ 運転席ウインドーの開閉 (オート機構付)

- ウィンドースイッチを軽く操作すると、操作している間だけ開閉します。スイッチから手をはなすと、その位置で止まります。
- ウィンドースイッチを強く操作すると、オート機構が作動してスイッチから手をはなしても自動で全開または全閉します。
途中で止めたいときは、操作した方向と逆の方向に軽く操作します。

⚠ 警告

お子さまにはパワーウィンドースイッチを操作させないでください。お子さまが誤って操作すると、重大な傷害につながるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ウインドーロックスイッチを [ロック] 位置にしてください。

⚠ アドバイス

運転席ウインドーは、ウインドーロックスイッチの位置に関係なく開閉できます。

運転席での開閉

■ 運転席ウインドーのキーOFF 後作動機構

運転席ウインドーは、エンジンスイッチを [ON] の位置から [ACC] または [LOCK] にしたあとでも、30秒以内は開閉が可能です。

⚠ アドバイス

- 30秒以内でも、運転席ドアを開けて閉めると、運転席ウインドーの開閉ができません。
- 運転席ウインドーの開閉が可能な場合は、運転席ウインドースイッチの “AUTO” の文字が点灯しています。

3. 運転装置の取り扱い／各部の開閉

■ 助手席、後席ウインドーの開閉

ウインドースイッチを操作している間だけ開閉し、スイッチから手をはなすと、ウインドーガラスはその位置で止まります。

■ 挟み込み防止機構

運転席ウインドーには安全装置として、挟み込み防止機構があります。

- オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。（過負荷検知方式）

！警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。

▲注意

挟み込み防止機構は、スイッチを引き上げ続けた状態では作動しません。また、閉まり切る直前は、はさまりを検知できない領域があります。などをはさまないように気をつけてください。

アドバイス

- ウインドーの故障で、挟み込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、運転席ウンドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。

●悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、挟み込み防止機構が作動することがあります。

■ 挟み込み防止機構の初期設定のしかた

バッテリー端子やヒューズ（7-10ページ参照）を外したりして、パワーウィンドーシステムへの電源供給を一度絶つてしまふと、運転席ウインドーが自動で開かなくなるとともに自動で閉めたときに、挟み込み防止機構が作動しなくなってしまいます。

この場合、下記手順で挟み込み防止機構の初期設定を行なってください。また、運転席ウンドーが自動で開くことも閉めることもできなくなった場合も、同様に初期設定を行なってください。

- 1 エンジンを始動します。
- 2 運転席ウンドースイッチを押し続け、ウンドーを完全に開けます。
- 3 運転席ウンドースイッチを引き上げ続け、ウンドーを完全に閉めます。
- 4 そのままスイッチを2秒以上引き上げ続けます。
- 5 運転席ウンドーが自動開閉できるようになったか確認します。

▲注意

挟み込み防止機構は、必ず初期設定してください。初期設定が完了するまでは、挟み込み防止機構が作動しません。

アドバイス

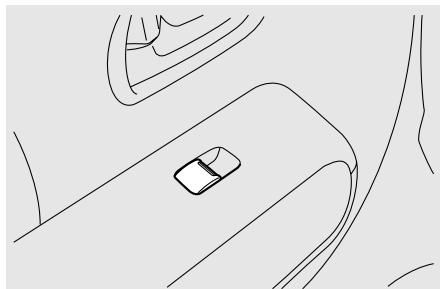
手順①～④を行なっても運転席ウンドーが自動開閉できない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い／各部の開閉

助手席、後席での開閉

ウインドースイッチを操作している間だけ開閉し、スイッチから手をはなすとその位置で止まります。

- お子さまを乗せているときは、運転席ドアのウインドーロックスイッチを**ロック**位置にしてください。
→ 3-16ページ
(ウインドーロックスイッチ)



81J30310

アドバイス

ウインドーロックスイッチが**ロック**位置のときは、助手席／後席ウインターの開閉ができません。

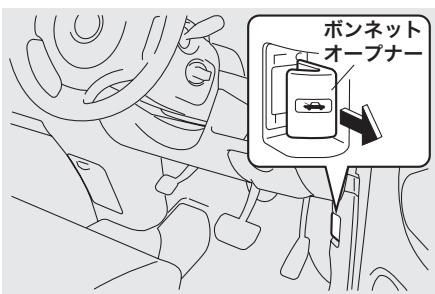
ボンネット

！警告

- お子さまにはボンネットを開閉させないでください。ボンネットは重いため、けがのおそれがあります。また、エンジルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。
- ボンネットを開けているときは、お子さまを近づけないでください。

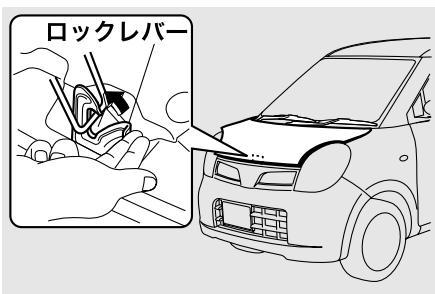
開けかた

- 1 運転席足元のボンネットオープナーを引くと、ボンネットの先端が少し浮き上がります。



81J30321

- 2 浮き上がったボンネットのすき間に手を入れ、ロックレバーを左側へ押しつけながら、ボンネットを持ち上げます。



81J30330

3. 運転装置の取り扱い／各部の開閉

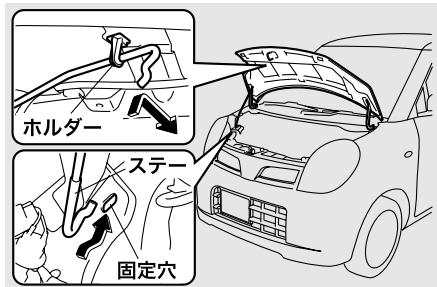
▲注意

エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ロックレバーを操作する前に必ず確認してください。

アドバイス

ワイヤーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。ワイヤーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。

- 3** ボンネット側にあるステーをホルダーから外し、車体側の固定穴に差し込んでボンネットを固定します。



81J30340

- ボンネットが風にあおられて、ステーが外れることがあります。とくに風の強い日は注意してください。
- ステーをホルダーから外すときは、ステーが曲がらないように、ステーの先端から7 cm以内のところを持っしてください。

閉めかた

- 1** ボンネットを片手でささえながら、ステーを外して、もとのホルダーに固定します。
- 2** ボンネットを20 cmぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手をはなしてボンネットを閉じます。



81J30350

▲注意

- エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ステーを持つ前に必ず確認してください。
- ステーは固定穴に確実に差し込んでください。ステーが外れると、ボンネットに身体がはざまれることがあります。

▲注意

- ボンネットが完全に閉まっているか確認してください。完全に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。

3. 運転装置の取扱い／各部の開閉

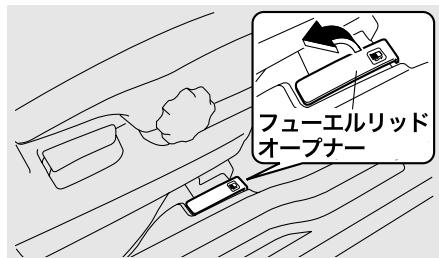
燃料給油口

2-16 ページの「給油するときは」もあわせてお読みください。

フューエルリッド

助手席側の車両後方にあります。

- 開けるときは、運転席足元のフューエルリッドオープナーを引き上げます。
- 閉めるときは、フューエルリッドを手で押しつけます。



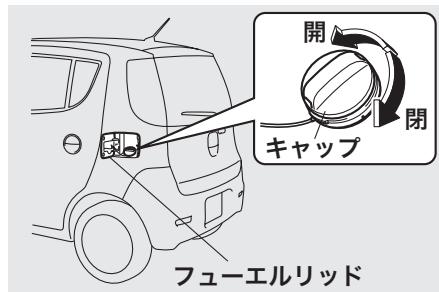
81J30361

！警告

ガソリンは引火性が高いため、給油するときはタバコなどの火気は厳禁です。また、エンジンは必ず止めてください。

フューエルキャップ

- 開けるときは、ゆっくり反時計方向にまわします。
- 閉めるときは時計方向にまわし、カチッという音が2回以上するまで締めます。



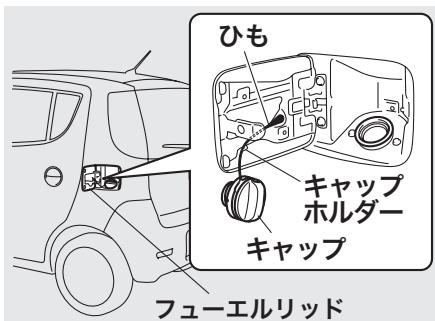
81J30371

！警告

- フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まつたらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
- 燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- 給油後は、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
- 指定の日産純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れを起こすおそれがあります。

キャップホルダー

フューエルリッドの裏側に、キャップホルダーがついています。給油中は、外したキャップが車体にあたらないように、ひもの部分をかけてください。



81J31250

前席シート

→ 5-21ページ
(フロントセンターアームレスト)

▲ 注意

- シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体にあてたりしないように気をつけてください。
→ 2-8 ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)
- シートを調節したあとは、シートを前後にゆするなどして、確実に固定されているか確認してください。

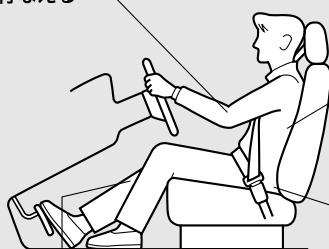
正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次のこととに注意してシートを調節してください。

- 背もたれと腰の間にすき間のないようにシートに深くすわります。
- ペダル類を踏み込んだときに、ひざが伸びきらないで余裕があるようにシートを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドルを握ったときにひじが軽く曲がる程度に背もたれの角度を調節します。

ひじが軽く曲がり
ハンドル操作が楽
に行なえる

背中を背もたれに
軽くつける



ひざが伸びきらずペダル類
を踏むときに余裕がある

シートに深く
すわる

81J30380

！警告

背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトやヘッドレストの効果が十分に発揮されないおそれがあります。

前後位置の調節

スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



81J30390

シート

！警告

シートの下に物を置かないでください。物がはさまって、シートが固定されないおそれがあります。（“すわるとシート開けるとBOX”（助手席シートアンダーボックス＆トレイ）内を除く）

3. 運転装置の取扱い／シートの調節

背もたれの角度調節

- 後方に倒すときは、リクライニングレバーを引き上げたまま、背中で軽く押します。
- 前方に起こすときは、背中を少し浮かせて、リクライニングレバーを引き上げます。



81J30400

！警告

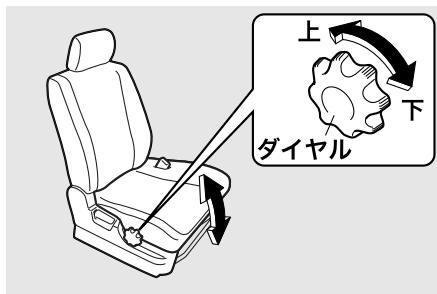
背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトやSRSエアバッグシステムが本来の効果を発揮できません。

△注意

背もたれからはなれてリクライニングレバーを操作すると、背もたれが急に起きあがって前に倒れることがあります。手などをそえて操作してください。

運転席クッションの高さ調節

運転席シート右横のダイヤルをまわしてクッションを上下に動かします。



81J30410

ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと固定します。背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。

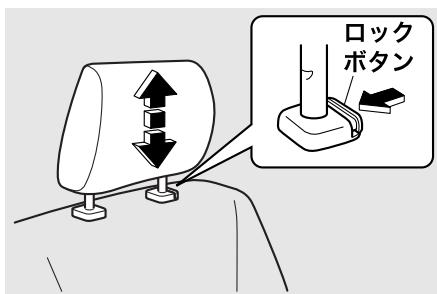
- 高くするときは、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタンを押したままヘッドレストを押し下げます。

■ 取外しかた

ロックボタンを押したまま引き抜きます。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。



81J30420

！警告

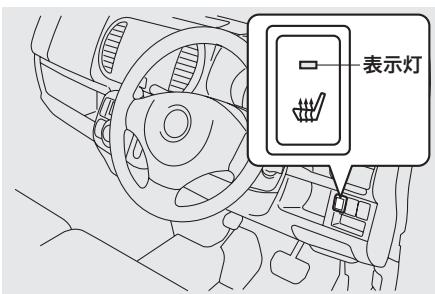
- ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。
- ヘッドレストは、しっかりと固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。

- シートの上に重い荷物を置いたり、針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど、保温性の高いものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの有機溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面やヒーターが損傷する原因となります。
- 水やジュースなどをこぼしたときは、すみやかに柔らかい布などでふき取り、十分に乾かしてからご使用ください。

運転席ヒーターシートスイッチ**タイプ別装備**

エンジンスイッチが **[ON]** のときに使用できます。

- スイッチを押すと、シート内にあるヒーターが作動して、スイッチ内の表示灯が点灯します。
もう一度押すとヒーターが切れます。
- シートが適温になったら、スイッチを切ってください。



81J30431

！注意

- 長時間ヒーターを使用すると、低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。

アドバイス

バッテリー保護のため、エンジンがかかっているときに使用してください。

**長い荷物を積むとき
(助手席シート)**

後席と同時に助手席シートの背もたれを前に倒すと、より長い荷物が積めます。

→ **3-26ページ**
(荷室を広げるとき (後席シート))

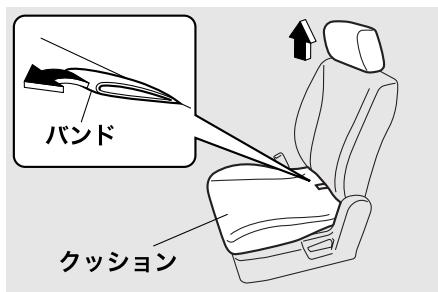
！警告

- 前方に倒した背もたれの上に、人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに投げ出されかけがのおそれがあります。また、シートが破損する原因となります。
- 背もたれを前方に倒したときは、荷物を確実に固定してください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、荷物が飛び出して身体にあたるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い／シートの調節

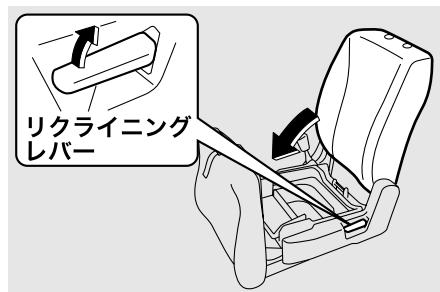
■ 背もたれの前方への倒しかた

- 1 ヘッドレストを外します。クッションの後部についているバンドを引き上げて固定を外し、クッションを車の前方向に起こします。



81J30440

- 2 リクライニングレバーを引き上げ、背もたれを前方にいっぱいまで倒します。



81J30450

▲ 注意

クッションを持ち上げる前に、シートアンダートレイが格納されていることを確認してください。トレイを引き出した状態でクッションを持ち上げると、トレイが破損するおそれがあります。

→ 5-22ページ
(シートアンダートレイ)

アドバイス

- ・バンドを引き上げにくいときは、背もたれを後ろ方向に倒してください。
- ・クッションを車の前方向に起こしたときは、クッションに力を加えないでください。クッション取付部が損傷するおそれがあります。

■ もとにもどすときは

「背もたれの前方への倒しかた」と逆の手順で行ないます。

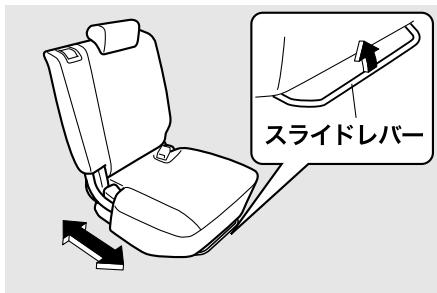
後席シート

▲ 注意

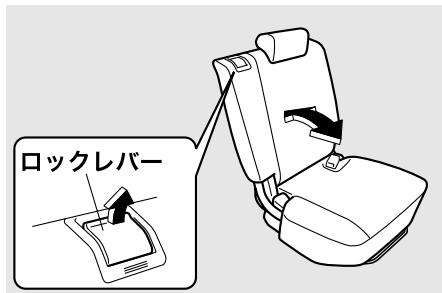
- ・シートを調節するときは、手足をはさんだり、身体にあてないように気をつけてください。
- ・シートを調節したあとは、シートを前後にゆするなどして、確実に固定されているか確認してください。

前後位置の調節

スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



81J30460



81J30470

⚠️ 警告

シートの下に物を置かないでください。物がはさまって、シートが固定されないことがあります。

背もたれの角度調節

- 1 片方の手をクッションの端部にそえ、もう一方の手で背もたれの上面にあるロックレバーを上の方向にいっぱいに引き上げます。

アドバイス

- シートからおりて操作してください。シートにすわったままロックレバーを引き上げると、背もたれが急に最大角度まで倒れ込むことがあります。
- ロックレバーはいっぱいに引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。

- 2 ロックレバーを引き上げたまま、背もたれを好みの角度の少し手前まで倒します。

- 3 ロックレバーから手をはなし、固定される位置まで背もたれを倒します。

⚠️ 警告

背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

ヘッドレストの高さ調節と取外し・取付け

■ 高さの調節

ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように、ヘッドレストの高さを調節します。

- 高くするときは、ヘッドレストを手で持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタンを押したままヘッドレストを下げます。

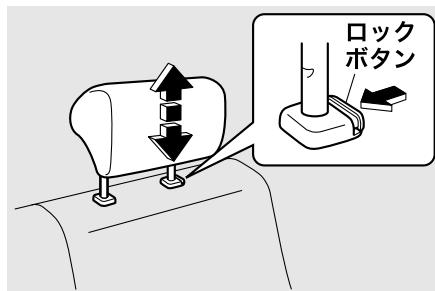
■ 取外しかた

ロックボタンを押したまま引き抜きます。

3. 運転装置の取扱い／シートの調節

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えないように、固定される位置まで差し込み、高さの調節をします。



81J30480

▲注意

取り外したヘッドレストは、客室内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなどに乗員や物などにあたって、思わぬ事故につながるおそれがあります。

荷室を広げるととき (後席シート)

背もたれを前に倒すと、荷室が広く使えます。

▲警告

- ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。
- ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。
- お子さま用シートを取り付けるときは、お子さま用シートがヘッドレストにあたるのを防ぐため、ヘッドレストを一番高い位置に調節してください。その状態でもお子さま用シートにあたる場合は、ヘッドレストを取り外してください。
- ヘッドレストにあたった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

▲警告

座席以外の部分に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがをするおそれがあります。

■ 格納のしかた

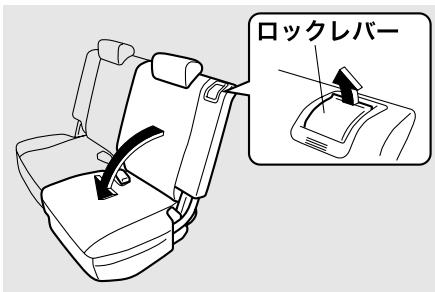
- 1 背もたれの上面にあるロックレバーを、上の方向にいっぱいに引き上げます。

♪アドバイス

ロックレバーはいっぱいに引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。

3. 運転装置の取扱い／シートの調節

- 2 ロックレバーを引き上げたまま、背もたれを前に倒します。



81J30490



81J30510

■ アドバイス

- 背もたれを倒したときに、ヘッドレストが前席シートにあたる場合は、前席シートを前に動かしてください。
- 後席シートを格納したときは、カバーの上に重い荷物をのせないでください。カバーが損傷するおそれがあります。



81J30500

■ アドバイス

背もたれを起こし始めるとき、背もたれ後部のカバーを少し持ち上げると、スムーズに起こすことができます。

- 2 ロックレバーから手をはなし、固定される位置まで背もたれを起こします。

▲ 注意

背もたれを前後にゆすって、確実に固定されているか確認してください。

シート

■ もとにもどすときは

- 1 ロックレバーを車の前方向にいっぱいに倒し、そのまま背もたれを少し起こします。

3. 運転装置の取扱い／シートの調節

フルフラットシート

前席と後席の背もたれを後ろに倒すと、室内に連続的な空間が作れます。

⚠ 警告

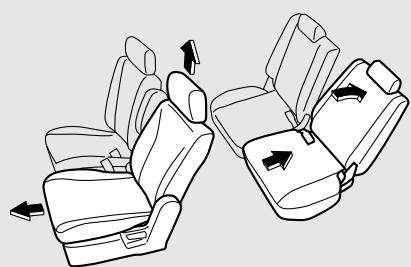
フルフラットにしたシートに、人や荷物をのせて走行しないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されたり、荷物が身体にあたるおそれがあります。

⚠ 注意

- フルフラットにしたときは、シートの上を歩きまわらないでください。シートから足を踏み外すと、けがをするおそれがあります。
- 必ずシートの中央を踏んで、ゆっくり移動してください。
- フルフラットにしたときや、もともとどしたときは、シートをゆすって固定されているか確認してください。
- 前席シートの背もたれを起こすときは、背もたれが急に起きあがり前方に倒れてしまうことがあります。手などをそえて操作してください。

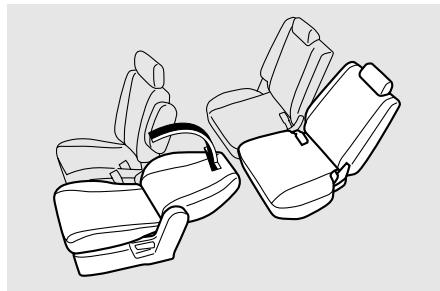
フルフラットにするときは

- 1 前席のアームレストを収納します。
- 2 後席シートを、後ろにいっぱいまで動かします。
- 3 後席の背もたれを、後ろにいっぱいまで倒します。後席シートはフラットになりません。
- 4 前席のヘッドレストを外し、シートを車の前方向にいっぱいまで動かします。



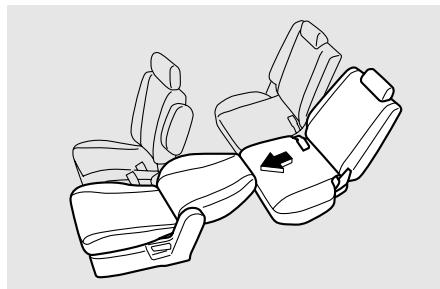
81J30520

- 5 前席シートの背もたれを、後ろにいっぱいまで倒します。



81J30530

- 6 前席シートが固定されるまで、後席シートを車の前方向に動かします。



81J30540

アドバイス

- 必要に応じて、運転席シートベルトのバックルをシートの中に収納することができます。
- フルフラットにしたときは、シートに強い衝撃をあたえないでください。シートが損傷することがあります。

もとにもどすとき

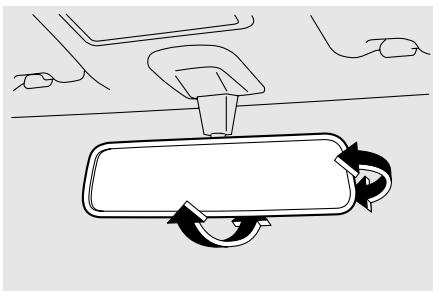
「フルフラットにするときは」と逆の手順で操作します。

アドバイス

運転席シートベルトのバックルをシートの中に収納した場合、必ず走行前にバックルを取り出してください。

ルームミラー

ミラー全体を動かして角度を調節します。



81J30550

注意

走行前に調節してください。走行中の調節は前方不注意の原因となります。

ドアミラー

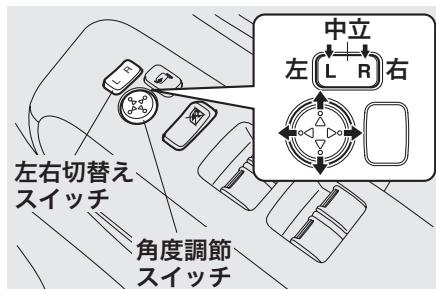
角度の調節

■ ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが [ACC] または [ON] のときに使用できます。

1 左右切替えスイッチを、調節する側に押します。

2 角度調節スイッチを押して、上下左右にミラーを動かします。



81J30562

注意

必ず走行前に調節してください。走行中の調節は、前方不注意の原因となります。

アドバイス

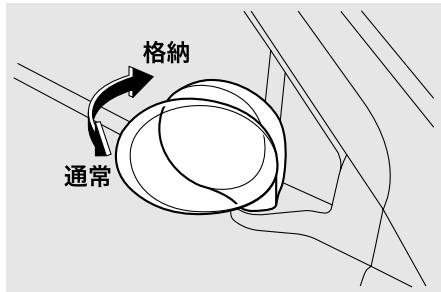
調節後は、左右切替えスイッチを押して、中立の位置にもどしてください。

シート

3. 運転装置の取扱い／各部の調節

格納

狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に倒すことができます。



81J30570

通常側

格納側

81J30590

▲ 注意

- ドアミラーを倒したまま走行しないでください。後方の確認ができず、事故を起こすおそれがあります。
- ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人や物にあてないように気をつけてください。

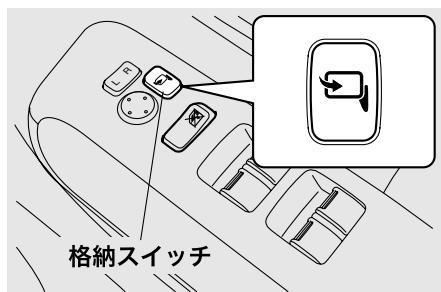
▲ 注意

- 動いているドアミラーに触れないでください。手をはさんでがをするおそれがあります。また、ドアミラー故障の原因となります。
- スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常側にもどさないでください。ドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。
その場合は、スイッチを通常側に押して、確実にドアミラーを固定してください。

■ ドアミラー格納スイッチ

エンジンスイッチが [ACC] または [ON] のときに使用できます。

- スイッチを押すごとに、格納と通常の位置に切り替わります。



81J30581

♪ アドバイス

- エンジンスイッチが [ACC] または [ON] の位置にあるときは、手でドアミラーを操作しないでください。ドアミラー故障の原因となります。
- ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを [ACC] または [ON] にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。
- スイッチが通常側の位置で、ドアミラーが車の前方向に倒れていると、エンジンスイッチを [ACC] または [ON] にしたときに、ドアミラーがさらに車の前方向に倒れてしまいます。ドアミラーをもとの状態にもどすときは、一度格納操作をしてください。

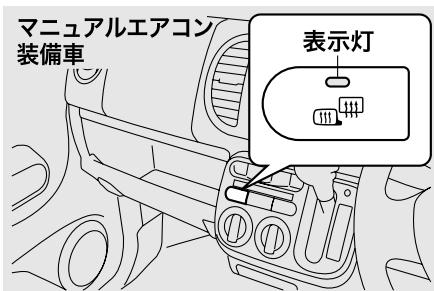
ドアミラーヒータースイッチ

タイプ別装備

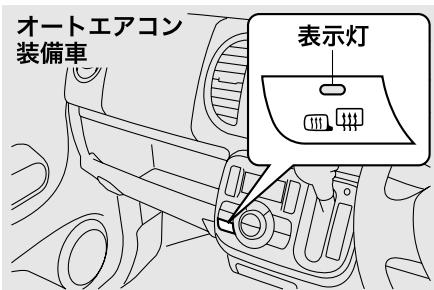
エンジン回転中に使用でき、ドアミラーのくもりを取ります。

- スイッチを押すと、ドアミラーとバックドアガラスが同時に暖められ、スイッチ内の表示灯が点灯します。

もう一度押すとヒーターが切れます。



81J30600



81J30610

アドバイス

- エンジン停止中はヒーターが入りません。
- ドアミラーヒーターは、約 15 分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。また、約 15 分経過する前にエンジンスイッチを [ACC] または [LOCK] にすると、エンジンを再始動したときに自動的にスイッチが入ります。

- バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。

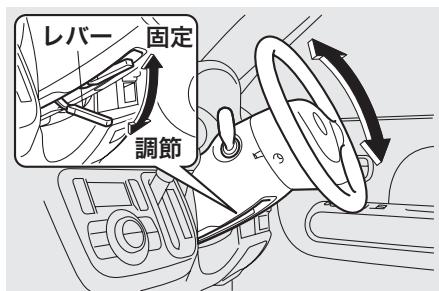
チルトステアリング

ハンドルの上下調節

ハンドルの下にあるレバーで、ハンドルの高さが調節できます。

→ 2-8 ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)

- レバーを押し下げると、ハンドルを上下に動かせます。
- 調節後は、その高さでハンドルを押されたままレバーをもとの位置まで確実にもどします。



81J30621

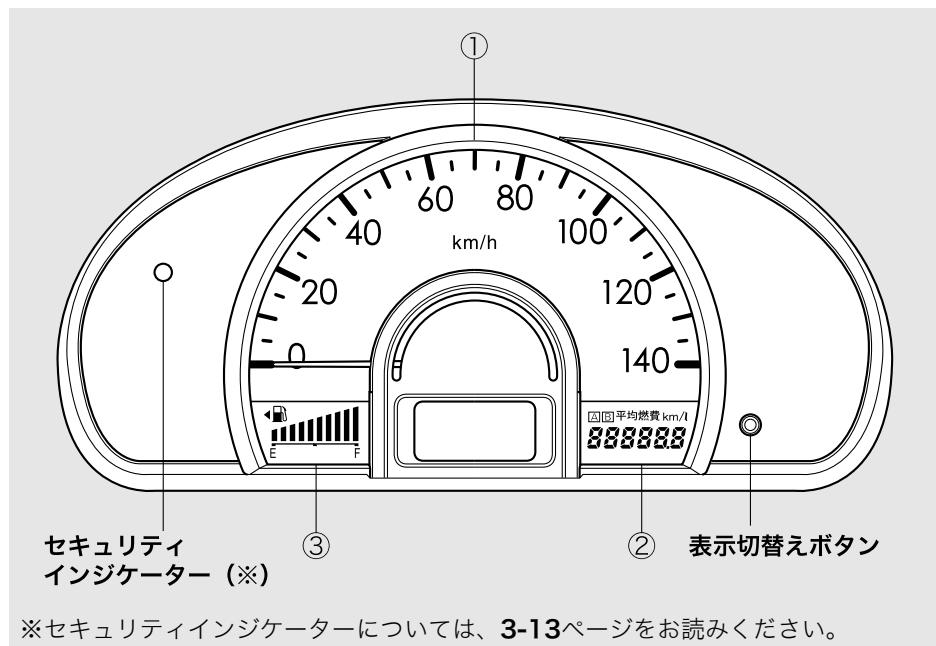
注意

調節後はハンドルを上下にゆすって、確実に固定されているか確認してください。

3. 運転装置の取扱い／メーター

メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



81J30630

- メーター
- ①スピードメーター（速度計）
 - ②オドメーター（積算距離計）
トリップメーター（区間距離計）
燃費メーター
 - ③燃料計

① スピードメーター（速度計）

走行速度をkm/hで示します。

② オドメーター（積算距離計）、 トリップメーター（区間距離計）、燃費メーター

エンジンスイッチを [ON] にすると、
“HELLO”と表示したあと、次のいずれかを表示します。

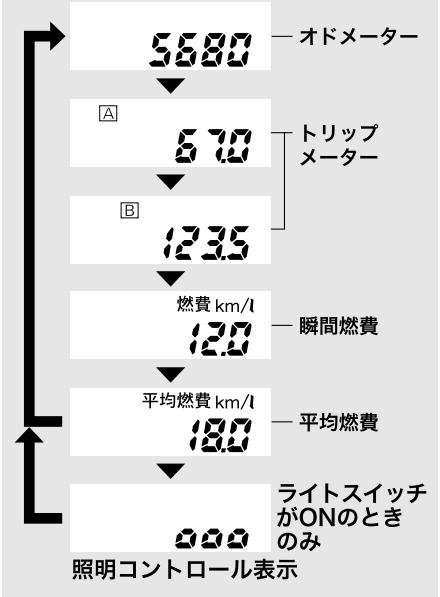
- オドメーター（積算距離計）
- トリップメーター（区間距離計）
- 瞬間燃費
- 平均燃費

また、エンジンスイッチを [ON] から
[ACC] または [LOCK] にすると、
“SEE YOU”と表示します。

3. 運転装置の取扱い／メーター

- メーター内の表示切替えボタンを押すと、下図のように表示が切り替わります。

図の数字は表示例です。



81J30640

▲ 注意

走行中は、表示の切替え操作をしないでください。操作に気を取られて、思わず事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 表示は、ボタンをはなしたときに切り替わります。
- 表示される燃費は目安です。実際とは異なる場合があります。
- 走行中にメーター内のエンジン警告灯が点灯すると、正確な燃費が表示できなくなる場合があります。
→ 3-38ページ（エンジン警告灯）

オドメーター

走行した総距離がkm単位で表示されます。

トリップメーター

[A]および[B]の切替えにより、2種類の区間距離がkm単位で表示されます。

- リセットするときは、表示が「0.0」になるまで（約2秒間）表示切替えボタンを長押しします。

アドバイス

トリップメーターの最大値は9999.9で、その後0.0にもどります。

瞬間燃費

走行中に表示されます。

アドバイス

- 停車中は値が表示されません。
- 最大表示値は50.0です。下り坂などで燃料カット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。
- 燃費が大きく変化する走行をすると、表示に遅れが発生します。

平均燃費

バッテリー接続後、またはリセット後の値が表示されます。

- リセットするときは、平均燃費の表示中に表示切替えボタンを長押しします。

アドバイス

バッテリー接続後またはリセット後しばらくは、値が表示されません。

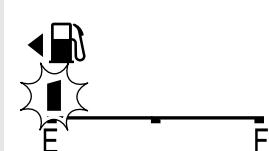
3. 運転装置の取扱い／メーター

③ 燃料計

エンジンスイッチが **[ON]** のとき、燃料残量の目安を示します。

アドバイス

- 燃料残量警告灯が点灯したときは、すみやかに給油してください。
→ 3-37ページ（燃料残量警告灯）
- 燃料残量警告灯が点灯するとともに燃料計の目盛り（1つの状態）が点滅したときは、次のことが考えられます。
 - 燃料残量がほとんどない。ただちに燃料を給油してください。
 - 燃料残量が十分にある場合は、システムの異常。日産販売会社で点検を受けてください



81J30650

- の左にある ◀ 印は、給油口（フューエルリッド）が助手席側車両後方にあることを示します。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が変わることがあります。

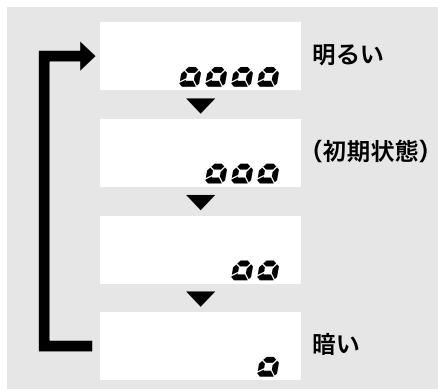
メーターの照明

メーターの照明は、ヘッドライトや車幅灯が点灯している間、点灯します。

■ メーターの明るさ調節

メーターパネルの明るさは、4段階に調節できます。

- 明るさを調節するときは、ヘッドライトや車幅灯を点灯させ、照明コントロール表示の状態（3-33 ページ参照）で、表示切替えボタンを長押しします。明るさが1段階ずつ変化します。



81J30660

▲ 注意

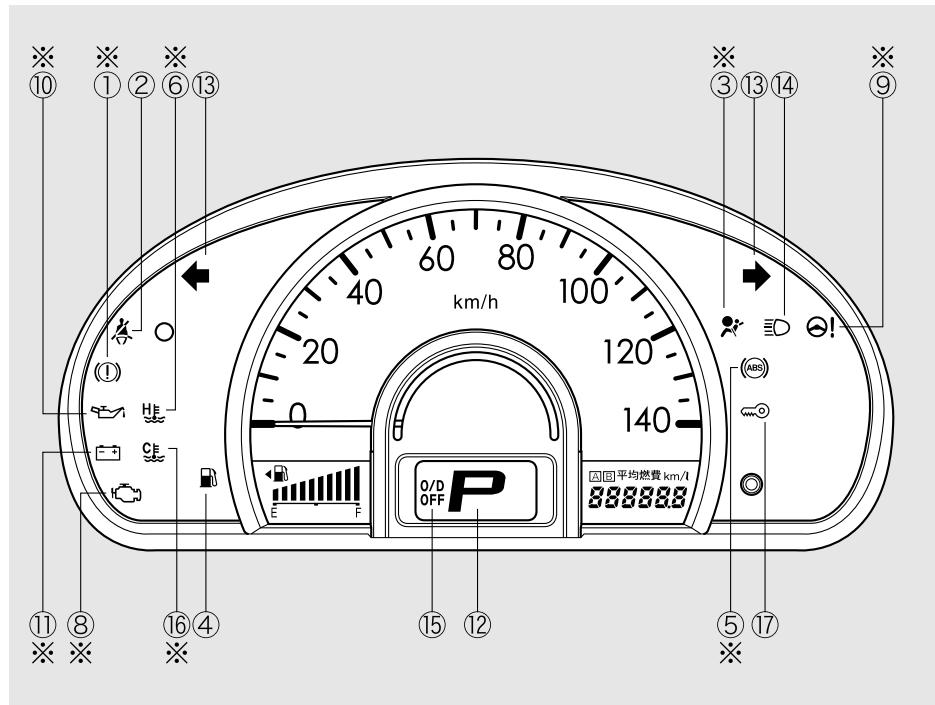
走行中は明るさ調節をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調節中に、表示切替えボタンを短押しするか10秒以上押さないでいると、オドメーターの表示に切り替わります。
- バッテリーを外すと記憶が消去され、初期状態にもどります。再度、明るさ調節をしてください。

警告灯・表示灯の見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



81J30671

- ① 制動警告灯 (※)
- ② シートベルト警告灯
- ③ SRSエアバッグ警告灯 (※)
- ④ 燃料残量警告灯
- ⑤ ABS警告灯 (※)
- ⑥ 水温警告灯 (※)
- ⑧ エンジン警告灯 (※)
- ⑨ パワーステアリング警告灯 (※)
- ⑩ 油圧警告灯 (※)
- ⑪ 充電警告灯 (※)
- ⑫ ポジションインジケーター
- ⑬ 方向指示器表示灯
- ⑭ ヘッドライト上向き (ハイビーム) 表示灯
- ⑮ オーバードライブOFF表示灯
- ⑯ 低水温表示灯 (※)
- ⑰ キーレススタート表示灯

- ⑮ オーバードライブOFF表示灯
- ⑯ 低水温表示灯 (※)
- ⑰ キーレススタート表示灯

アドバイス

※印の警告灯・表示灯は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに点灯または点滅するのが正常です。点灯または点滅しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い／メーター

① ブレーキ警告灯



81J30680

次のような状況になると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。

- ブレーキ液が不足している
- パーキングブレーキをかけている

システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを **[ON]** にすると約2秒間点灯したあと消灯します。

！ 警告

次のようなときはただちに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

- パーキングブレーキを完全に解除しても消灯しないときや、走行中に点灯したときは、ブレーキのききが悪くなっていることがあります。ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
- ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したままのときは、ABS に異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。

アドバイス

走行中に一時的に点灯しても、そのあと消灯し再点灯しなければ正常です。

② シートベルト警告灯



81J30690

運転者がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。

また、エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。

アドバイス

- 運転者がシートベルトを着用しても、点灯または点滅したままのときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
- 運転者がシートベルトを着用すると消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がシートベルトを着用しなくても、約 95 秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを **[ACC]** または **[LOCK]** にするまで消灯しません。

③ SRSエアバッグ警告灯



81J30700

エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯すると、SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があります。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約6秒間点滅したあと消灯します。

！警告

● 次のような場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

- 運転中に点灯
- エンジンスイッチを **[ON]** にしても点滅しない
- エンジンスイッチを **[ON]** にしたあと、約6秒間たっても消灯しない

④ 燃料残量警告灯



81J30710

エンジンスイッチが **[ON]** のときに、燃料の残量が少なくなると点灯します。

- 点灯したときは、すみやかに給油してください。

アドバイス

- 燃料の残量が約4.5 L以下で点灯します。なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量より若干少なくなります。
- 坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯することがあります。
- 走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。

⑤ ABS警告灯



81J30720

エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯すると、ABSの電子制御システムに異常があります。

- システムが正常な場合はエンジンスイッチを **[ON]** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。

！警告

● 次のような場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

- 運転中に点灯
- エンジンスイッチを **[ON]** にしても点灯しない
- エンジンスイッチを **[ON]** にしたあと、約2秒間たっても消灯しない
- ABS警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。ABSに異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。

アドバイス

ABSの電子制御システムに異常があるとABSの機能は停止しますが、ABSについていない通常のブレーキとして使用できます。

3. 運転装置の取扱い／メーター

⑥ 水温警告灯



81J30730

エンジン回転中に、エンジン冷却水温が高くなると点滅します。また、エンジン冷却水温が異常に高くなつたときは点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに約3秒間点灯したあと消灯します。

アドバイス

- 点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、処理をしてください。
→ 7-13ページ
(オーバーヒートしたとき)
- 水温警告灯と低水温表示灯が同時に点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

⑧ エンジン警告灯



81J30750

- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- ターボなし車の場合、エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンスイッチを [ON] にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

▲注意

ターボなし車の場合、点滅したときは運転を続けないでください。触媒装置が焼損するおそれがあります。

- 点滅中は、アクセルペダルを大きく踏み込む走行をしないでください。すみやかに枯れ草などの燃えやすいものがない安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
- 日産販売会社にご連絡ください。近くに日産販売会社がある場合は低速走行（速度50 km/h以下）で行き、点検を受けてください。

アドバイス

- エンジン回転中に点灯したときは、高速走行を避けて日産販売会社に行き、点検を受けてください。
- ターボ車には、エンジンの失火検知機能がありません。

⑨ パワーステアリング警告灯



81J30760

エンジン回転中に点灯すると、電動パワーステアリングシステムに異常があります。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

■アドバイス

- 次のような場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
 - 運転中に点灯
 - エンジンスイッチを [ON] にしても点灯しない
 - エンジンをかけても消灯しない
- 電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止します。この場合はハンドル操作が重くなるため、通常より大きな力で操作してください。

⑩ 油圧警告灯

81J30770

エンジン回転中に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベルゲージで点検してください。
(点検方法は「メンテナンスノート」を参照してください。)

■アドバイス

- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて日産販売会社にご連絡ください。
- 点灯したまま走行を続けないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

⑪ 充電警告灯

81J30780

エンジン回転中に点灯すると、充電系統に異常があります。

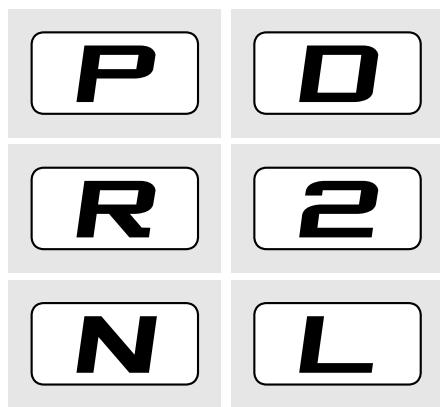
- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに点灯し、エンジンがかかると消灯します。

■アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、バッテリー保護のためエンジンを止めて、日産販売会社にご連絡ください。

3. 運転装置の取扱い／メーター

⑫ ポジションインジケーター

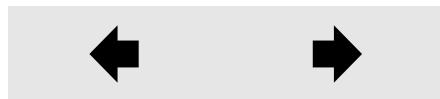


81J30790

セレクトレバーの使用している位置を示し、上図のいずれかが表示されます。
→ 3-54ページ
(セレクトレバーの各位置のはたらき)

⑬ 方向指示器表示灯

方向指示器／非常点滅灯を作動させると点滅します。



81J30800

アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示器／非常点滅灯の電球切れが考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

⑭ ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯



81J30810

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。

⑮ オーバードライブOFF表示灯



81J30820

オーバードライブ（O/D）スイッチがOFFのときに点灯します。

→ 3-56ページ
(オーバードライブ（O/D）スイッチ)

アドバイス

点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

⑯ 低水温表示灯



81J30830

エンジンスイッチが [ON] のときに、エンジン冷却水温が低いと点灯し、エンジンが暖まると消灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを [ON] にしたときに約3秒間点灯します。そのあとはエンジン冷却水温の状態により点灯または消灯します。

アドバイス

暖機を十分にしても点灯したままのときは、センサーの異常が考えられます。また、点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取り扱い／メーター

⑯ キーレススタート表示灯 [タイプ別装備]



63J30811

インテリジェントキー装備車は、エンジンスタートノブ（3-47 ページ参照）を [LOCK] の位置で押して青色に点灯すると、ノブがまわせます。赤色に点灯すると、ノブはまわせません。

また、赤色に点滅したときは、警告が作動しています。

- 3-50ページ
(携帯リモコン車外持ち出し警告)
- 3-52ページ
(エンジンスタートノブもどし忘れ警告)

アドバイス

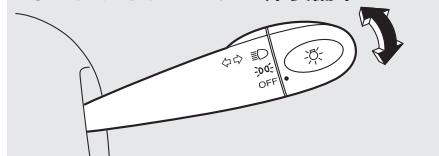
- 赤色に点灯する場合は、携帯リモコンが「車内の作動範囲」（3-50 ページ参照）で検知されていません。運転者は携帯リモコンを身につけてください。
それでも赤色に点灯する場合は、電池切れのおそれがあります。携帯リモコンに格納されているキーをご使用のうえ、日産販売会社で点検を受けてください。
- 青色の点灯がしばらく続くと、装置保護のため消灯し、エンジンスタートノブがまわせなくなります。
この場合は、一度ノブから手をはなし、再度ノブを押してください。

ライトスイッチ

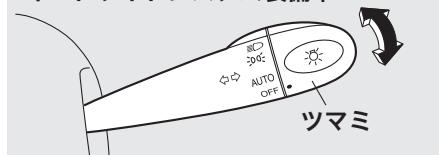
ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく使用でき、ライトスイッチのツマミをまわすと次のように点灯・消灯します。

オートライトシステム非装備車



オートライトシステム装備車



81J30852

ライト スイッチ の位置	ヘッドライト (前照灯)	車幅灯、 尾灯、番号灯、 計器照明灯
OFF	点灯	点灯
30°	消灯	点灯
AUTO	自動点灯・消灯（※）	
60°	消灯	消灯
90°		

※オートライトシステム（タイプ別装備）は、エンジンスイッチが [ON] のときだけ作動します。

アドバイス

エンジン停止中に、長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

■ オートライトシステム

[タイプ別装備]

エンジンスイッチが [ON] のときに使用でき、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯が自動的に点灯・消灯します。エンジンスイッチを [ACC] または [LOCK] にすると、自動的に消灯します。

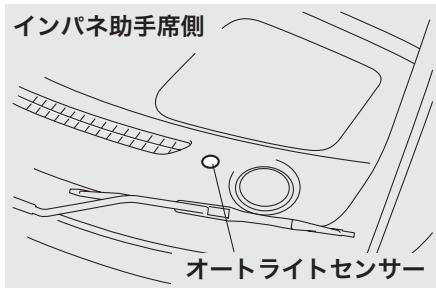
3. 運転装置の取扱い／スイッチの使いかた

- ライトスイッチのツマミを AUTO の位置にまわすと、次のように点灯・消灯します。

車外の明るさ	ヘッドライト (前照灯)	車幅灯、 尾灯、番号灯 計器照明灯
明るいとき	消灯	消灯
薄暗いとき	消灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

♪ アドバイス

- AUTO 位置のままエンジンスイッチを **ON** にしていると、エンジンがかかるにないとも、車外が暗くなるとともにライトや車幅灯が点灯します。そのまま長時間点灯させると、バッテリーあがりの原因となりますのでご注意ください。
- オートライトセンサーの上や周囲に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に点灯・消灯しなくなります。



81J31260

ヘッドラランプ消し忘れ警報

ヘッドライトや車幅灯の消し忘れを防止するため、次のようなときに運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピ——”と連続して鳴ります。

- キーを抜いたあとも、ライトや車幅灯が点灯している
- インテリジェントキー装備車は、エンジンスタートノブを **LOCK** 位置にもどしたあとも、ライトや車幅灯が点灯している

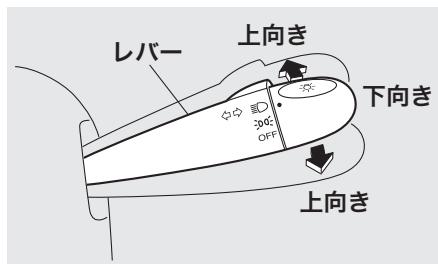
ライトおよび車幅灯を消すと、室内ブザーは止まります。

ライトの上向き、下向きの切替え

ヘッドライトを上向き（ハイビーム）に切り替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバーを車の前方向に押すと上向きになります。もとの位置にもどすと、下向きになります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯が点灯します。

→ 3-40ページ（ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯）



81J30861

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

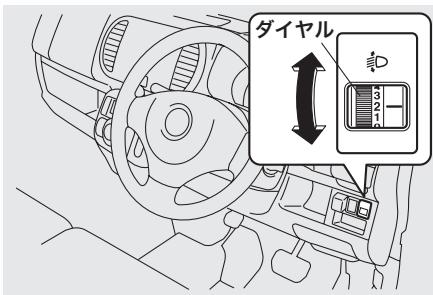
♪ アドバイス

対向車や先行車があるときは、ライトを下向きにしてください。

ヘッドランプレベライザースイッチ

ライトを下向き（ロービーム）に点灯してヘッドランプレベライザースイッチをまわすと、ライトの光軸が調整できます。荷物や同乗者を乗せてライトの光軸が上向きになると、対向車や前を走る車の迷惑となります。スイッチを操作して、光軸を下向きに調整してください。

- スイッチの目盛りは**0～4**まであり、光軸が9段階（0.5きざみ）に調整できます。
- スイッチの目盛りを大きくすると、光軸が下向きになります。
- 前席のみ乗車している場合は、ダイヤルを**0**の位置にします。



81J30871

▲注意

- スイッチは停車中に操作してください。走行中は操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車検などで基本の光軸を調整するときは、スイッチを**0**の位置にしてください。**0**以外の位置で基本光軸を調整すると、ライトの光軸が基準より上向きになるなど、安全上問題となるおそれがあります。

アドバイス

- スイッチ操作は、ライトが下向き（ロービーム）に点灯しているときに行なってください。ライトが上向き（ハイビーム）に点灯している、または点灯していないときは、光軸が適切に調整できているか判断できません。
- スイッチを操作すると、ライトの下向き（ロービーム）と上向き（ハイビーム）の光軸が同時に調整されます。
- 荷物や同乗者をおろしたあとは、スイッチを**0**の位置にもどしてください。
- 荷物や同乗者ののせかたによって変わりますが、下表の数値を参考に適切な位置に調整してください。

（スイッチ位置の目安）

条件	スイッチ位置
運転席のみ乗車	0
運転席および助手席に乗車	
4名乗車	1
4名乗車で荷室満載	1～1.5
運転席のみ乗車で荷室満載	2～2.5

3. 運転装置の取扱い／スイッチの使いかた

スイッチ

方向指示器スイッチ

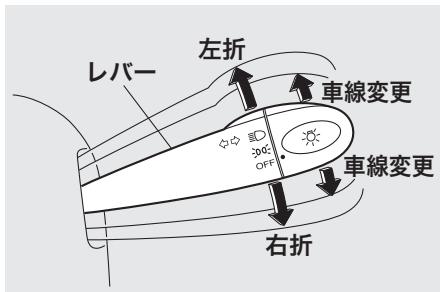
エンジンスイッチが [ON] のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時：レバーを押し上げます。

右折時：レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが自動的にもどり、方向指示器と表示灯が消灯します。



81J30881

- 上図のスイッチは代表例です。お車のタイプにより異なります。

アドバイス

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

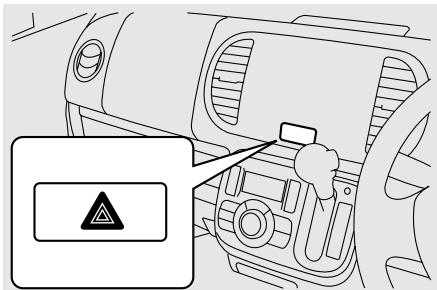
レバーを車線変更しようとする方向に軽く押さえます。

- 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

非常点滅灯スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。故障などでやむをえず路上駐車するときや非常時に使用します。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



81J30890

アドバイス

エンジン停止時は、非常点滅灯を長時間点滅させないでください。バッテリー上がりの原因となります。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが [ON] のときに使用できます。

注意

- ウインドーが乾いているときは、ウインドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。空ぶきするとガラス面やワイパープレード（ゴム部）に傷がつき、視界を悪くすることがあります。

3. 運転装置の取扱い／スイッチの使いかた

- 寒冷時は、ガラス面に吹きつけたウォッシャー液が凍結して、視界が悪くなることがあります。ガラス面をデフロスターで暖めてから、ウォッシャー液を噴射してください。

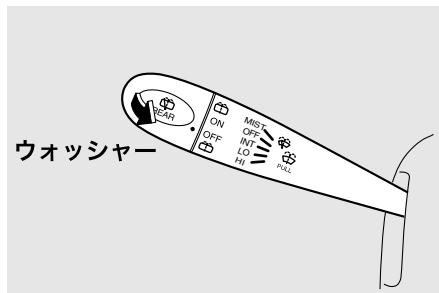
→ 5-2ページ（デフロスター）

アドバイス

- ワイパープレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパープレードが傷つくことがあります。
- ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャーポンプが故障する原因となります。

フロントウォッシャースイッチ

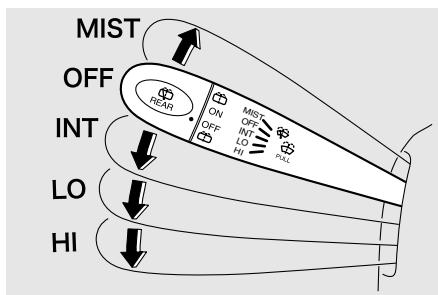
レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射されワイパーが数回動きます。



81J30910

フロントワイパースイッチ

- MIST レバーを押し上げている間ワイパーが動く
 OFF (停止) ... 停止
 INT (間欠) ... 間隔をあけて動く
 LO (低速) ... ゆっくり動く
 HI (高速) ... 速く動く

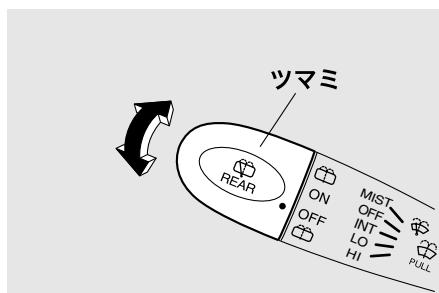


81J30900

リヤワイパースイッチ

ツマミをまわして操作します。

- ON 作動
 OFF 停止

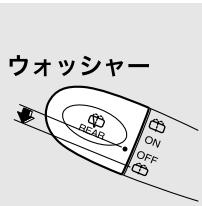
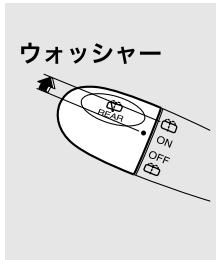


81J30920

3. 運転装置の取扱い／スイッチの使いかた

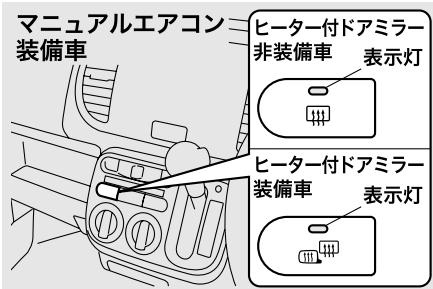
リヤウォッシャースイッチ

- 図の↑方向にツマミをまわし、ONの上にある図（ウォッシャー）にあわせるとウォッシャー液が噴射し、同時にリヤワイパーも連動して動きます。ツマミから手をはなすとONにもどります。
- 図の↓方向にツマミをまわし、OFFの下にある図（ウォッシャー）にあわせるとウォッシャー液が噴射します。ツマミから手をはなすとOFFにもどります。



81J30930

- ヒーター付ドアミラー装備車では、バックドアガラスとドアミラーが同時に暖められます。



81J30950

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ホーンマークがついている部分を押すとホーンが鳴ります。

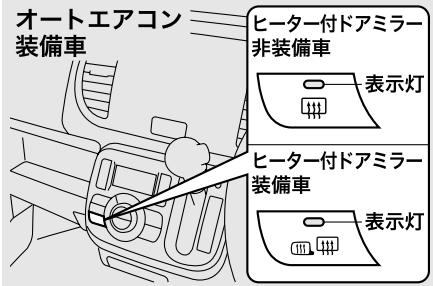


66K30891

リヤデフォッガースイッチ

エンジン回転中に使用でき、バックドアガラスの内側のくもりを取ります。

- スイッチを押すとバックドアガラスが暖められて、スイッチ内の表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。



81J30960

アドバイス

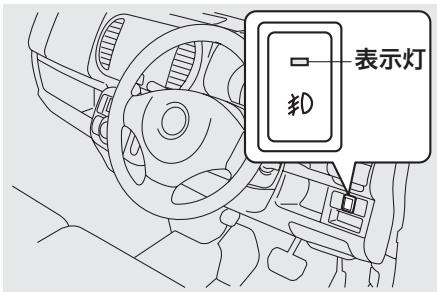
- エンジン停止中はスイッチが入りません。
- 約15分連続で使用すると、自動的にスイッチが切れます。また、約15分経過する前にエンジンスイッチを[ACC]または[LOCK]にすると、エンジンを再始動したときに自動的にスイッチが入ります。
- バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。
- 雪を溶かしたり、雨水を乾燥させたりすることには使用しないでください。
- バックドアガラスの室内側をふくときは、熱線や端子を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線に沿ってふいてください。

フォグランプスイッチ

タイプ別装備

ヘッドライトや車幅灯を点灯しているときに使用でき、雨や霧などで視界が悪いときに使用します。

- スイッチを押すとフォグランプが点灯し、スイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。



81J30971

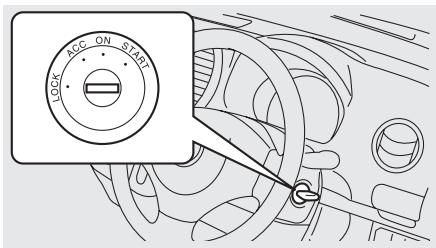
アドバイス

バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

エンジンスイッチの各位置 のはたらき

インテリジェントキー非装備車

キーをエンジンスイッチに差し込むと、キーによるエンジンスイッチの操作ができます。



81J30981

■ LOCK (ロック)

駐車するとき、キーを抜き差しするときの位置です。

キーを抜いてハンドルをまわすと、ハンドルは自動的にロックされます。

■ ACC (アクセサリー)

エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、アクセサリーソケットなどの電装品を使用するときの位置です。

■ ON (オン)

エンジンが回転中の位置です。

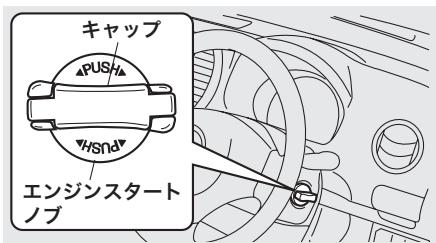
■ START (スタート)

エンジンをかけるときの位置です。始動したらキーから手をはなしてください。キーは自動的に **ON** にもどります。

インテリジェントキー装備車

所持している携帯リモコンが「車内の作動範囲」（3-50 ページ参照）に入っていると、エンジンスタートノブによるエンジンスイッチの操作ができます。

→ 3-8ページ (携帯リモコン)

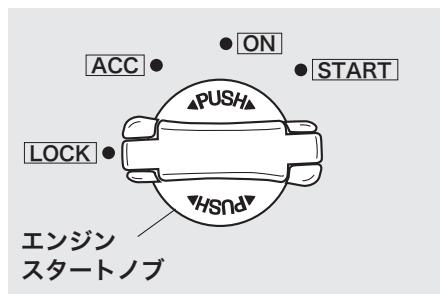
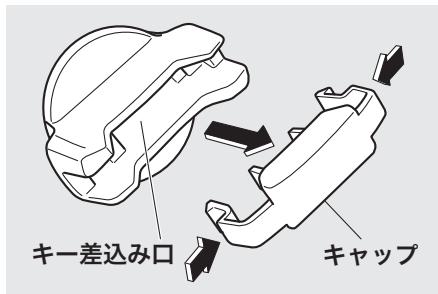


81J30991

スイッチ

3. 運転装置の取扱い／エンジン始動

- エンジンスタートノブには、ノブの操作をしやすくするためのキャップが付いています。キーによるエンジンスイッチの操作をするときは、キャップを外します。
- 外すときは、キャップの両側を指でつまみながら引き抜きます。



※上図のエンジンスタートノブ周囲の表記（●やLOCKなど）は説明用です。実際の車両には、これらの表記はありません。

！警告

走行中はエンジンを止めないでください。

→ 2-11 ページ（走行中はエンジンスイッチを切らない）

アドバイス

- キーまたはエンジンスタートノブがLOCKからACCにまわらないときは、ハンドルを左右に軽くまわしながらキーまたはノブをまわしてください。
- エンジンを止めているときは、エンジンスイッチをACCまたはONにしたままにしないでください。また、その状態で長時間ラジオなどを聞くかないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- エンジンスタートノブは、押してすぐにLOCKからACCにまわせません。メーター内のキーレススタート表示灯が青色に点灯するのを待ってから、ノブをまわしてください。

■ LOCK (ロック)

駐車するときの位置です。この位置でエンジンスタートノブを押すと、携帯リモコンが車両と電波で通信を開始します。照合がとれるとメーター内のキーレススタート表示灯が青色に点灯し、ノブをまわせるようになります。また、キーを抜き差しすることもできます。エンジンスイッチをLOCKにもどしてハンドルをまわすと、ハンドルは自動的にロックされます。

■ ACC (アクセサリー)

エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、アクセサリーソケットなどの電装品を使用するときの位置です。

■ ON (オン)

エンジンが回転中の位置です。

■ START (スタート)

エンジンをかけるときの位置です。始動したらエンジンスタートノブまたはキーから手をはなしてください。ノブまたはキーは自動的にONにもどります。

3. 運転装置の取扱い／エンジン始動

インテリジェントキー

タイプ別装備

インテリジェントキー装備車は、所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」(3-50ページ参照)に入っていると、エンジンスタートノブの操作で始動が可能となります。

また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム
→ 3-7ページ
(リモートコントロールエントリーシステム)
- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
→ 3-8ページ (携帯リモコン)

■ アドバイス

エンジンスタートノブがACCのときに、一定時間いずれかのドアを開けたままにしていると、エンジンの始動ができなくなる場合があります。(キー使用時を除く)
その場合には、すべてのドアを閉めるか、エンジンスタートノブをLOCKにもどしてから、エンジンをかけてください。

キーレススタート表示灯



63J30811

メーターパネル内にあります。

● エンジンスタートノブをLOCKの位置で押して青色に点灯すると、ノブがまわせます。赤色に点灯すると、ノブはまわせません。

● 赤色に点滅したときは、警告が作動しています。

→ 3-50ページ

(携帯リモコン車外持ち出し警告)

→ 3-52ページ

(エンジンスタートノブもどし忘れ警告)

■ アドバイス

● 赤色に点灯する場合は、携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」(3-50ページ参照)で検知されていません。運転者は携帯リモコンを身につけてください。

それでも赤色に点灯する場合は、電池切れのおそれがあります。携帯リモコンに格納されているキーをご使用のうえ、日産販売会社で点検を受けてください。

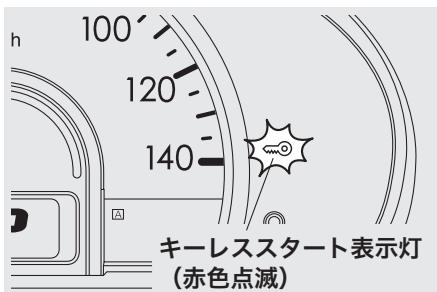
● 青色の点灯がしばらく続くと、装置保護のため消灯し、エンジンスタートノブがまわせなくなります。この場合は、一度ノブから手をはなし、再度ノブを押してください。

3. 運転装置の取扱い／エンジン始動

携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のキーレススタート表示灯が赤色に点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスタートノブが [LOCK] の位置へ完全にもどされていない状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内にない場合
- エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約10 km/h以上になって一定時間経過したときに、携帯リモコンが車内にない場合



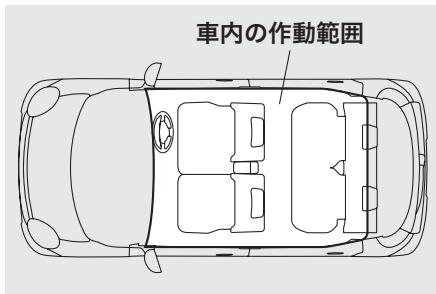
81J31012

アドバイス

- 警告が作動したときは、すみやかに安全な場所に停車し、携帯リモコンの場所を確認してください。
- 警告作動中はエンジンの再始動ができません。
- キーレススタート表示灯の赤色点滅は、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。
- 携帯リモコンは必ず運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動機能／携帯リモコン車外持ち出し警告の作動範囲（車内）

「車内の作動範囲」は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



81J31022

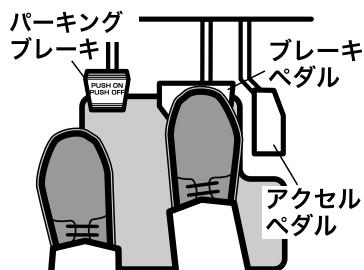
アドバイス

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジンの始動ができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンが運転席アンダーポックスや助手席大型ポケット、ドアポケットなどの小物入れの中にある
 - 携帯リモコンがサンバイザーや床にある

3. 運転装置の取扱い／エンジン始動

●「車内の作動範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジンの始動ができる場合があります。また携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。

- ・車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
- ・携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

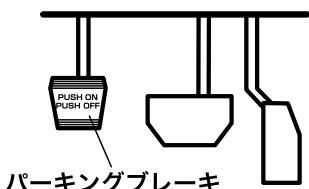


81J20460

エンジンのかけかた

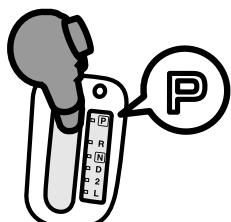
2-9 ページの「エンジンをかけるときは」もあわせてお読みください。

1 パーキングブレーキがしっかりとかかっていることを確認



81J20380

2 セレクトレバーが P になっていることを確認



81J20470

3 右足でブレーキペダルをしっかりと踏み込む

4 キーまたはインテリジェントキー装備車のエンジンスタートノブを START まで回す



81J31040

●エンジンがかかったら、すみやかにキーまたはエンジンスタートノブから手をはなします。

アドバイス

- エンジンをかけるときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- ヘッドライトやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- バッテリー保護のため、キーまたはエンジンスタートノブを [START] にまわした状態を8秒以上続けないでください。エンジンがかからないときは、キーまたはノブを一度 [ACC] にもどし、10秒以上待ってから再びかけてください。
- 前記の手順を繰り返してもエンジンがかからないときは、日産販売会社にご連絡ください。

3. 運転装置の取扱い／エンジン始動

キーを抜くときは

誤操作防止のため、セレクトレバーが **P** のときだけキーが抜けます。

- 3-58ページ (キーインターロック)
→ 3-61ページ (駐車)

■ キー抜き忘れ警報

キーの抜き忘れを防止するためのブザーです。

- キーを **ACC** または **LOCK** にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー”と断続的に鳴ります。
- キーを抜くと、室内ブザーが止まります。

エンジンスタートノブをもどすときは

インテリジェントキー装備車は、誤操作防止のため、セレクトレバーが **P** のときだけエンジンスタートノブを **LOCK** にもどせます。

- 3-61ページ (駐車)

アドバイス

エンジンスタートノブをもどすときは、セレクトレバーが **P** にあるか確認してください。

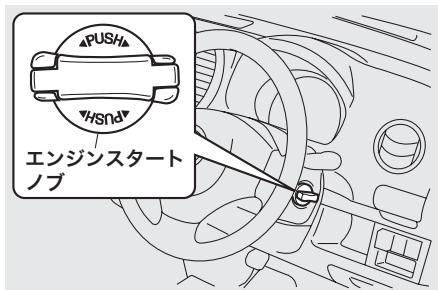
■ エンジンスタートノブもどし忘れ警告

タイプ別装備

インテリジェントキー装備車は、エンジンスタートノブをもどし忘れると、次のような警告が作動します。

- エンジンスタートノブが **ACC** と **LOCK** の間にあると、室内ブザーが2回鳴り、メーター内のキーレススタート表示灯が赤色に点滅します。
- 運転席ドアを開けると、室内ブザーが断続的に鳴ります。

エンジンスタートノブを **LOCK** の位置に完全にもどすと、キーレススタート表示灯が消灯し、室内ブザーは止まります。



81J30231

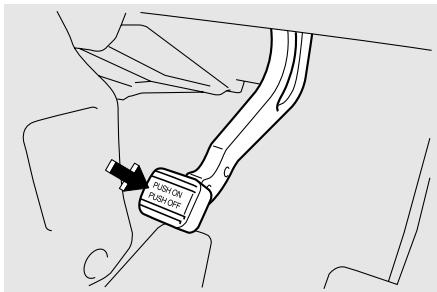
アドバイス

車から離れるときは盗難防止のためエンジンを停止し、必ずエンジンスタートノブを **LOCK** の位置へもどしたことを確認して、ドアを施錠してください。**LOCK** の位置にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

3. 運転装置の取扱い／パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。



81J31050

- ・パーキングブレーキのききを強くしようと/orして、2度踏みをしないでください。2度踏みをすると、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。

アドバイス

パーキングブレーキをかけたあとで、さらに強くブレーキをきかせたいときは、右足でブレーキペダルを強く踏み、左足でパーキングブレーキペダルを一度踏んで、パーキングブレーキを解除してから、再度踏み込み直してください。

ブレーキ

！警告

- ・走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすことがあります。
- ・走行中は、パーキングブレーキペダルに足をのせないでください。カーブを曲がるときなどに足に力がかかり、踏み込んでしまうことがあります。

- ・駐車するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら左足でパーキングブレーキペダルをいっぽいまで踏み込みます。

！注意

- ・パーキングブレーキをかけるときは、確実にブレーキがきくまで一気に踏み込んでください。

- ・解除するときは、左足でパーキングブレーキペダルを力ちつと音がするまで踏み、ゆっくりとはなします。坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルを力ちつと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動きだす感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりともどしてください。

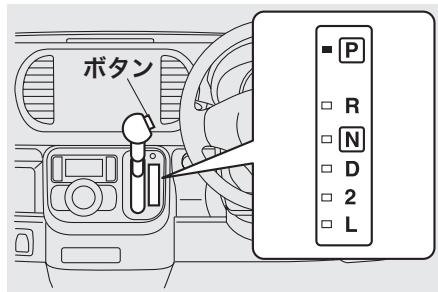
！注意

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。万一、パーキングブレーキをきかせたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキがきかなくなることがあります。

3. 運転装置の取扱い／オートマチック車

セレクトレバーの操作

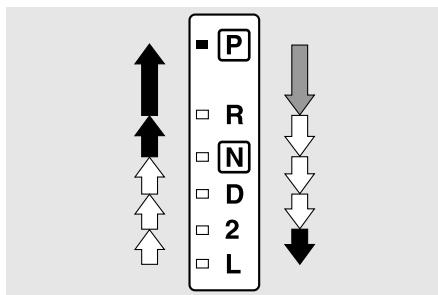
セレクトレバーの各位置のはたらき



81J31061

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するとき、キーを抜くときの位置 ●駆動輪（前輪）がロックされます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ●室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ●エンジンを始動できますが、誤操作防止のため、通常は P の位置で始動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ●車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
2 セカンド	エンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ●ギヤは1速と2速の間で自動的に切り替わります。坂道を走行するときなどに使用します。
L ロー	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ●ギヤは常時1速に固定されます。急な坂道を走行するときなどに使用します。

セレクトレバーの動かしかた



81J31070

- ブレーキペダルを踏み、ボタンを押した状態でセレクトレバーを動かします。
- ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。
- ボタンを押した状態でセレクトレバーを動かします。

アドバイス

- の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違って **P** **R** **L** へ入れてしまおうおそれがあります。
- 走行中は、セレクトレバーを **R** に入れないとください。トランスマッシュションが故障する原因となります。

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせません。

アドバイス

- 発進するときは、ブレーキペダルをしっかり踏んだままセレクトレバーを操作してください。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせない場合は、次の手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い／オートマチック車

■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障やバッテリー上がりなどで、セレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

1 安全のため、エンジンスイッチを **ACC** にしてパーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

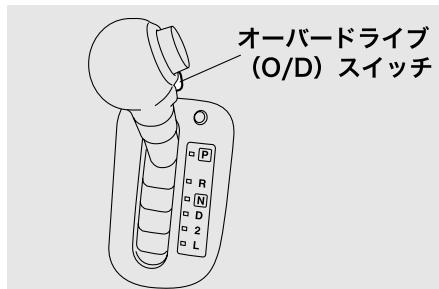
2 セレクトレバーパネルの右上にあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



81J31090

オーバードライブ (O/D) スイッチ

- スイッチを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。
- OFFのときに、メーター内のオーバードライブOFF表示灯が点灯します。



81J31080

アドバイス

オーバードライブスイッチは、エンジン始動時には自動的にON状態へもどります。このときオーバードライブOFF表示灯が消灯します。

■ スイッチがONのとき

通常走行に適しています。

- セレクトレバーが **D** のときに、1速から4速の間で自動変速し、燃費性能と静粛性を高めます。

アドバイス

スイッチがONでも、AT油温、エンジン水温が低いと、4速ギヤに入らない制御をしています。

■ スイッチがOFFのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

- セレクトレバーが **D** のときに、1速から3速の間で自動変速します。
- 下り坂では、軽いエンジンブレーキがかかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

■ オーバードライブOFF表示灯

O/D
OFF

81J30820

メーターパネル内にあります。

- オーバードライブ（O/D）スイッチがOFFのときに点灯します。
→ 3-35ページ
(警告灯・表示灯の見かた)

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

▲ 注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱいに踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが [P] [N] 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

▲ 注意

- セレクトレバーを [P] [N] 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。

登降坂変速制御

セレクトレバーが [D] の位置で作動する制御です。

- 登坂路では自動的に変速回数を減らし、なめらかな走行ができます。
 - 登坂中と判断すると、シフトアップを制限し、シフトダウンしやすくなります。
- 降坂路では自動的にシフトダウンして、エンジンブレーキがかかります。
 - 4速走行時に降坂中と判断したときは、ブレーキペダルを踏むと3速にシフトダウンします。

3. 運転装置の取扱い／オートマチック車

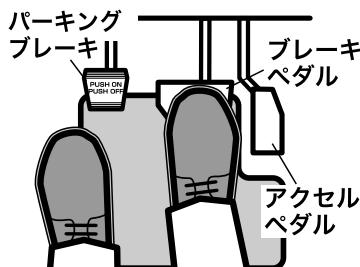
キーインターロック

誤操作防止のため、セレクトレバーが[P]のときだけキーが抜けます。これをキーインターロックといいます。

♪アドバイス

キーを抜くときは、セレクトレバーが[P]にあるか確認してください。

ブレーキペダルは右足で踏む



81J20460

オートマチック車を運転するとき

R(リバース)ポジション警告ブザー

セレクトレバーを[R]に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが[R]に入っていることを運転者に知らせます。

♪アドバイス

この警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときは、セレクトレバーを[R]に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに[R]から[N]に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

▲注意

アクセルペダルを踏んだままでセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすことがあります。

ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

！警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

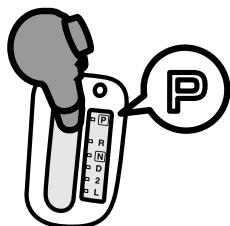
セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は[P]、前進時は[D]、後退時は[R]にあることを目で確認してください。

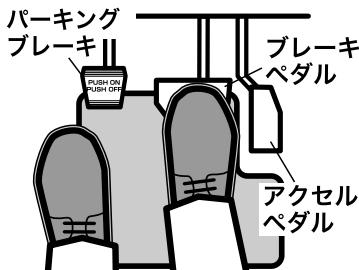
車から離れるときは

▲注意

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **P** 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わず急発進をするおそれがあります。



81J20470

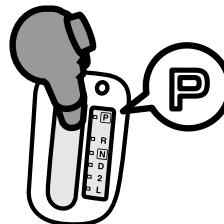


81J20460

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は **3-51** ページの「エンジンのかけかた」をお読みください。

- 1** パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2** セレクトレバーが **P** にあることを確認します。



81J20470

オートマチック車の運転のしかた

3-54 ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1** ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートを調節します。
- 2** アクセルペダルとブレーキペダルの位置を右足で確認します。
- 3** パーキングブレーキペダルの位置を左足で確認します。

オートマチック車

アドバイス

セレクトレバーが **N** の位置でもエンジンがかかりますが、通常は駆動輪（前輪）が固定される **P** でエンジンをかけてください。

N での始動は、踏切や交差点でエンストしたときなどの非常用です。

- 3** ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4** エンジンを始動します。

3. 運転装置の取扱い／オートマチック車

発進

■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏み込みます。
- 2 前進時は [D]、後退時は [R] にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足をはなし、アクセルペダルを慎重に踏んで発進します。

▲ 注意

発進時の速度の調節は、アクセル操作だけです。アクセルペダルはゆっくり慎重に踏んでください。

■ 急な上り坂での発進

- ①、②は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏みます。
 - 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足をはなし、アクセルペダルを慎重に踏みます。
 - 5 車が動きだす感触を確認しながら、パーキングブレーキペダルをもどして発進します。



81J31100

走行

■ 通常走行

セレクトレバーを [D] に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

▲ 注意

- 走行中は、セレクトレバーを [N] にしないでください。エンジンブレーキがまったくきかないため、思いがけない事故の原因となります。
- 高速走行中は、セレクトレバーを [2] や [L] に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかってスリップ事故を起こすおそれがあります。また、エンジンの回転が上がりすぎて故障の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を [D] で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめオーバードライブ (O/D) スイッチを OFF にするか、セレクトレバーを [2] に入れておくと、エンジン回転の変化が少ない、なめらかな走行ができます。急な上り坂で、1速と2速の変速を繰り返すようなときには [L] に入れます。

■ 下り坂走行

下り坂を **D** のままで走行すると、エンジンブレーキのききが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめオーバードライブ (O/D) スイッチを OFF にするか、セレクトレバーを **2** に入れてエンジンブレーキを併用します。急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには **L** に入れます。

！警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキがきかなくなるおそれがあります。

一時停止

- 1** セレクトレバーは走行位置のままで停車し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
 - 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
 - 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを **N** に入れます。
- 2** 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

！注意

一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

上り坂などで、アクセルをふかしながら車を停止させないでください。トランクミッションオイルが過熱し、故障する原因となります。

駐車

- 1** 車を完全に止めます。
- 2** ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3** セレクトレバーを **P** に入れてエンジンを止め、ブレーキペダルからゆっくりと足をはなします。

！注意

駐車するときは、必ずセレクトレバーを **P** に入れてからエンジンを止めてください。**P** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 4** エンジンキーを抜きます。また、インテリジェントキー装備車は、エンジンスタートノブを **LOCK** にもどします。

！注意

キーは必ず抜いてください。また、インテリジェントキー装備車は、必ずエンジンスタートノブを **LOCK** の位置へもどしてください。

3. 運転装置の取扱い／オートマチック車

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

！警告

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置（D、2、L）にしたまま惰性で後退したり、後退の位置（R）にしたまま惰性で前進しないでください。エンストしてブレーキのききが悪くなったり、ハンドルが重くなったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

アドバイス

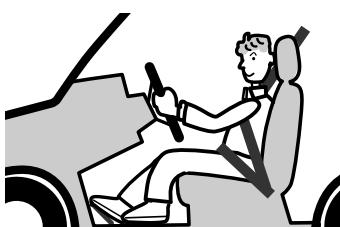
前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを R に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに R から N に入れる習慣をつけてください。

オートマチック車

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



81J20190

■ 停車するとき

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを P に入れないとください。トランスミッションが故障する原因となります。

4. 安全装備の取扱い

シートベルト

シートベルトについて	4-2
シートベルトの着用のしかた	4-3
シートベルトの取扱いとお手入れ	4-4
シートベルトプリテンショナー	4-5
シートベルトの衝撃低減機構 (前席のみ)	4-6
チャイルドシート固定機構付シートベルト (後席のみ)	4-7

SRSエアバッグ

SRSエアバッグ車を運転するときは	4-8
SRSエアバッグシステムの取扱い	4-10
SRSエアバッグシステムの作動	4-12
警告灯の見かた	4-14
廃棄と廃車	4-15
イベントデータレコーダー(EDR)とは	4-15

ABS

ABS車の取扱い	4-16
----------------	------

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRS エアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守とともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

シートベルトについて

正しい姿勢でシートにすわり、正しくシートベルトを着用しないと、シートベルトが本来の効果を発揮できません。シートベルトを着用するときは、次のこととに注意してください。

- ・シートを正しい位置に調節し、上体を起こして奥深くすわります。
- ・ベルトがねじれないように着用します。
- ・腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- ・肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
- ・ベルトがねじれていなことを確認し、たるみを取り除きます。

→ 3-21ページ (正しい運転姿勢)



63J40011

！警告

- ・走行前にシートベルトを正しく着用してください。走行中に着用したり調節したりすると、思わぬ事故を起こすことがあります。
- ・背もたれを必要以上に倒さないでください。また、洗たくばさみやクリップなどでベルトをたるませない

でください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

- ・助手席や後席の同乗者全員にシートベルトを着用させてください。

お子さまもシートベルトを着用

→ 2-4ページ

(お子さまを乗せるときは)

妊娠中や疾患のある方は

！警告

- ・妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されることがありますので、医師に相談して注意事項を確認してください。
- ・妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



81J40020

4. 安全装備の取り扱い／シートベルト

シートベルト警告ブザー

運転席のシートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約 15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していないと、メーター内のシートベルト警告灯が点灯から点滅に切り替わるとともに、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴ります。

→ 3-36ページ

(シートベルト警告灯)

アドバイス

- 運転者がベルトを着用すると、警告灯は消灯します。また、警告ブザーが鳴っているときは、ブザーも止まります。
- 警告ブザーは運転者がベルトを着用しなくても、約95 秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを **ACC** または **LOCK** にするまで消灯しません。

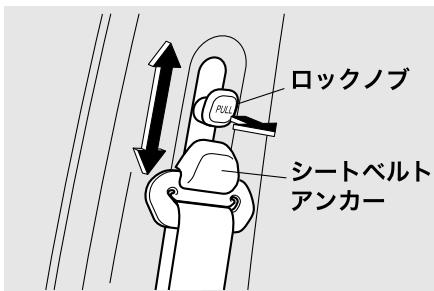
シートベルトの長さ調節

ベルトの長さ調節は必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節 (前席のみ)

身体の大きさにあわせて、シートベルトアンカーの高さ調節ができます。

- ロックノブを引いたままアンカーを上下させ、適切な位置でノブをはします。
- 調節後は、アンカーを上下にゆすって固定されているか確認します。



81J40030

シートベルトの着用のしかた

- タングプレートとベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。ベルトのねじれを取ります。



81J40040

アドバイス

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

- 2 カチッという音がするまで、タングプレートをバックルにしっかりと差し込みます。



81J40050

- 3 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。
4 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。
5 ベルトがねじれていなことを確認し、たるみを取り除きます。

シートベルトを外すときは

バックルのボタンを押してください。ベルトが自動的に巻きもどされます。



81J40060

アドバイス

ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもどされていることを確認してください。

衝突のときは

警告

- ベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに強く圧迫されるおそれがあります。
- ベルトが肩にしっかりととかかっていないと、前に投げ出されるおそれがあります。
- アームレストの上にベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下をとおしてください。



81J40071

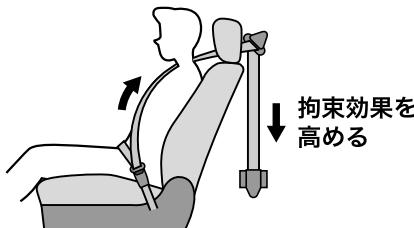
シートベルトの取扱いとお手入れ

取扱い

警告

- ベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- バックルが正常に動かないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

- 衝突などでベルトに強い力がかかってたときは、外観に異常がなくても、機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。
- バックルや自動巻取り装置の内部に異物を入れないでください。
- ベルトをドアにはさまないでください。ドアを閉じる前に、ベルトがたるみなく巻きもどされていることを確認してください。
- ベルトを改造したり、取り外さないでください。



81J40080

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。
 → 6-3ページ（布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ）

！警告

漂白剤、有機溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となります。

シートベルトプリテンショナー

前席のみ

シートベルトプリテンショナーとは

エンジンスイッチが [ON] のときに、車の正面方向から強い衝撃を受けると、SRSエアバッグシステムと連動して肩ベルトを瞬時に巻き取ります。また、運転席側はラップアウタープリテンショナーミューラーにより、腰ベルトも同時に巻き取ります。

▲注意

プリテンショナーが一度でも作動すると、ベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。必ず日産販売会社で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に影響をあたえる部品に手を加えないでください。シートベルトが思いがけないときに巻き取られたり、必要なときに正常に巻き取られないことがあります。

→ 2-24 ページ（部品の取付け、取外し、修理をするときは）

作動するとき、作動しないとき

シートベルトプリテンショナーは、SRSエアバッグシステムと連動しています。

→ 4-12ページ
 (SRSエアバッグシステムの作動)

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

SRSエアバッグ警告灯



81J30700

SRSエアバッグ警告灯は、メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが [ON] のときに点灯すると、シートベルトプリテンショナー、SRSエアバッグの電子制御システムに異常があります。

→ 3-36ページ（警告灯の見かた）

廃棄や廃車

作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

▲ 注意

シートベルトプリテンショナーを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、日産販売会社にご相談ください。

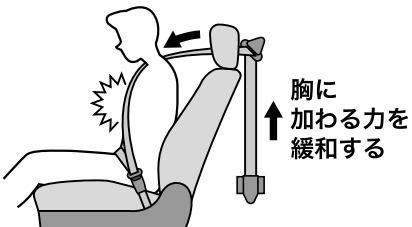
シートベルトの衝撃低減機構 (前席のみ)

2ステージロードリミッター付シートベルト (運転席)

車の正面方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻取り装置内の可変ロードリミッターが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを2段階に繰り出して、衝撃を緩和します。

ロードリミッター付シートベルト (助手席)

車の正面方向から強い衝撃を受けると、シートベルト巻取り装置内のロードリミッターが作動し、乗員に一定以上の荷重がかからないように肩ベルトを繰り出して、衝撃を緩和します。

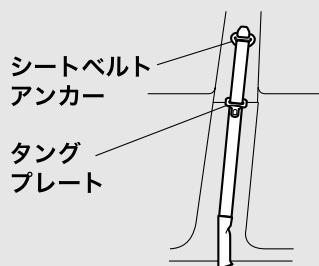


81J40090

▲ 警告

強い衝撃を受けたシートベルトは、シートベルトアンカー部およびタングプレート部の樹脂が強いまさつで溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できません。

必ず日産販売会社で交換してください。



81J40100

チャイルドシート固定機構付 シートベルト（後席のみ）

チャイルドシート固定機構を作動させると、後席シートベルトが引き出し方向に動かないようにロックされ、お子さま用シートが固定できます。

！警告

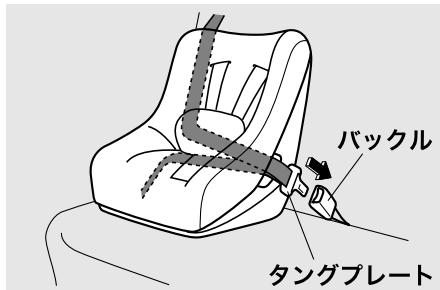
お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。とくに後席のチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合、ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいるときに誤ってこの機構が作動すると、ベルトが引き出せなくなり、窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合はハサミでベルトを切断してください。



81J20130

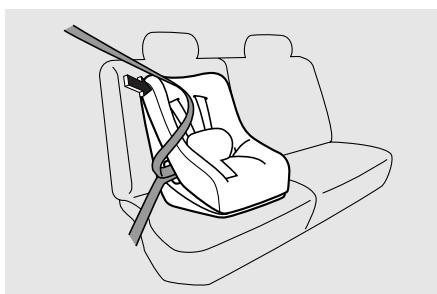
固定のしかた

- 1 お子さま用シートを取り付けます。
- 2 取り付けかたは、お子さま用シートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 2 “カチッ”と音がするまで、タングプレートをバックルにしっかりと差し込みます。



81J40120

- 3 ベルトをゆっくりと最後まで引き出します。最後まで引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。



81J40130

- 4 ベルトを少し巻き取らせます。チャイルドシート固定機構の作動音（“カチッカチッ”という音）がします。このとき、ベルトが引出し方向に動かないことを確認します。動く場合は、再度ベルトを最後まで引き出してください。

！警告

ベルトが引き出し方向に動かないか必ず確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していません。急ブレーキをかけたときや衝突時にお子さま用シートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

4. 安全装備の取扱い／シートベルト

- 5 お子さま用シートに体重をかけて押しつけながら、ベルトのたるみがなくなるまでベルトを巻き取らせます。



81J40140

▲注意

ベルトを着用した状態で身体を大きく動かすと、チャイルドシート固定機構が作動することがあります。その場合はバックルを外し、ベルトをいっぱいまで巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから、再度ベルトを着用してください。

- 6 お子さま用シートを前後左右にゆすって、確実に固定されているか確認します。

！警告

- お子さま用シートは、確実に固定してください。急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さま用シートの構造によっては、チャイルドシート固定機構を使うと正しく固定できないものがあります。お子さま用シートに付属の取扱説明書に従ってください。

解除のしかた

ベルトを手で持ち、バックルのボタンを押します。ベルトをいっぱいまで巻き取ると、チャイルドシート固定機構が自動的に解除されます。

身体に着用するとき

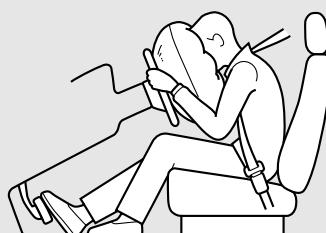
ベルトを着用する前に、チャイルドシート固定機構が解除されているか確認します。

SRSエアバッグ車を運転するときは

SRSエアバッグシステムとは

エンジンスイッチが [ON] の場合に、車の正面方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面があたるような強い衝突のときに、SRSエアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

- SRSエアバッグシステムは、ふくらんだSRSエアバッグがクッションの役割をして、顔面への衝撃を軽減する効果があります。
- SRSとは Supplemental Restraint System (サプリメンタル レストRAINT システム) の略で、補助拘束装置の意味です。



81J40150

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

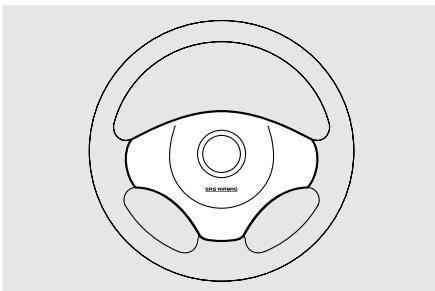
- シートベルトは必ず着用してください。
→ 4-3ページ
(シートベルトの着用のしかた)

！警告

- SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがって SRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。シートベルトを正しく着用しないと、SRS エアバッグの効果が十分発揮できません。

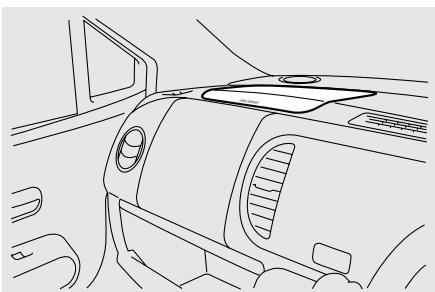


65J106



81J40161

エアバッグ



81J40170

！警告

- SRS エアバッグの収納部分に傷がついていたり、ひび割れがあったりするときは、日産販売会社で交換してください。SRS エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。
- SRS エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えたりしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり誤ってふくらんだりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

助手席SRSエアバッグは、助手席に同乗者が乗っていないなくても、運転席SRSエアバッグと一緒にふくらみます。

表示と収納場所

SRSエアバッグは、“SRS AIRBAG”の表示がある部分に収納されています。

4. 安全装備の取扱い/SRSエアバッグ

着座姿勢

運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を軽くつけてください。また、シートを前方に出し過ぎないようにシートの位置を調節してください。

とくに助手席の同乗者は、後席の同乗者のさまたげにならない位置までシートを後方に移動し、助手席SRSエアバッグからできるだけ離れてすわってください。

→ 3-21ページ (正しい運転姿勢)



81J30380

お子さま用シートの取付け

→ 2-6ページ
(小さなお子さまはお子さま用シートへ)

SRSエアバッグシステムの取扱い

SRSエアバッグシステムを正常に機能させるために

SRSエアバッグがふくらむ範囲に物があると、物が飛ばされたりSRSエアバッグが正常にふくらまないおそれがあります。

!**警告**

- サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRSエアバッグの誤作動の原因になります。
- 車両前部にグリルガードなどを装着するときは、日産販売会社にご相談ください。車両前部を改造すると、SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 無線機などを取り付けるときは、日産販売会社にご相談ください。無線機の電波などがSRSエアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。
- SRSエアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故後は必ず日産販売会社で点検を受けてください。システム本来の機能が損なわれていると、万一のときにSRSエアバッグの効果が十分に発揮できないおそれがあります。

●SRSエアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときにふくらんだり、必要なときに正常に作動しないことがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼしますので、必ず日産販売会社にご相談ください。

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、前席シート下の修理および電気配線の修理
- オーディオ用品などの取付け

- ・ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ・センターピラーまわりの修理

運転席SRSエアバッグについて

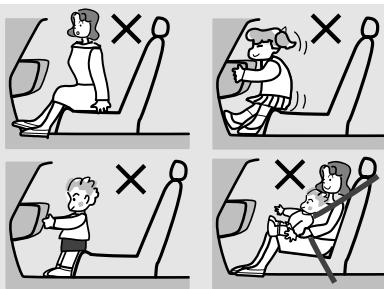
！警告

- ・ハンドルにもたれかかるなどして、SRSエアバッグ収納部に手や顔、胸などを近づけないでください。SRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ・ハンドルを交換する、ハンドルのパッド部にステッカーを貼る、色をぬる、カバーでおおうなどの改造をしないでください。万一のときにSRSエアバッグが正常にふくらまなくなるおそれがあります。



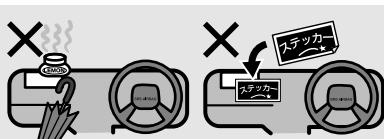
81J40180

- ・インパネのSRSエアバッグ収納部に手足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。
- ・お子さまをSRSエアバッグ収納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いてすわったりしないでください。お子さまは後席に乗せて、シートベルトを着用させてください。



81J40190

- ・シートベルトを正しく着用できないお子さまは、乳児用チャイルドシート、チャイルドセーフティーシート、ジュニアセーフティーシートに乗せてください。
- ・インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。また、アクセサリーや芳香剤などの物を置いたり、傘などを立てかけたりしないでください。



81J40200

助手席SRSエアバッグについて

！警告

- ・助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことを守りください。守らないとSRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ・フロントガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けないでください。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

SRSエアバッグシステムの作動

作動したとき

- SRS エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- ふくらんだ SRS エアバッグは、すぐにしぶむ構造になっています。

！警告

SRS エアバッグが作動したあとは、SRS エアバッグの構成部品に触れないでください。作動直後は構成部品が熱くなり、やけどのおそれがあります。

△注意

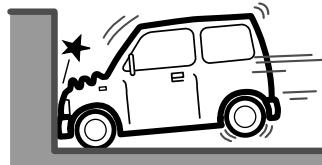
SRS エアバッグが作動すると大きな音がして白い煙のようなガスが出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
ただし、残留物が目や皮膚などに付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚を刺激する場合があります。

アドバイス

SRSエアバッグは再使用できません。必ず、日産販売会社で交換してください。

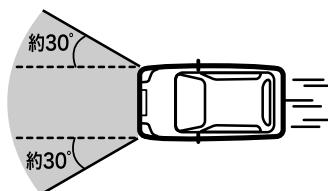
こんなとき作動します

- 衝突しても変形や移動をしない構造物（コンクリートの壁など）に、約 25 km/h以上 の速度で正面衝突したとき



81J40210

- 車両の前方約 30° 以内の方向から、上図と同等の強い衝撃を受けたとき



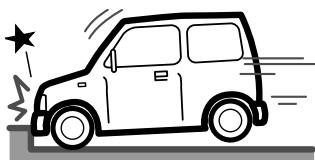
81J40220

こんなとき作動することがあります

車体下部に強い衝撃を受けると、多くの場合作動します。

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

- 縁石や中央分離帯などに衝突したとき



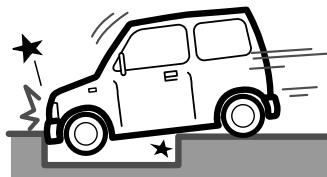
81J40230

- 追突されたとき



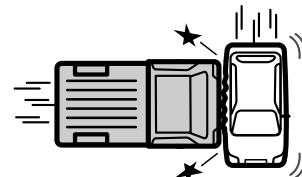
81J40260

- 深い穴や溝などに落ちたとき



81J40240

- 横方向から衝突されたとき



81J40270

- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



81J40250

- 横転や転覆をしたとき



81J40280

**こんなとき、衝撃が強いと
作動する場合もあります**

追突、横方向からの衝突、横転などでは
基本的に作動しませんが、衝撃が強いと
まれに作動する場合があります。

エアバッグ

4. 安全装備の取扱い／SRSエアバッグ

こんなとき作動しないことがあります

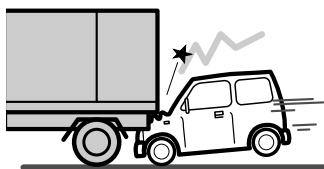
衝突の相手が移動したり、車体が大きく変形したりして衝撃が吸収されたときや、衝突の角度が前方約30°を超えるとき、多くの場合は作動しません。

- 停車している同程度の重さの車に、50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で正面から衝突したとき



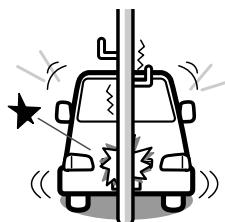
81J40290

- トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき



81J40300

- 電柱や立木などに衝突したとき



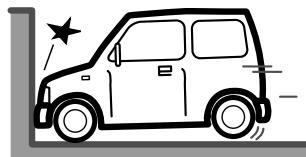
81J40310

- 前方約30°を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



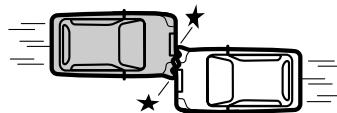
81J40320

- 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/h以下のとき



81J40330

- 衝突の方向が車両の中心からずれたとき（オフセット衝突）



81J40340

警告灯の見かた



81J30700

SRSエアバッグ警告灯は、メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯すると、SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があります。

→ 3-36ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

廃棄と廃車

作動していないSRSエアバッグを廃棄するときは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。



81J40350

▲ 注意

SRSエアバッグを廃棄するときや、装備車を廃車するときは、日産販売会社にご相談ください。正しく取り扱わないと、エアバッグが思いがけないときにふくらんで、けがをすることがあります。

イベントデータレコーダー(EDR)とは

この車は、SRSエアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。このコンピューターは、SRSエアバッグシステムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに、エアバッグが作動するような事故のときに、衝突時点やその前後の車両データを記録するイベントデータレコーダー(EDR)システムを備えています。

EDRに記録するデータ

- SRSエアバッグシステムの故障診断情報
- SRSエアバッグ作動に関する情報

♪ アドバイス

- お車のタイプなどにより、記録されるデータは異なります。
- EDRは、一般的なデータレコーダーとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

EDRデータの開示について

日産および日産が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することができます。

なお、日産および日産が委託した第三者は、次の場合を除き、取得したデータを第三者へ開示・提供しません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令その他法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを、研究機関などに提供する場合

4. 安全装備の取扱い／ABS

ABS車の取扱い

ABS（アンチロックブレーキシステム）とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

▲ 注意

- ABSを過信しないでください。ABSが作動しても、走行安定性や操舵性の確保には限界があります。スピードを控えめにして車間距離を十分にとって、常に安全運転に心がけてください。
- ABSは、タイヤのグリップ限界を超えたとき、ハイドロブレーニング現象（※）が起った場合は効果を発揮できません。
※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象。

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

▲ 注意

- 急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABSがついていない車と同等です。
- 次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなることがあります。スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。
 - ・凹凸道や石だみなどの悪路
 - ・じゅり道、新雪路
 - ・道路の綱ぎ目などの段差を乗り越えるとき

- マンホールなど鉄板の上を通過するとき
- タイヤチェーンの装着時
- 急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ（※）をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。
※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた
- 路面の状況によりますが、約10km/h以下ではABSが作動しません。

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

アドバイス

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

タイヤについて

！警告

ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなってABSが正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

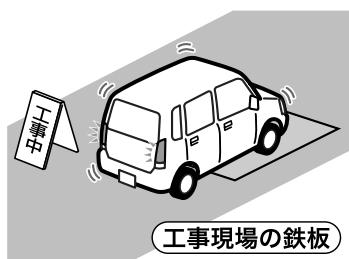
4. 安全装備の取扱い／ABS

ABSは、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

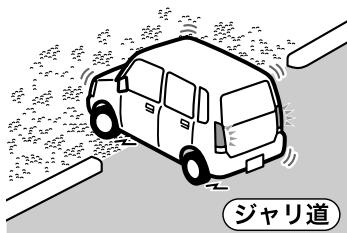
- 滑りやすい路面を走行しているとき



81J40360



81J40370

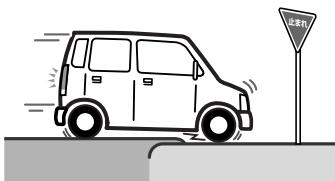


81J40380

- 道路の綱ぎ目などの段差を乗り越えるとき



81J40390

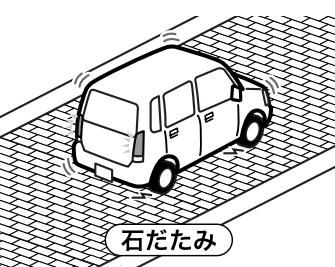


81J40400

- 悪路を走行しているとき



81J40410



81J40420

ABS

4. 安全装備の取扱い／ABS

ABS警告灯



81J30720

ABS警告灯はメーターパネル内にあります。

- ABSの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。
→ **3-35ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)

A
B
S

ブレーキアシスト

ブレーキアシストは、ブレーキ踏力を補助する装置です。急ブレーキをかけたときに、ABSの効果が十分に発揮されるまでの時間を短縮します。

■ アドバイス

- しっかりとブレーキペダルを踏まないと、ブレーキアシストは作動しません。
- ブレーキアシストは、本来のブレーキ性能を超えた制御をする装置ではありません。

5. 快適装備の取扱い

エアコン

オーディオ

室内装備

エアコン、ヒーター

吹出し口	5-2
オゾンセーフエアコン	5-3
オゾンセーフオートエアコン	5-7
エアコンの上手な使いかた	5-12

オーディオ

オーディオの上手な使いかた	5-14
アンテナ	5-14

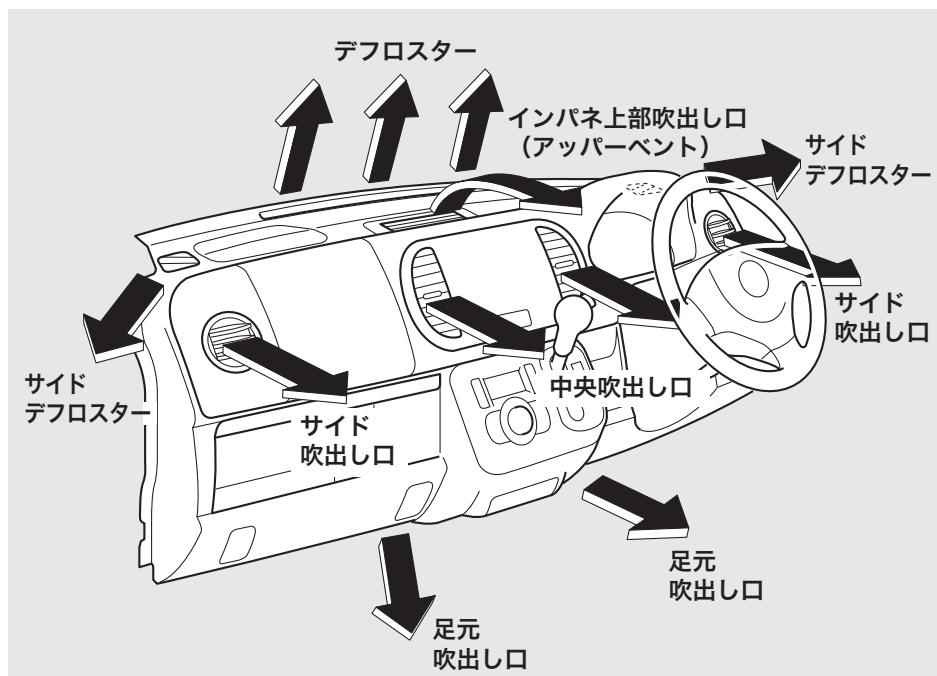
室内装備

室内灯	5-15
サンバイザー	5-16
リッド付インパネボックス	5-16
助手席インストアッパーボード (スライド式)	5-17
助手席大型ポケット	5-18
インストセンターロアボックス	5-18
買い物フック(2個)	5-18
カードケース	5-18
フロントカップホルダー(2個)	5-19
運転席アンダーボックス	5-20
電源ソケット	5-20
チケットホルダー	5-20
小物入れ	5-21
フットレスト	5-21
フロントセンターアームレスト	5-21
“すわるとシート開けるとBOX”(助手席 シートアンダーボックス&トレイ)	5-22
助手席シートバックポケット	5-25
リヤドアポケット	5-26
格納式アシストグリップ	5-26
ラゲッジサイドボックス	5-26

5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

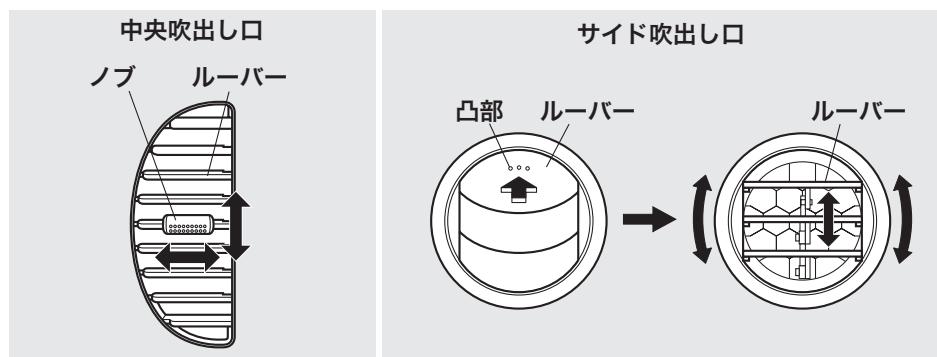
吹出し口

エアコン



81J50011

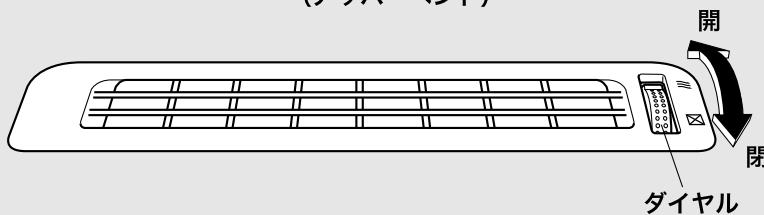
- 中央吹出し口は、ノブを上下左右に動かすと、風の向きが調節できます。
- サイド吹出し口は、凸部を押して開いたルーバーを、上下または回転させると風の向きが調節できます。
- サイド吹出し口およびインパネ上部吹出し口（インパネ上部吹出し口）は、開閉ができます。



81J50021

5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

インパネ上部吹出し口
(アッパーべント)



81J50030

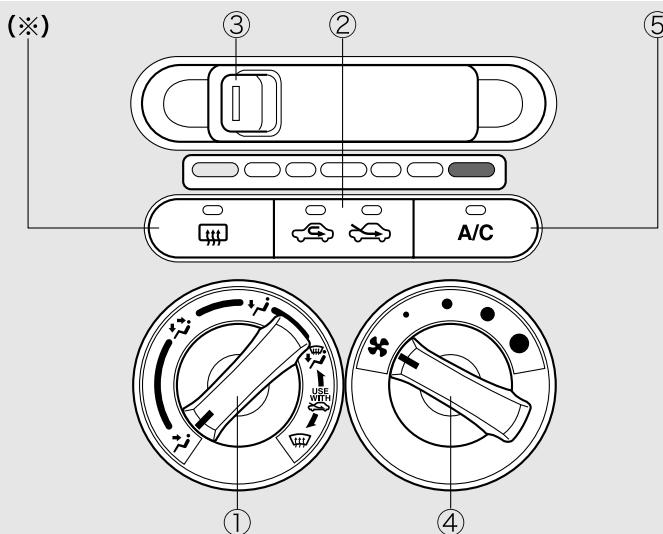
エアコン

アドバイス

- 運転席や助手席のサイドウインドーがくもったときは、サイドウインドーに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すれば、より早くくもりが取れます。
- 冷房しているときに前席の風量を増やしたいときは、インパネ上部吹出し口（アッパーべント）のダイヤルを閉側にしてください。

オゾンセーフエアコン

タイプ別装備



81J50040

①吹出し口切替えダイヤル

④ファン調節ダイヤル

②内外気切替えスイッチ

⑤エアコンスイッチ

③温度調節レバー

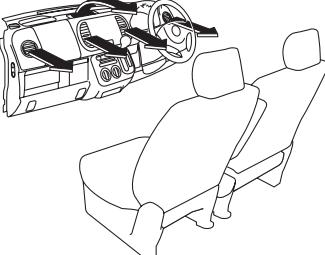
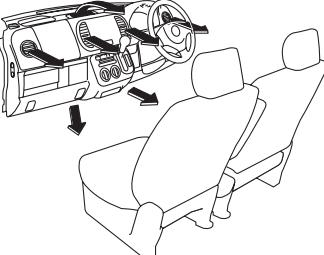
※リヤデフオッガースイッチについては、3-46ページをお読みください。

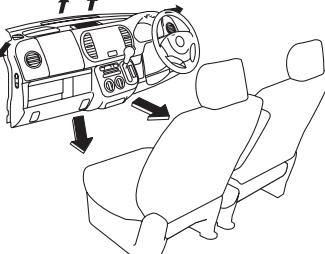
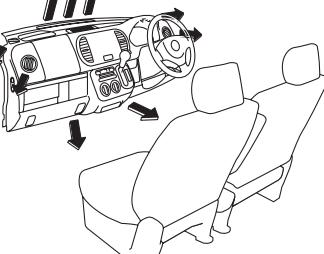
5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

各ダイヤル、スイッチ、レバーの使いかた

① 吹出し口切替えダイヤル

使用目的にあわせて、吹出し口切替えダイヤルを左右にまわして切り替えます。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
ダイヤル		
吹出し口	 81J50071	 81J50081

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
ダイヤル		
吹出し口	 81J50111	 81J50121

5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

エアコン

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき	アドバイス
ダイヤル		USE WITH
吹出し口		<p>このマークは、窓ガラスのくもりを早く取るためのアドバイスです。 吹出し口切替えダイヤルを または にして内外気切替えスイッチを外気導入にすると、内気循環にくらべて窓ガラスのくもりが早く取れます。</p>

アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

② 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わり、スイッチ内の表示灯が点灯します。

アドバイス

長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。

表示	使用目的
点灯	外気を導入しています。 ● 通常はこの位置でお使いください。
点灯	外気をしゃ断しています。 ● トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

③ 温度調節レバー

温度調節レバーを右に操作すると、温度が高くなります。左に操作すると、温度が低くなります。

5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

頭寒足熱暖房

吹出し口切替えダイヤルの位置が  のときに、温度調節レバーを中間の位置に操作すると、頭寒足熱暖房になります。

- 足元に温かい風が吹き出し、上半身には比較的低い温度の風を吹き出します。
- エアコンを作動させると、さらに温度差のある効果的な頭寒足熱暖房ができます。

④ ファン調節（風量）ダイヤル

ファン調節ダイヤルをまわすと、風量が調節できます。

ダイヤル位置		・ ● ● ●
風量	停止	弱←→強

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを押すと、除湿された温風が吹き出して、ここちよい暖房になります。

■ アドバイス

- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0°C近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温度が0°C近くまで下がっているとき外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチを押すと、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これは湿った空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

■ アドバイス

長時間の停車や渋滞では、バッテリー保護のため風量を弱くしてください。

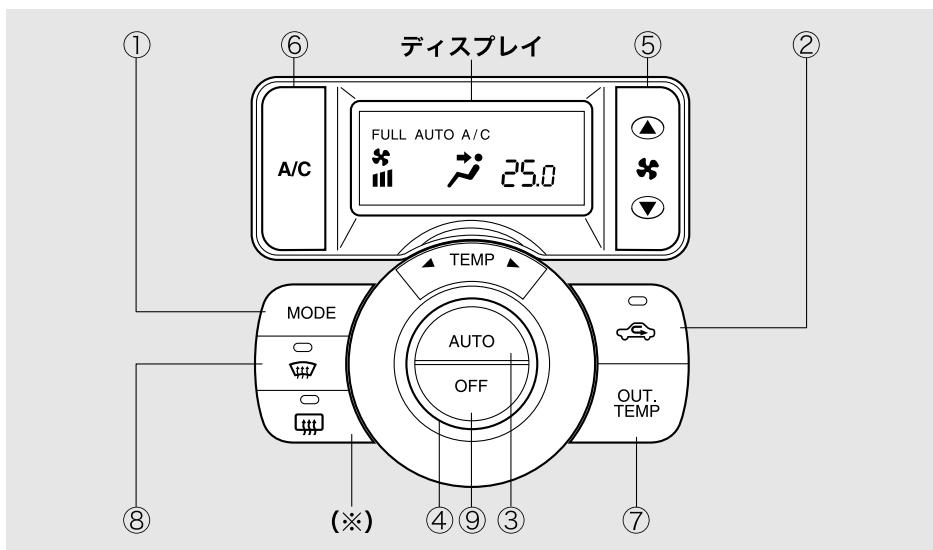
⑤ エアコンスイッチ

エンジンをかけ、ファン調節ダイヤルを停止の位置から右にまわし、エアコンスイッチを押します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。
止めるときは、スイッチをもう一度押します。

オゾンセーフオートエアコン

タイプ別装備

エアコン



81J50190

- ①モード切替えスイッチ
- ②内外気切替えスイッチ
- ③オートスイッチ
- ④温度調節ダイヤル
- ⑤ファン調節スイッチ

※リヤデフオッガースイッチについては、3-46ページをお読みください。

- ⑥エアコンスイッチ
- ⑦外気温表示スイッチ
- ⑧デフロスター スイッチ
- ⑨OFFスイッチ

オートエアコンの使いかた**■ 通常の使いかた（自動で使うとき）**

オートスイッチ③を押して温度調節ダイヤル④で希望温度を設定すると、各機能（5-10 ページ参照）が自動制御されます。

1 エンジンをかけます。

2 オートスイッチ③を押します。ディスプレイに **FULL AUTO A/C**、風量、吹出し口、設定温度が表示されます。

アドバイス

冷房や除湿をしないときは、エアコンスイッチ⑥を押してエアコンを止めてください。

5. 快適装備の取り扱い／エアコン、ヒーター

- 3** 温度調節ダイヤル④をまわして希望温度を設定します。設定温度は18～32°Cの間で、0.5°C間隔で設定できます。

■ アドバイス

25°Cを基準に希望の温度を設定してください。

- 4** 作動を停止するときは、OFFスイッチ⑨を押します。

■ アドバイス

- エンジンを停止しても設定温度を記憶しています。
- AUTO作動中に、ファン調節スイッチ⑤、モード切替えスイッチ①のいずれかを操作すると、押したスイッチの機能が優先されて**FULL AUTO**表示が消灯します。ただし、押したスイッチ以外は自動制御となります。
- AUTO作動中に内外気切替えスイッチ②を押すと、押したスイッチの機能が優先されて**FULL**表示が消灯します。ただし、押したスイッチ以外は自動制御となります。
- AUTO作動中にデフロスタースイッチ⑧を押すと、**FULL AUTO**表示が消えて風量が増加し、外気導入となってエアコンが作動します。ただし外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- 外気温が低くエンジンが冷えているときや、外気温が高いときは、冷風や熱風が吹き出すのを防ぐため、しばらくの間、風が少量しか吹き出さないことがあります。

- エアコンを止めると、室内温度を外気温度以下にはできません。
- 冷房能力や暖房能力を超える場合は、室内温度が設定した希望温度にならないことがあります。
- エンジンスイッチが**ON** のときに、ディスプレイの**AUTO**表示が点滅したときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

■ 手動で使うとき

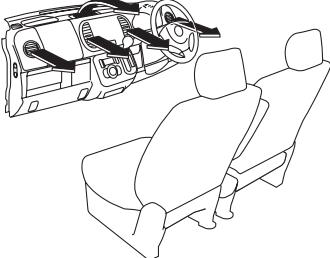
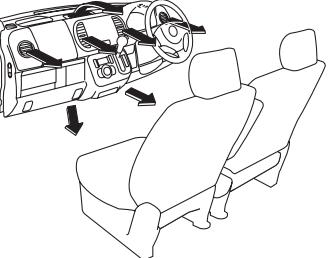
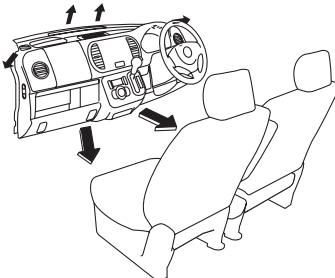
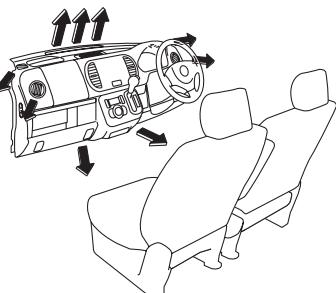
好みにあわせてダイヤルやスイッチを操作してください。

- FULL AUTOまたはAUTO作動中でも、操作したダイヤルやスイッチの機能が優先され、操作したダイヤルやスイッチ以外は自動制御されます。
- すべての作動を FULL AUTO にもどすときは、オートスイッチ③を押します。
- 止めるときは、OFF スイッチ⑨を押します。

各スイッチ、ダイヤルの使いかた

① モード（吹出し口）切替えスイッチ

モード切替えスイッチを押すごとに吹出し口が切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表示		
吹出し口	 81J50201	 81J50211
目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示		
吹出し口	 81J50221	 81J50231

 アドバイス

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

② 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内気循環と外気導入が交互に切り替わります。

表示	使用目的
消灯 	外気を導入している状態です。
点灯 	外気をしゃ断している状態です。トンネル内や渋滞時など外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときにお使いください。

■ アドバイス

- ・長時間、内気循環にするとガラスがくもりやすくなります。
- ・外気と内気の温度差により、外気導入、内気循環のどちらかに固定される場合があります。必要に応じて、内外気切替えスイッチを押して切り替えてください。
- ・スイッチ内の表示灯はファンやエアコンの作動の有無に関係なく、内気循環のときに点灯します。

③ オートスイッチ

オートスイッチを押すと、ディスプレイの**FULL AUTO A/C** 表示が点灯し、次の機能が自動制御されます。

- ・吹出し風の温度調節
- ・吹出し風量の調節
- ・吹出し口の切替え
- ・内気循環／外気導入の切替え

④ 温度調節ダイヤル

温度調節ダイヤルをまわして室内温度を18～32°Cの間で設定します。設定温度はディスプレイに表示されます。

■ アドバイス

設定温度を18°Cにすると最大冷房、32°Cにすると最大暖房となります。このため設定温度を18°Cまたは32°Cにしていると、急に風量が最大となったり、急に吹出し温度が変化する場合がありますが、異常ではありません。

⑤ ファン調節（風量）スイッチ

ファン調節スイッチを押すと、風量が調節できます。

- ・風量を大きくするときは▲（凸部）、風量を小さくするときは▼（凹部）を押します。ディスプレイの表示も切り替わります。
- ・連続調節するときは、長押しします。

⑥ エアコンスイッチ

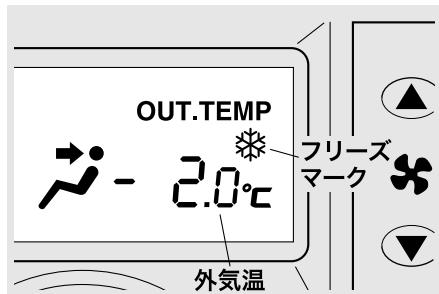
エアコンスイッチを押すごとに、エアコンの運転と停止が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを押すと、除湿された温風が吹き出して、ここちよい暖房になります。

アドバイス

- 装置保護のため、エアコンの冷却器を通る空気の温度が0°C近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温度が0°C近くまで下がっているとき外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- エアコンスイッチを押すと、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これは湿った空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。



81J50250

エアコン

⑦ 外気温表示スイッチ

外気温表示スイッチを押すと、ディスプレイに約5秒間、外気温度を表示します。表示中にもう一度押すと、表示が消えます。

フリーズマーク

外気温が3°C以下になると、フリーズマーク（雪の結晶マーク）が温度表示の右上に点灯します。

- フリーズマークは、外気温を表示していないときにも点灯します。
- 外気温が5°C以上になると消灯します。
- 点灯中は、路面が凍結しているおそれがあります。とくに慎重に運転してください。

→ 6-7ページ

(雪道や凍結路はゆっくり走行)

アドバイス

- 停車中や低速走行中に外気温が上昇すると、センサーがエンジンの熱の影響を受けていると判断して値を更新せず、正確な外気温を表示できない場合があります。
- エンジンスイッチを[ON]にした直後などは、外気温が表示できず、ディスプレイに“---”と表示する場合があります。

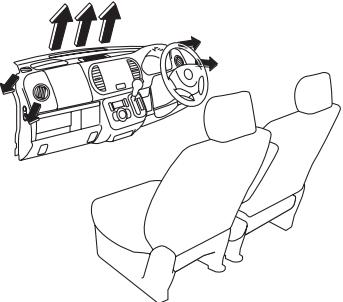
5. 快適装備の取扱い／エアコン、ヒーター

⑧ デフロスタースイッチ

デフロスタースイッチを押すと、自動的にエアコンが作動し、吹出し口が切り替わります。同時にスイッチ内の表示灯が点灯し、ディスプレイの表示も切り替わります。

もう一度押すと、デフロスタースイッチを押す前の制御にもどります。（オート制御の場合、吹出し口や内外気、風量の状態が変わることがあります）

- 内気循環になっているときは、外気導入に切り替わります。
- 風量が自動的に増加します。ファン調節スイッチを操作して、好みの風量にも調節できます。
- エアコンが必要ないときは、エアコンスイッチを押して停止してください。

目的	窓ガラスのくもりを取りたいとき
表示	
吹出し口	 81J50261

アドバイス

- 内気循環に切り替えないでください。くもりが取れにくくなります。
- 設定温度を低くしないでください。窓ガラスの外側に、露がつくことがあります。
- 早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くしてください。

- 外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- スイッチ内の表示灯は吹出し口がデフロスター位置にあると、ファンやエアコンを停止させた状態でも点灯します。
- 運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

⑨ OFFスイッチ

OFFスイッチを押すと、ファンが停止してエアコンも止まります。

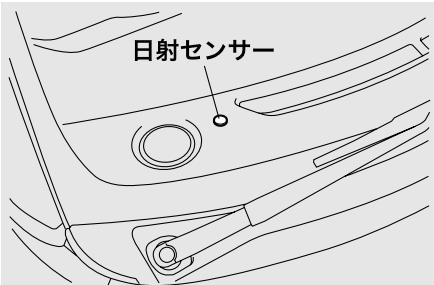
エアコンの上手な使いかた

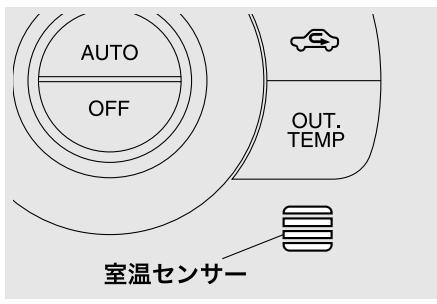
温度感知装置

オゾンセーフオートエアコン

オゾンセーフオートエアコンは、日射センサー、室温センサー、外気温センサーなどによって周囲の状況を感知し、自動制御しています。

- 室内にあるセンサー部を汚したり、ふさいだりしないでください。室内温度が設定した温度とずれることがあります。





81J50280

アドバイス

- 日射センサーの上や周囲に物を置いたり、ガラスクリーナーを吹きかけたままにしないでください。
- 室温センサーにシールなどを貼って、ふさがないでください。

エアコンガスを充てんするときは

エアコンガスは、必ず冷媒HFC134a (R134a)を使用してください。

アドバイス

- エアコンガスを充てんするときは、日産販売会社にご相談ください。
- 地球環境を守るため、エアコンガスを大気中に放出しないでください。エアコンの修理や廃車時の処理は、日産販売会社にご相談ください。
- 冷房性能が低下してきたと感じた場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

長期間使用しないときは

月に1回程度はエアコンを作動させ、エアコン装置の各部にオイルを循環させてください。油ぎれを防ぐことにより寿命をのばします。

炎天下に駐車したときは

長時間炎天下に駐車すると、室内が高温になります。ドアや窓を開けて室内を換気しながら、冷房をしてください。

エアフィルターを交換するときは

エアコンを快適に使用するために、エアフィルターを取り付けています。エアフィルターは定期的に清掃、交換してください。

地域	清掃時期 の目安	交換時期 の目安
寒冷地、粉じんの多い地域	5,000 km ごと、または 6か月ごと	車検ごと
上記以外の地域	10,000 km ごと、または 12か月ごと	車検ごと

アドバイス

エアフィルターの清掃と交換は、日産販売会社にご相談ください。

5. 快適装備の取扱い／オーディオ

オーディオの上手な使いかた

オーディオはタイプ別装備

安全運転のさまたげにならない音量でお聞きください

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
- オーディオが不法電波の影響を受けると、正常に作動しないことがあります。
- エンジンを停止したままで長時間オーディオを使うと、バッテリーあがりの原因となります。

▲ 注意

走行中はオーディオを操作しないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

アドバイス

オーディオの操作については、オーディオに付属の取扱説明書をお読みください。

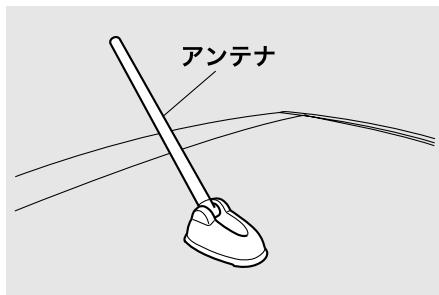
アンテナ

アドバイス

アンテナで受信できるラジオの電波が刻々と変わるため、ビルの谷間などでは良好な受信状態を保てないことがあります。

アンテナ

アンテナは車両後部にあります。

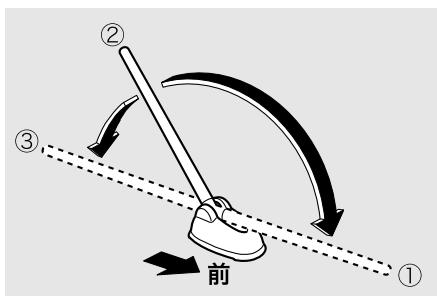


81J50290

■ アンテナの調節

アンテナの位置は①、②、③の3段階で調節できます。

- 調節は手でアンテナを動かします。
- 通常は、②の位置に固定します。



81J50300

アドバイス

- 車庫の天井などにアンテナがあたるときは、手でアンテナを①または③の位置に倒してください。
- ラジオを聞くときは、アンテナを②の位置に固定してください。アンテナが①または③の位置に倒れていると、ラジオの受信が正常にできないことがあります。

■ アンテナの脱着

- 取り外すときはアンテナを左にまわします。

5. 快適装備の取り扱い／オーディオ

- 再び取り付けるときは手でアンテナをベース部にねじ込み、しっかりと取り付けてください。



66K50331

アドバイス

次のようなときには、アンテナを取り外してください。アンテナを損傷するおそれがあります。

- ・自動洗車機にかけるとき
- ・ボディカバーをかけるとき
- ・降雪時に長時間駐車するとき

室内灯

ON

ドアの開閉に関係なく点灯します。

DOOR

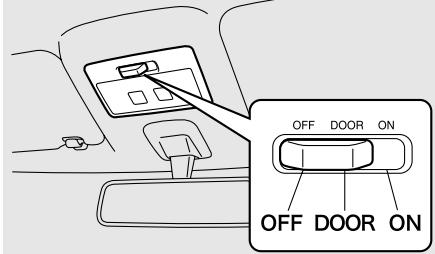
いずれかのドアを開けると点灯します。すべてのドアを閉めると約15秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。また、点灯中であっても次の操作をすると消灯します。

- ・エンジンスイッチにキーを差し込む
- ・インテリジェントキー装備車のエンジンスタートノブを押す
- ・キーまたは運転席ドアのロックレバーによる施錠
- ・リモコン、またはインテリジェントキー装備車のリクエストスイッチによる施錠

OFF

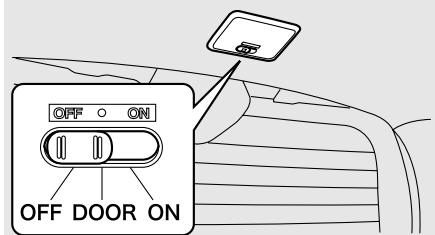
ドアの開閉に関係なく消灯します。

ルームランプ



81J50320

ラゲッジルームランプ



81J50330

アドバイス

・エンジン停止中に、長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

・バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、室内灯が自動的に消灯します。（バッテリーセーバー機能）

- ・エンジンスイッチが [LOCK] の位置で、キーを差していない
- ・室内灯スイッチが DOOR 位置で、点灯したまま15分が経過

・室内灯スイッチが DOOR 位置のときに、リモコンまたはリクエストスイッチを作動させると、室内灯が点灯または点滅します。

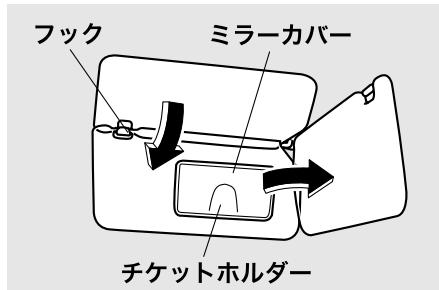
→ 3-8ページ

(アンサーバック機能)

5. 快適装備の取扱い／室内装備

サンバイザー

日差しがまぶしいときに使用します。横からの日差しがまぶしいときは、フックから外して横にまわします。



81J50340

▲注意

- 走行中はバニティミラーを使用しないでください。前方不注意の原因となります。
- バニティミラーを使用するときは、SRS エアバッグの収納場所に近づいたり、寄りかかったりしないでください。SRS エアバッグが作動したとき、強い衝撃を受けるおそれがあります。

■ 照明付きバニティミラー

タイプ別装備

照明は、エンジンスイッチの位置に関係なく、ミラーカバーを開けると点灯します。

照明

バニティミラー

81J50680

チケットホルダー

運転席および助手席サンバイザーの裏側（ミラーカバーの外側）にあります。有料道路の通行券などがはさめます。

▲注意

炎天下で駐車するときは、チケットホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすことがあります。

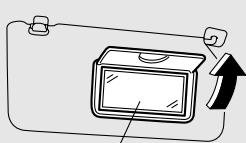
→ 2-16ページ
(ライターやメガネなどを放置しない)

♪アドバイス

エンジン停止中は、バニティミラーの照明を長時間点灯させないでください。バッテリーあがりの原因となります。

バニティミラー

ミラーカバーを開けた場所にあります。



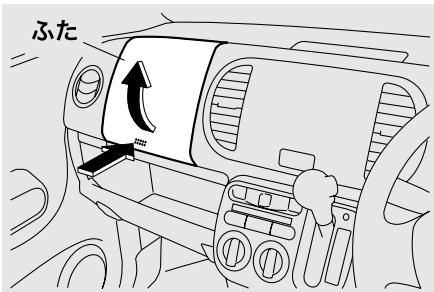
81J50350

リッド付インパネボックス

手回り品や小物などの収納をご使用ください。

助手席

- 開けるときは、ふたの下側中央を押してロックを解除し、ふたを持ち上げます。



81J50360

- 閉めるときは、ふたの下側中央を押します。

▲ 注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。

助手席インストアッパー ボード（スライド式）

駐車時に、小物などを一時的に置くときにご使用ください。

- 使用するときは、ボードを引き出します。



81J50370

▲ 注意

ボードを引き出したまま走行しないでください。ボードに物をのせていると、ブレーキや加速、旋回のときなどに物がころがり落ちるおそれがあります。走行前に、ボードを押し込んで格納してください。

アドバイス

ボードにのせる物は、3 kg以下としてください。3 kgを超える荷重がかかると、ボードが破損するおそれがあります。

車検証ホルダー

ボード下部にあります。

- 車検証などの書類を出し入れするときは、バンドをフックから外します。

助手席インストアッパーボード



81J50380

アドバイス

書類の落下を防ぐため、収納後はバンドをフックに固定してください。

5. 快適装備の取扱い／室内装備

助手席大型ポケット

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



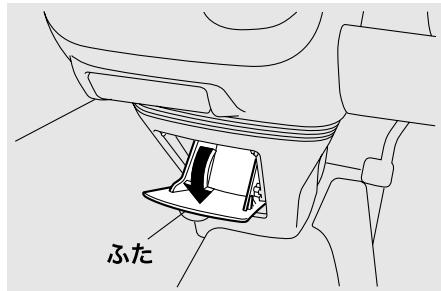
81J50390

▲注意

ポケット内に、物を入れすぎないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。

インストセンターロアボックス

手前に引いてふたを開けます。



81J50400

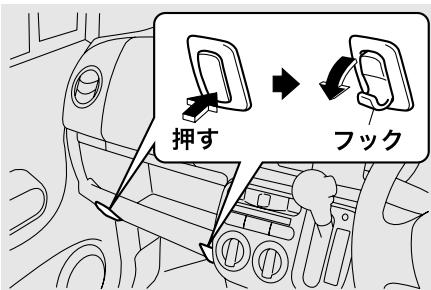
▲注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。

買い物フック (2個)

買い物袋などを引っかけるときにご使用ください。

- 使用するときは、フックの下部を押しながら回転させます。



81J50410

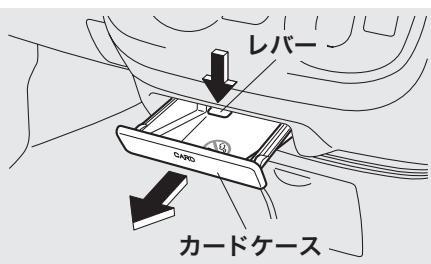
- もとにもどすときは、反転させてフックを格納します。

♪アドバイス

- フックにかける物は、2 kg以下としてください。2 kgを超える荷重がかかると、フックが破損するおそれがあります。
- 使わないときは、フックを格納してください。

カードケース

- カードなどを出し入れするときは、ケースを手前に引き出します。
- 取り外すときは、レバーを下に押さえながら引き抜きます。



81J50421

▲注意

- 灰皿としては絶対に使用しないでください。灰皿としての耐熱性はありません。



81J50430

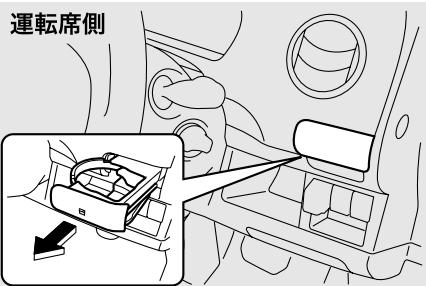
- ケースを開けたまま走行しないでください。カードなどが飛び出すおそれがあります。カードなどを出し入れしたあとは、押し込んで格納してください。
- 炎天下で駐車するときは、カードケースなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。
→ 2-16 ページ (ライターやメガネなどを放置しない)

フロントカップホルダー(2個)

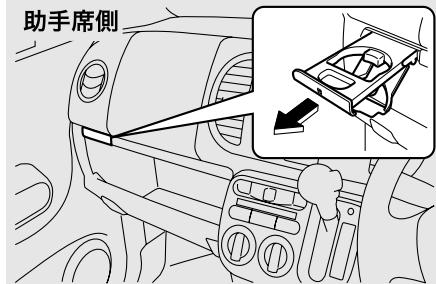
缶ジュースやカップが置けます。

前席

- 使用するときは、手前に引き出します。

運転席側

81J50440

助手席側

81J50450

- 使用後は、押し込んで格納します。

▲警告

- 飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物がオーディオ（タイプ別装備）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。
- 缶ジュースやカップ以外のものを置かないでください。走行中に落ちてけがをしたり、運転の妨げになったりするおそれがあります。

▲注意

格納するときは、カップホルダーの内側に指を入れないでください。指をはさんで、けがのおそれがあります。

アドバイス

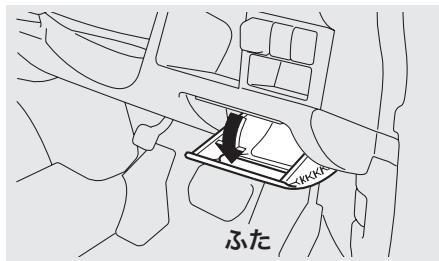
使わないときは、じゃまにならないように格納してください。

5. 快適装備の取扱い／室内装備

運転席アンダーボックス

運転席

手前に引いてふたを開けます。



81J50461

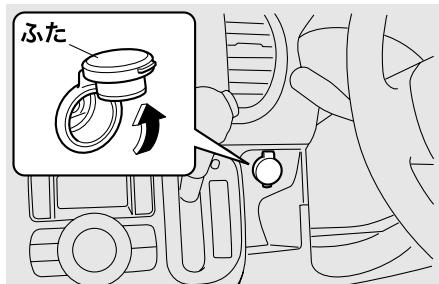
▲注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。物を出し入れしたあとは、ふたを閉めてください。

電源ソケット

エンジンスイッチが [ACC] または [ON] のときに、電気製品の電源（規定容量 12 V 120 W以下）として使用できます。

- 使用するときは、ふたを開けます。



81J50470

アドバイス

- 規定容量を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れることがあります。

• 使わないときは、ふたを閉めてください。ソケット内に異物が入ると、故障やショートの原因となります。

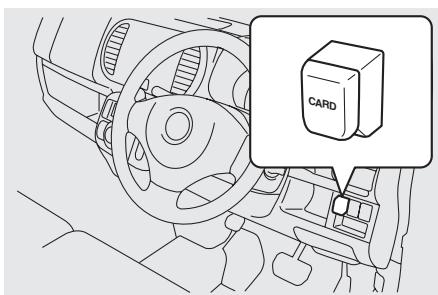
• エンジン停止中に長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。また、エンジンがかかっていてもアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。

• 事故防止のため、日産純正用品以外の電気製品を使用しないでください。

チケットホルダー

タイプ別装備

カードやチケットを下から差し込んで使用します。



81J50481

▲警告

走行中の振動などでカードなどが落ちることがありますが、走行中は拾わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。安全な場所に停車してから拾ってください。

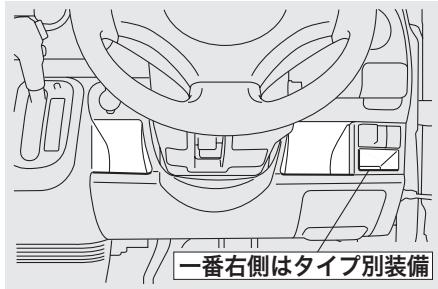
▲注意

炎天下で駐車するときは、カードホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

→ 2-16ページ
(ライターやメガネなどを放置しない)

小物入れ

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



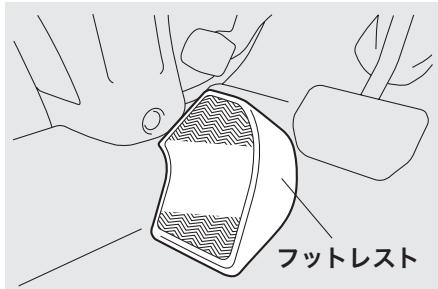
81J50491

！警告

走行中にころがり落ちるような物を入れないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

フットレスト

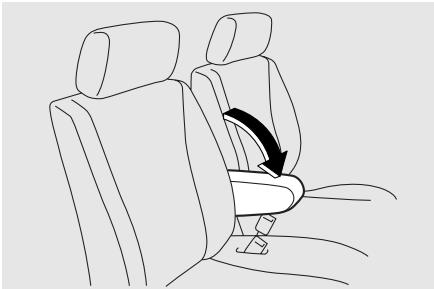
左足のささえとして使用します。



81J50501

フロントセンター アームレスト

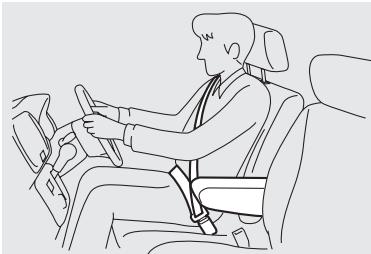
手前に倒すと、ひじ掛けになります。



81J50510

！警告

シートベルトは、アームレストの下をとおしてください。アームレストの上にベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。



81J50521

アドバイス

- 使わないときは、じゃまにならないように持ち上げて収納してください。
- アームレストに腰をかけたり、荷物をのせたりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

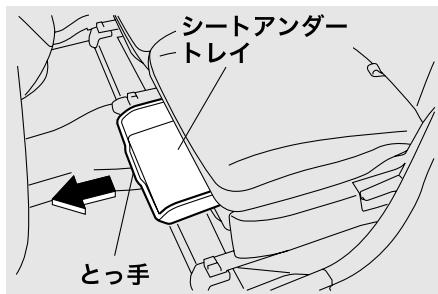
5. 快適装備の取扱い／室内装備

“すわるとシート開けるとBOX”(助手席シートアンダーボックス&トレイ)

シートアンダートレイ

助手席クッションの下に小物などを収納するトレイがあります。

- とっ手を手前に引くと、シートアンダートレイが引き出せます。



81J50530

▲ 注意

トレイを引き出した状態で、助手席のクッションを持ち上げないでください。トレイが破損するおそれがあります。シートアンダーボックス内の荷物があたるなどして、トレイが格納できない場合は、トレイを外し、そのあとクッションを持ち上げ、中の荷物を整理してください。

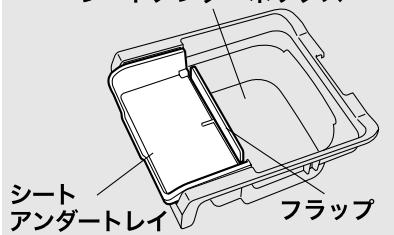


81J50540

アドバイス

- 物を収納する前に、トレイのフラップを起こしてください。収納した物がシートアンダーボックスにころがり落ちるおそれがあります。

シートアンダーボックス



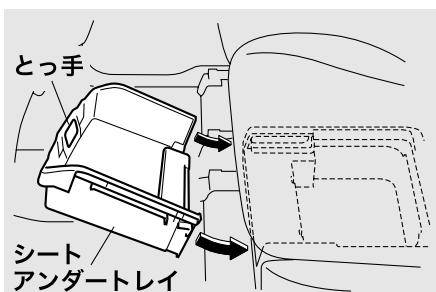
81J50550

- 物を出し入れしたあとは押し込んで格納し、しっかり固定されているか確認してください。

■ シートアンダートレイの取り付けかた

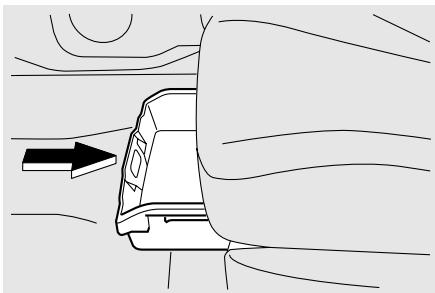
シートアンダートレイを外したときは、下記の手順で取り付けてください。

- 1 トレイのとっ手部を高くして持ち、斜めの状態で入り口へ押し込みます。



81J50560

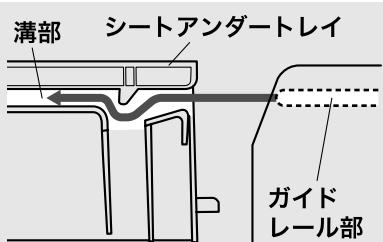
- 2** トレイを水平にして、ロックするまで押し込みます。



81J50570

■ アドバイス

- トレイを取り付けたあとは、一度トレイを引き出し、しっかり取り付けられているか確認してください。
- トレイが取り付けにくいときは、シートアンダーボックスのガイドレール部にトレイ左右の溝部がはまり込むのを見ながら、トレイを押し込んでください。

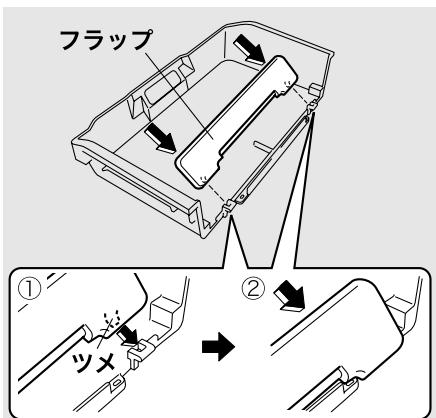


81J50580

■ シートアンダートレイのフラップの取り付けかた

フラップが外れたときは、右記の手順で取り付けてください。

- 1** フラップを斜めにした状態で下図のように置き、フラップの両端部を押し込みます。



81J50590

■ アドバイス

フラップのツメがしっかりとはまっているか確認してから、斜めの状態で押し込みます。

- 2** フラップを垂直側に立てて、ガタつきや外れがないか確認します。

■ アドバイス

フラップが少し斜めになった状態でしか起こせないのは、フラップを立てたまま買い物かごなどを置いてしまったときに、フラップが倒れやすくなるためです。

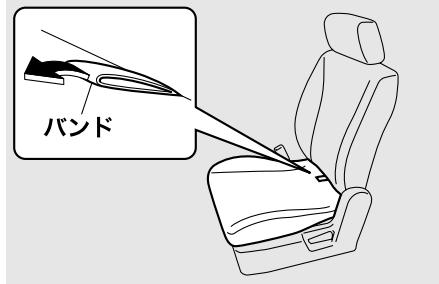
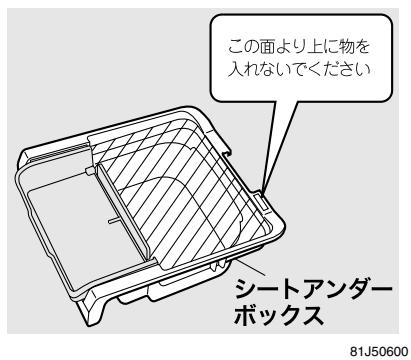
5. 快適装備の取扱い／室内装備

シートアンダーボックス

助手席クッションの下に小物入れボックスがあります。また、シートアンダートレイのフラップを倒すと、買い物かごなどが置けるスペースができます。

■ アドバイス

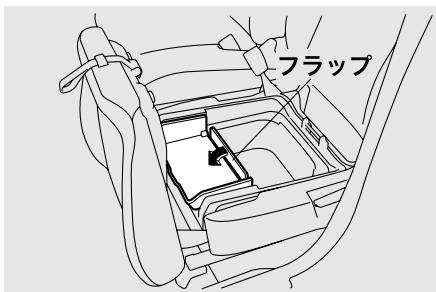
下図の斜線部分よりも上に物を入れると、クッションやボックスが破損するおそれがあります。



■ アドバイス

バンドを引き上げにくいときは、背もたれを後ろ方向に倒してください。

- 3 クッションを車の前方向に起こし、シートアンダートレイのフラップを車の前方向に倒します。



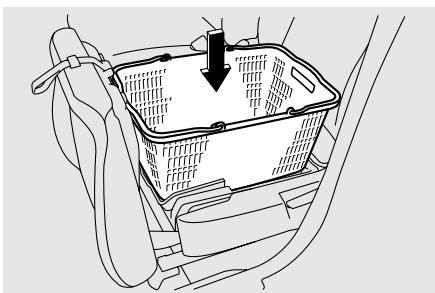
■ 買い物かごなどの置きかた

- 1 シートアンダートレイが収納されていることを確認します。また、助手席シートを後方に動かします。
- 2 クッション後部のバンドを少し引き上げて、固定を外します。

■ アドバイス

- ・クッションがインパネにあたると、スイッチやダイヤル操作のさまたげになります。助手席シートを後ろに動かしてください。
- ・起こしたクッションに、力を加えないでください。クッション取付部が損傷するおそれがあります。

4 買い物かごなどを置きます。



81J50630

●アドバイス

買い物かごなどを置いていると、走行中の揺れなどでシートアンダートレイのロックが外れる場合があります。トレイを押し込んでしっかりと固定してください。

▲注意

買い物かごなどに、物を入れすぎないでください。ブレーキや加速、旋回のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。

●アドバイス

- 助手席シートが前側にあると、買い物かごなどがしっかり置けない場合があります。助手席シートを後ろに動かしてください。
- 形状により、しっかり置けない買い物かごなどがあります。その場合は、使用しないでください。
- 買い物かごなどをしっかり置いても、走行条件によっては、買い物かごなどがずれてしまう場合があります。

もとにもどすときは
置くときと逆の手順で行ないます。

助手席シートバックポケット

雑誌や手荷物などの収納にご使用ください。



81J50640

助手席シートバックポケット

5. 快適装備の取扱い／室内装備

リヤドアポケット

手回り品や小物などの収納にご使用ください。



81J50650

室内装備

ペットボトルホルダー

ポケットの中にあります。

！警告

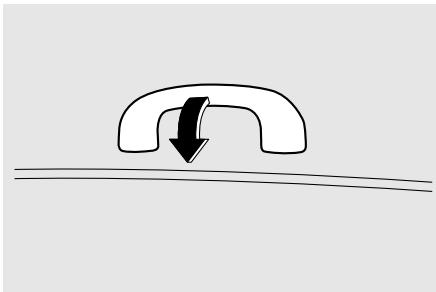
飲み物には、ふたを閉めるなどしてこぼさないように注意してください。熱い飲み物がこぼれると、やけどのおそれがあります。また、飲み物がオーディオ（タイプ別装備）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

アドバイス

ペットボトルの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

格納式アシストグリップ

アシストグリップを手前に倒して使用します。



81J50660

ラゲッジサイドボックス

手回り品などの収納にご使用ください。



81J50670

6. お車との上手なつきあいかた

お手入れ

寒冷時

お手入れ

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-3
タイヤの交換	6-4

寒冷時の取扱い

冬期に入る前の準備	6-5
出発の前に	6-6
雪道を走行するとき	6-7
駐車するとき	6-7
タイヤチェーンを装着するとき	6-9

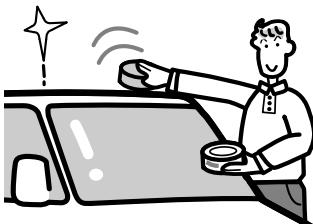
6. お車との上手なつきあいかた／お手入れ

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

お車をいつまでも美しく保つためには、日頃のお手入れが大切です。

- 駐車、車の保管は風通しのよい車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 次のようなときはサビや塗装の変色などの原因となります。すみやかに洗車をしてください。
 - ・海岸地帯や凍結防止剤を散布した道を走行したとき。とくに車体の下まわり、足まわりを洗車してください。
 - ・鳥のふん、虫の死がい、樹液、鉄粉、ばい煙、コールタールなどが付着したり、酸性雨に濡れたとき。
 - ・ほこりや泥でひどく汚れたとき。
- ワックス掛けは月に1回程度、または水のはじきが悪くなったら行なってください。ワックス掛けのしかたは、ワックス（別売り）の容器に書かれている取扱説明に従ってください。



81J60010

- 飛び石の傷や、引っかき傷などはサビの原因となります。見つけたら早めに補修してください。

アドバイス

塗装面の傷を補修するときは、日産販売会社にご相談ください。不適切な塗料を使用すると、塗装がはがれる原因となります。

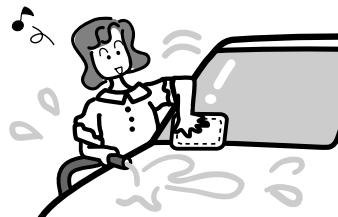
洗車のときのご注意

▲注意

- エンジンルームに水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品が故障する原因となります。
- 車体の下まわりや足まわりを洗うときは、けがをしないように気をつけてください。
- 洗車したあとはブレーキのききが悪くなることがあります。
→ 2-13ページ
(水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキのききを確認)

手洗い洗車をするときは

- 1 十分に水をかけながら、スポンジやセーム皮のような柔らかいものを使って汚れを洗い落とします。
- 2 汚れがひどいところは中性洗剤を使って洗い、さらに真水で洗って中性洗剤を落とします。
- 3 柔らかい布で水をよく拭き取り、塗装面に水滴のあとが残らないようにします。



81J60020

自動洗車機を使うときは

▲注意

- ドアミラーを格納し、アンテナを取り外してください。洗車機にひっかかり、ドアミラーやアンテナを損傷するおそれがあります。
- ルーフスポイラー装備車は、自動洗車機での洗車を避けてください。洗車機にひっかかり、spoilerを損傷するおそれがあります。

アドバイス

自動洗車機によっては、ブラシで傷がついて塗装面の光沢が失われたり、塗装の劣化が早まったりすることがあります。

コイン洗車機を使うときは

洗車ノズルを車体から40 cm以上離してください。

アドバイス

ドアガラスやドアまわりなどの開閉部分に洗車ノズルを向けると、車内に水が入ることがあります。

フロントウインドーガラスの手入れ

油膜などが付着してワイパーのふき残しが出たときは、ガラスクリーナー（別売り）で汚れを取ってください。

内装のお手入れ

- 砂・ほこりなどは掃除機などで吸い取るか、水またはぬるま湯を固くしぼった柔らかい布でふき取ってください。そのまま放置すると、傷つきの原因となります。

- 液体芳香剤やジュースなど液体類が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーや柔らかい布でふき取ってください。こぼしたままにしておくと、しみ、変色、ひび割れの原因となります。

！警告

車内に水などをかけないでください。オーディオ（タイプ別装備）やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRSエアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

アドバイス

- 次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。しみ、変色、変形、強度低下などの原因となります。

- ベンジン、ガソリン、シンナー、ステッカーはがし剤などの有機溶剤

- 酸性、アルカリ性の洗剤

- 漂白剤や染料

- 液体芳香剤はこぼさないように容器を固定するか、固形タイプのものをご使用ください。

- 色物の革製品・毛皮・ビニールなどを長時間、放置しないでください。変色や変質の原因となります。

布地、ビニールレザー、樹脂部品などの手入れ

1 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。

2 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をふき取ります。

3 残った水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

6. お車との上手なつきあいかた／お手入れ

バックドアガラスの室内側の手入れ

熱線や端子を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線に沿って拭いてください。

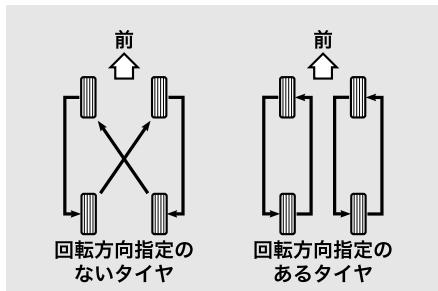
タイヤの交換

タイヤのローテーション

タイヤのかたよった摩耗を防止して寿命をのばすために、約**5,000 km**走行ごとに行なってください。（下図参照）

- 車載ジャッキで行なうときは、応急用スペアタイヤを使用して1輪ずつ交換します。

→ 7-4ページ（ジャッキアップ）



アドバイス

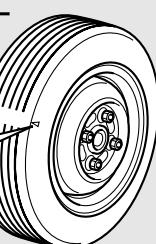
- 応急用スペアタイヤは、通常の走行には使用しないでください。
- 回転方向指定のあるタイヤは、タイヤの側面に回転方向を示すマークがあります。
- 回転方向指定のあるタイヤをローテーションするときは、回転方向を逆にしないでください。走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

タイヤ交換するときは

- 指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗状態が著しく異なるタイヤを使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。（冬用タイヤも同様です。）
- ABS（アンチロックブレーキシステム）車は正確な速度が検出できない場合があり、ABSが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。
- 指定サイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認してください。
- 走行中にハンドルや車体に振動が出る場合は、タイヤのバランスを点検してください。
- 取り付ける前にタイヤの摩耗状態を点検してください。ウェアインジケーター（溝の深さが1.6mm深い部分）が現れて溝の一部が消えていたら、他のタイヤと交換してください。

ウェアインジケーター (摩耗限度表示)

ウェアインジケーター位置
を示すマーク



81J60040

冬期に入る前の準備

ウインドーウオッシャー液

凍結を防ぐため、外気温に応じた割合で配合してください。

(ウォッシャータンク容量については8-2ページをお読みください)

〈日産純正ウォッシャー液の場合〉

使用地域・季節	薄める割合	凍結温度
通常	原液1に水3	約-7°C
温暖地の冬期	原液1に水2	約-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	約-20°C
極寒冷地の冬期	原液のまま	約-50°C

バッテリー

バッテリーの液量や比重を点検してください。寒くなるとバッテリーの性能が下がり、弱っているバッテリーではエンジンがかかりにくくなります。

→ 2-3ページ

(バッテリーの液面を点検する)

冷却水

凍結を防ぐため、指定のエンジンクーラントをお使いください。

→ 8-1ページ (サービスデータ)

→ メンテナンスノート (日常点検)

アドバイス

エンジンクーラントの濃度点検および交換は、日産販売会社へお申し付けください。

スノープレード

スノープレード（降雪地用ワイパープレード、別売り）は、金属部分をゴムでおおって雪の付着を少なくするものです。必要に応じて交換してください。

注意

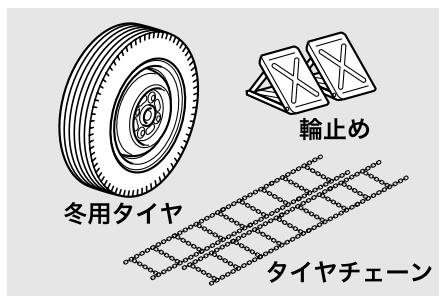
高速走行時は、通常のワイパープレードよりふき取りにくくなることがあります。その場合には、車のスピードを落としてください。

アドバイス

雪の降らない時季は、通常のワイパープレードをご使用ください。

冬用タイヤ、タイヤチェーン、輪止め

雪道や凍結路を走行するために必要です。準備してください。



81J60060

6. お車との上手なつきあい方／寒冷時の取扱い

出発の前に

屋根に積もった雪

出発の前に取り除いてください。走行時に落下して、視界をさまたげるおそれがあります。



81J60070



プラスチックの板

81J60090

ドアの凍結

ぬるま湯をドアキーの穴を避けてかけてかけます。ドアが開いたあとは水分を拭き取ってください。凍結したまま無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、破損するおそれがあります。



81J60100

ワイパーの凍結

ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分を拭き取ってください。



81J60080

靴に付着した雪

乗車するときによく落としてください。そのまま乗車すると、ペダル操作時に滑ったり、車内の湿気が多くなってガラスがくもりやすくなります。



81J60110

ガラス面の雪や霜

プラスチックの板を使うと、ガラスを傷つけずに落とせます。

雪道を走行するとき

雪道や凍結路はゆっくり走行

▲注意

スピードを控めにし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。雪道や凍結路は路面が滑りやすく、スリップ事故を起こすおそれがあります。



81J20330

ブレーキのきき具合を確認

ブレーキ装置に付着した雪や氷が凍結して、ブレーキのききが悪くなることがあります。

▲注意

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキのききを確かめてください。
- ブレーキのききが悪いときは、ききが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着

雪道や凍結路では、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

- 走行する地区の条例などにしたがって装着してください。

→ 6-4ページ

(タイヤ交換するときは)

→ 6-9ページ

(タイヤチェーンを装着するとき)

寒冷時

フェンダー裏側に付着した雪を取り除く

雪道を走行すると、フェンダーの裏側に雪が付着してタイヤと接触し、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

- ときどき車を止めてフェンダーの裏側を点検してください。雪の塊が付着しているときは、周囲の部品を傷つけないように雪を取り除いてください。



81J60120

駐車するとき

パーキングブレーキ

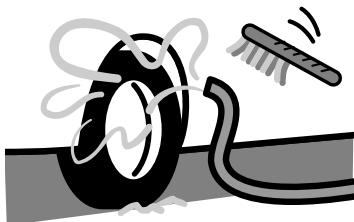
パーキングブレーキが凍結すると解除できなくなります。

- 長時間駐車するときはパーキングブレーキをかけず、セレクトレバーを[P]に入れ、輪止め（市販品）をします。

6. お車との上手なつきあい方／寒冷時の取扱い

凍結防止剤が散布してある道を走行したあとは

すみやかに凍結防止剤を洗い落としてください。特に車体の下まわり、足まわりを念入りに洗ってください。放置するとサビの原因となります。
凍結を防ぐため、洗車後はドアまわりなどの水分をふき取ってください。



81J60130

- 駐車するときはワイパーームを立ててください。雪の重みでワイパーームが変形したり、ブレード部（ゴムの部分）がガラスに凍結することがあります。



81J60140

- 降雪時に長時間駐車するときは、アンテナを取り外してください。
→ 5-14ページ（アンテナの脱着）

アドバイス

- ドアキーの穴を避けて洗車してください。キー穴が凍結すると、ドアが解錠できなくなります。
- ドアまわりのゴム部品の水分は、とくによくふき取ってください。凍結すると、ドアが開かなくなります。

屋外に駐車するときは

- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。積雪や落雪で車の屋根がへこむことがあります。

排気管のまわりが雪でおおわれたときは

！警告

排気管のまわりが雪でおおわれたままエンジンを回転させないでください。排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



81J60150

タイヤチェーンを装着するとき

タイヤチェーン

この車に適合した日産純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、日産販売会社にご相談ください。

▲ 注意

- 適合品以外を装着しないでください。ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着して走行するときは、安全およびタイヤチェーン保護のためスピードを控えめ(30 km/h)にし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転をしたり、突起や穴を乗り越えたりしないでください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行しないでください。路面が損傷したり、タイヤチェーンの摩耗が早まります。また、4WD車の場合、駆動装置に無理な力がかかり、故障の原因となります。
- 走行中にいつもと違う音がするときは、ただちに停車して点検してください。タイヤチェーンが切れたり、一部が外れたりして車体にあたると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。

タイヤチェーンを装着する前に

■ タイヤチェーンは前輪に装着後輪には装着しないでください。

■ 応急用スペアタイヤには装着できません

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪につけ、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてから、タイヤチェーンを前輪に装着します。

■ ジャッキアップに適した安全な場所で装着

7-3 ページの「タイヤ交換の準備」の①、②をお読みください。

■ フルホイールカバーを外してから装着

フルホイールカバーの傷つき防止のため、カバーを外してからタイヤチェーンを装着します。カバーの外しかたは 7-4 ページをお読みください。

アドバイス

アルミホイール装備車は、タイヤチェーンでホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤチェーンの装着

装着方法については、タイヤチェーンに付属の取扱説明書をよくお読みください。

MEMO

7. 万一のとき

パンク	7-2
バッテリーあがり	7-8
ヒューズ切れ	7-10
電球切れ	7-12
オーバーヒート	7-13
その他	7-14

パンク

バッテリー

ヒューズ

電球

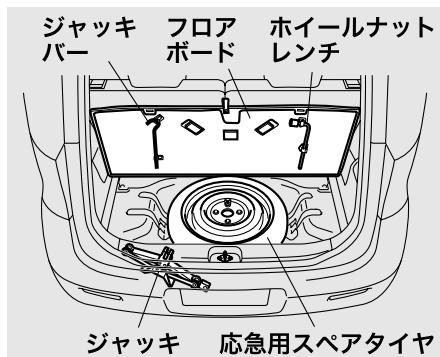
オーバーヒート

その他

7. 万一のとき／パンク

工具、ジャッキ、応急用スペアタイヤの収納場所

後部荷室のフロアボードを持ち上げた場所に収納されています。



81J70010

アドバイス

工具（ジャッキバー、ホイールナットレンチ）、ジャッキ、応急用スペアタイヤは所定の位置に収納し、しっかりと固定してください。

応急用スペアタイヤの取り出しかた

フロアボードを外し、固定用ボルトをゆるめて取り出します。ボルトがゆるみにくいときは、ジャッキバーを使ってください。



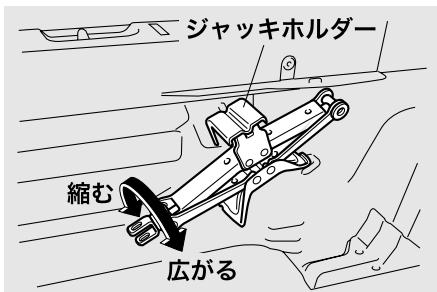
81J70030

アドバイス

ジャッキバーは、締め付けには使用しないでください。

ジャッキの取り出しかた

- 応急用スペアタイヤを取り出してから、ジャッキを縮めて取り出します。
- 収納するときは、ジャッキホルダーにおさめてからジャッキを広げ、しっかりと固定します。



81J70020

アドバイス

収納するときに、ホイールナットレンチなどで無理にジャッキを広げないでください。ホルダーが変形するおそれがあります。

応急用スペアタイヤの取扱い

応急用スペアタイヤは、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するものです。パンクしたタイヤはただちに修理または交換し、できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べて空気圧が高く、幅が細く、直径がやや小さいため、次の事項を守ってください。

▲ 注意

定期的に点検する

空気圧や摩耗状態を定期的に点検してください。空気圧不足やタイヤの摩耗は、思わぬ事故につながるおそれがあります。応急用スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2 kgf/cm²) です。

前輪には使用しない

この車は前輪が駆動輪、または前輪が駆動輪ベースの4WDです。前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてください。

装着したときの走行は

- ABS（アンチロックブレーキシステム）車は正確な速度が検出できない場合があり、ABSが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえるおそれがあります。
- 応急用スペアタイヤは、高速走行には適していません。やむをえず高速道路を走行する場合は、最低速度（法令では高速道路の最低速度は50km/hです）に近い速度で走行してください。

●応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べ直徑がやや小さいため、車高が少し低くなります。突起物などを乗り越えるときは、車体を接触させないように気をつけてください。

タイヤチェーンは装着できません

タイヤチェーンを装着した前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に使用し、外した後輪の標準タイヤを前輪につけてからタイヤチェーンを再装着してください。

他の車のスペアタイヤを使わない

応急用スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車の応急用スペアタイヤをこの車に使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

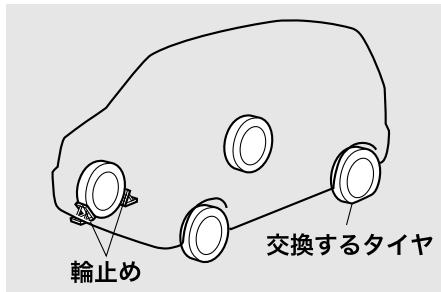
タイヤ交換の準備

- 1 他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができる、地面が硬くて平らな場所に車を移動してエンジンを止めます。
- 2 パーキングブレーキをしっかりとかけます。セレクトレバーを[P]に入れてから、非常点滅灯を点滅させて他車に注意をうながします。必要に応じて、停止表示板（別売り）を置きます。

7. 万一のとき／パンク

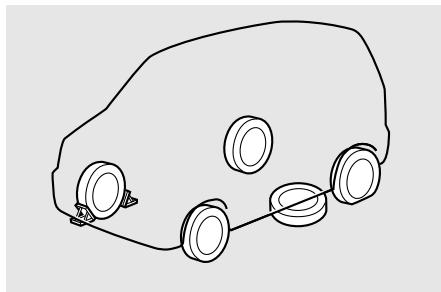
パンク

- 3 交換するタイヤと対角線の位置にあるタイヤの前後に、輪止め（市販品）を置きます。



81J70040

- 4 工具、ジャッキ、応急用スペアタイヤを取り出します。同乗者がいるときはや重い荷物をのせているときは、車からおろします。



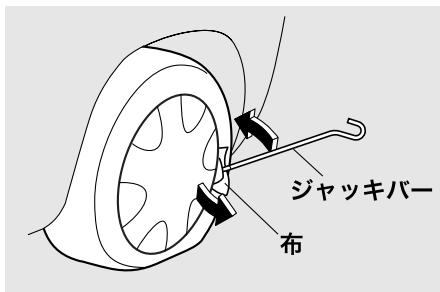
81J70050

アドバイス

- 取り出した応急用スペアタイヤは、万一本体が外れたときに足などをはさまないために、交換するタイヤの近くの車体の下に置いてください。
- ホイール表面の傷つきを防ぐため、応急用スペアタイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にしてください。

- 5 フルホイールカバーの外しかた

フルホイールカバー付き車は、カバーの傷つきを防ぐため、ジャッキバーの先端に布をあてがってホイールとカバーの間に差し込み、こじてカバーを外します。



81J70060

- 上図のカバーのデザインは、お車のタイプにより異なります。

- 6 ホイールナットレンチでホイールナット（4個）を左にまわし、手でナットが軽くまわるくらいまでゆるめます。



81J70070

ジャッキアップ

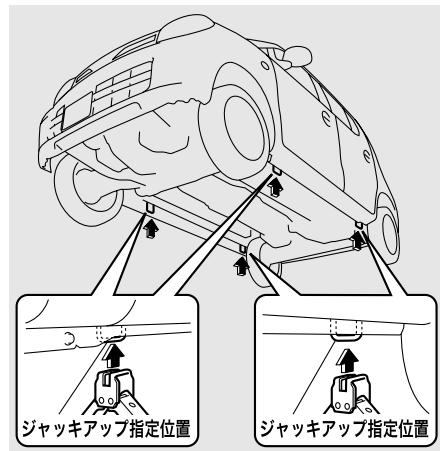
！警告

- 万一本体が外れると、身体がはされ重大な傷害を受けたり、車が動き出して思わず事故につながるおそれがあります。ジャッキアップするときは次のことをお守りください。

- 地面が硬くて平らな場所でジャッキアップしてください。
- ジャッキは、タイヤ交換だけに使用してください。
- ジャッキはこの車に付属のものを使用し、他の車のものは使用しないでください。また、この車のジャッキを他の車に使用しないでください。
- ジャッキは必ず指定された位置にかけてください。指定以外の位置にジャッキをかけると、ジャッキが外れたり、車を損傷したりするおそれがあります。
- ジャッキで必要以上に車を持ち上げないでください。
- ジャッキで車を持ち上げているときは、車の下にもぐったり、エンジンをかけたり、車をゆすったりしないでください。
- ジャッキアップするときに、ジャッキの上や下に物をはさまないでください。
- 複数のジャッキを使用して、複数輪を同時にジャッキアップしないでください。

▲ 注意

ジャッキアップをする前に、パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーを[P]に入れてください。また、エンジンは必ず止めてください。



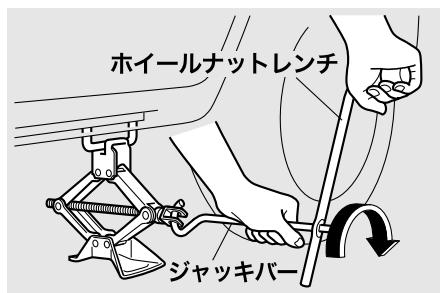
81J70080

- 3** ジャッキに、ジャッキバーとホイールナットレンチを取り付けます。
(下図参照)

■ アドバイス

ジャッキバーは下図のように、ホイールナットレンチの穴に差し込みます。

- 4** ホイールナットレンチをまわして、タイヤが地面から少し離れるまで、車体を慎重に持ち上げます。



81J70090

- 1** ジャッキバー取り付け部を手でまわしてジャッキを広げ、ジャッキ頭部の凹み部を車載ジャッキ指定位置に軽く接触させます。

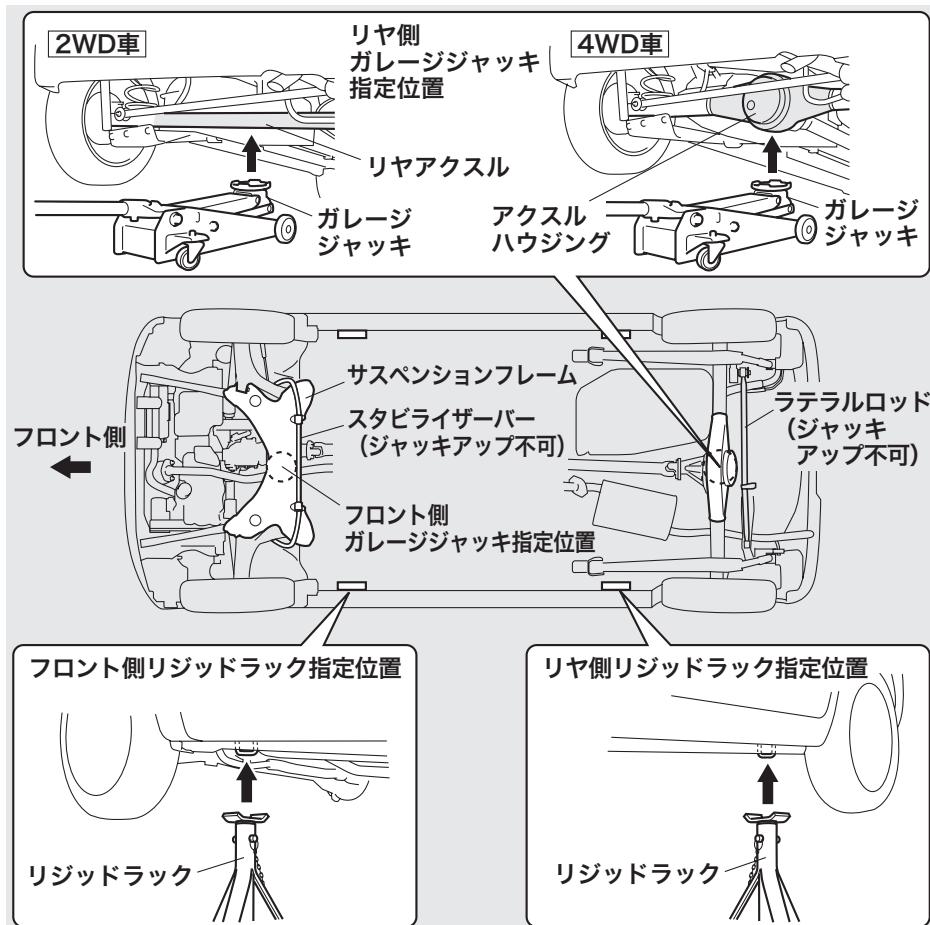
- 2** ジャッキ頭部を軽くゆすって、ジャッキ頭部の凹み部が指定位置にはまっているか確認します。

7. 万一のとき／パンク

パンク

ガレージジャッキ（市販品）を使用するときは

- 下図に示すガレージジャッキの指定位置でジャッキアップします。
- 必ずリジッドラック（市販品）を使用してください。リジッドラックの指定位置を下図に示します。



81J70101

アドバイス

詳細については、日産販売会社にご相談ください。

タイヤの取付け・取外し

- 1** ホイールナットを外して、タイヤを取り外します。外したタイヤは、車体の下に置きます。

▲ 注意

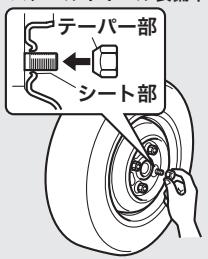
- ホイールの取付け面を汚したときや汚れがあるときはふき取ってください。汚れがあると、走行中にホイールナットがゆるむことがあります。
- ナットやボルトに、オイルやグリスを付着させないでください。必要以上にナットを締め過ぎて、ボルトが折れるおそれがあります。

アドバイス

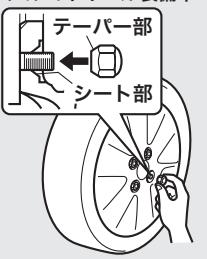
ホイール表面の傷つきを防ぐため、タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にしてください。

- 2** ホイールナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く接触するまで、手で時計方向にまわして締めます。

スチールホイール装備車



アルミホイール装備車



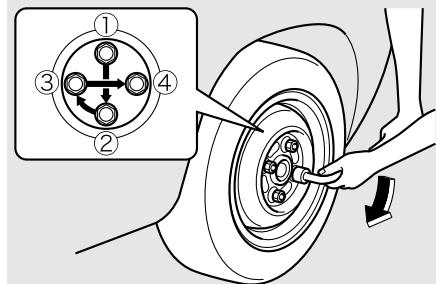
81J70111

- 上図のアルミホイールのデザインは、お車のタイプにより異なります。

- 3** 車体の下に置いたタイヤを取り出し、タイヤが地面に接触するまでジャッキを下げます。

- 4** ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを下図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

締め付けトルク : 85 N·m
(870 kgf·cm)



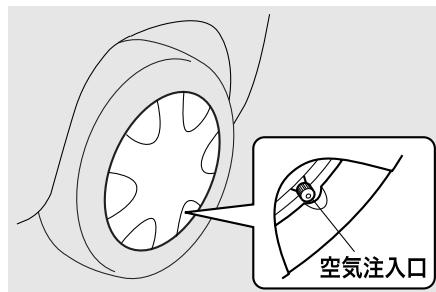
81J70130

▲ 注意

ホイールナットレンチの柄の先端にかかる力は330 N (34 kgf) を目安にしてください。ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプを使って締め付けたりすると、ナットを締め過ぎてボルトが折れるおそれがあります。

5 フルホイールカバーの付けかた

タイヤの空気注入口とカバーの切り欠き部分をあわせてから、カバーを確実に押し込みます。

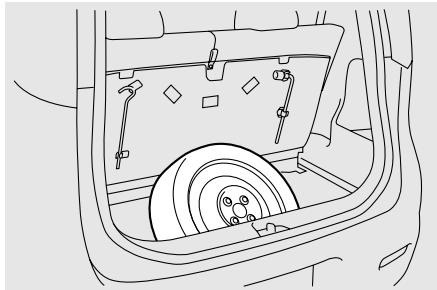


81J70140

7. 万一のとき／パンク

タイヤを交換したあとは

- 工具とジャッキを所定の位置に収納してください。
- パンクした標準タイヤは、応急用スペアタイヤの収納場所に収納できません。ホイール表面を上向きにして、下図のように斜めにした状態で収納します。



81J70150

▲ 注意

- タイヤを交換してしばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないか確認してください。
- タイヤを交換したあと、車体の振動などの異常を感じたときは、日産販売会社にご連絡ください。
- アルミホイール装備車は、タイヤを交換してから1,000 km程度走行したあとに、ホイールナットにゆるみがないか点検してください。

バッテリーあがりとは

次のようなときは、バッテリーがあがっています。

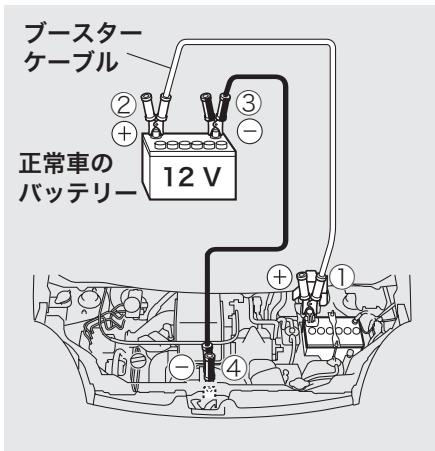
- エンジンをかけようとしてもスターがまわらない。または、まわっても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ヘッドライトが極端に暗かったり、ホーンの音が小さかったりする。

バッテリーあがりのときは

ブースターケーブルと、12 Vバッテリーを使用している他のバッテリー正常車があれば、エンジンの始動ができます。

- 1 1本目のブースターケーブルを①→②の順序で接続し、2本目のブースターケーブルを③→④の順序で接続します。

- ① バッテリーあがり車の \oplus 端子
- ② バッテリー正常車の \oplus 端子
- ③ バッテリー正常車の \ominus 端子
- ④ バッテリーあがり車のエンジン本体（エンジンハンガーフックなど）



81J70161

- 2 バッテリー正常車のエンジンを始動し、エンジンの回転を少し高めに保ちます。

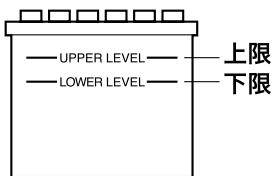
- 3 バッテリーあがり車のエンジンを始動します。

- 4 取り付けたときと逆の順序で、ブースターケーブルを外します。

- 5 お近くの日産販売会社またはガソリンスタンドでバッテリーを完全充電します。

▲警告

- ・バッテリーからは水素ガスが発生しています。水素ガスは、火気や火花に引火すると爆発のおそれがありますので、次のことをお守りください。
- ・バッテリーを充電するときや、ブースターケーブルをつなぐときは、必ずバッテリー液面を確認してください。バッテリー液面が下限以下のままで充電などすると、バッテリーの発熱や爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。
- バッテリー補充液を上限まで補給してから、充電などを行なってください。



81J20050

- ・充電は火気のない風通しのよいところで、すべてのバッテリーキャップを外して行なってください。
- ・④の接続のときに、バッテリーあがり車の \ominus 端子につながないでください。火花が発生して水素ガスに引火し、爆発するおそれがあります。バッテリーから離れたエンジン本体に接続してください。
- ・乾いた布でバッテリーを拭かないでください。静電気が発生して引火するおそれがあります。
- ・バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚につくと、失明などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

▲注意

- ・ブースターケーブルは確実に接続してください。エンジン始動時の振動などでブースターケーブルが外れると、Vベルトや冷却ファンに巻き込まれるおそれがあります。
- ・ショート防止のため、ブースターケーブルの \oplus 端子は、バッテリー \oplus 端子以外の部分 (\ominus 端子、ボルト、ブラケットなど) と接触させないでください。
- ・オートマチック車は押しがけできません。

バッテリー

バッテリーあがりを防ぐためには

- ・エンジンを停止したままライトをつけたり、長時間ラジオなどを聞かないようにしましょう。
- ・渋滞などで長時間アイドリングを続けている場合は、電装品の使用を極力避けてください。
- ・バッテリー液が減ると充電能力が低下して、バッテリーの寿命が短くなります。バッテリーを定期的に点検して、バッテリー液が減っているときは補充してください。
→ メンテナンスノート（日常点検）

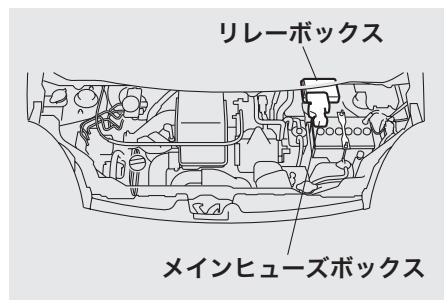
7. 万一のとき／ヒューズ切れ

ヒューズが切れたときは

電気装置が作動しないときや、電球が切れていないのにランプが点灯しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

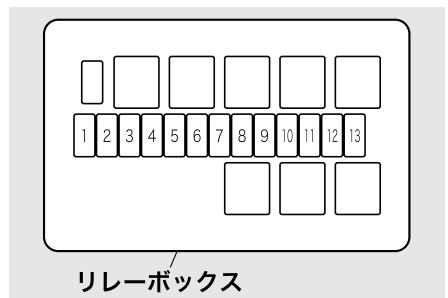
- ヒューズボックスはエンジルーム内と運転席足元にあります。

エンジルーム内のヒューズボックス



81J70171

■ リレーBOX内のヒューズ



81J70180

● 装備仕様の違いにより、所定の位置にヒューズがない場合があります。また、装備がなくてもヒューズだけがある場合があります。

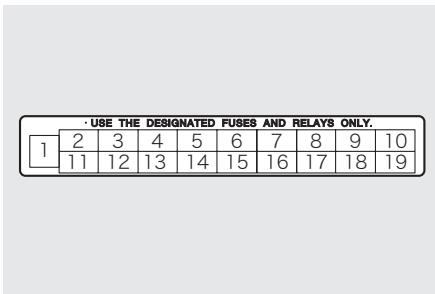
● 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	HTR	20A	ヒーター
2	IG	25A	エンジンスイッチ
3	RDTR	30A	ラジエーター ファン
4	ST	30A	スターター
5	FOG	15A	フォグランプ
6	THR MOT	—	—
7	FI	15A	燃料噴射装置
8	INJ (DI TU)	—	—
	CVT (NA)	—	—
9	H/L R	15A	ヘッドライト (右)
10	H/L L	15A	ヘッドライト (左)
11	—	—	—
12	—	—	—
13	A/C	10A	エアコン

運転席足元のヒューズボックス



81J70191



81J70201

- 装備仕様の違いにより、所定の位置にヒューズがない場合があります。また、装備がなくてもヒューズだけがある場合があります。
- 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	P/W	30A	パワー ウインドー
2	WIP	15A	ワイパー
3	—	—	—
4	A/B	10A	エアバッグ
5	METER	10A	メーター

位置	表示	容量	接続先名称
6	BACK	10A	後退灯
7	ABS	10A	ABS
8	IG COIL	15A	イグニッション コイル
9	CIG	15A	電源 ソケット
10	—	—	—
11	HTR	15A	ヒーターシート ヒーター
12	TAIL	10A	尾灯
13	D/L	20A	ドアロック
14	DEICE	15A	デアイサー
15	HAZ/HORN	15A	非常点滅灯 ホーン
16	DEF	15A	リヤ デフォッガー
17	STOP	15A	制動灯
18	注) PWT	20A	パワーウィンドー ¹ タイマー機能
19	DOME	15A	室内灯

注) PWTのヒューズを外したり、交換したりした場合は、挿み込み防止機構の初期設定を行なってください。
→ 3-17ページ (挿み込み防止機構の初期設定のしかた)

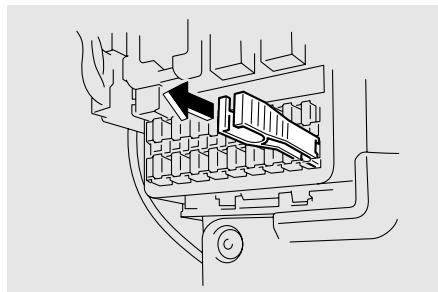
7. 万一のとき／ヒューズ切れ

ヒューズの点検と交換

ヒューズおよびヒューズ抜きは、日産販売会社でご購入ください。

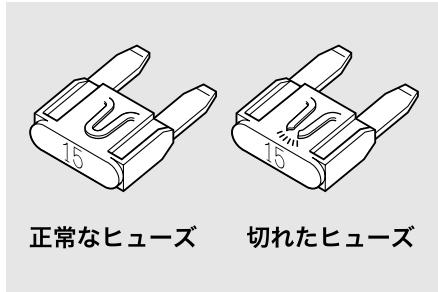
点検のしかた

- 1 エンジンスイッチを [LOCK] にします。
- 2 エンジルーム内のリレーボックスでは、リレーボックスのカバーを外します。
- 3 故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズボックスの表で確認します。ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか点検します。



81J70210

- 4 切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



81J70220

▲注意

ヒューズは、同じサイズで同じ容量のものと交換してください。サイズの違うヒューズ、容量の大きいヒューズ、針金、銀紙などを使用すると、配線が焼損したり火災が発生する原因となります。

アドバイス

交換したヒューズがすぐに切れるときは、電気系統の故障が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

電球の点検

ランプや方向指示器／非常点滅灯などを点灯または点滅させて、電球切れがないか点検してください。

アドバイス

- ブレーキランプは他の人に見てもらうか、壁などをを利用して点検してください。
- メーター内の方角指示器表示灯の点滅が異常に速くなったときは、方角指示器／非常点滅灯の電球切れが考えられます。
- ヘッドライトやブレーキランプなどは、雨天走行や洗車などで一時的にレンズ内面がくもることがあります。これはランプ内外の温度差によるもので、機能上の問題はありません。
(雨天時などに窓ガラスがくもるのと同じ現象)
ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、日産販売会社にご相談ください。

電球を交換するときは

電球が切れているときは、ワット数（型式）が同一の電球と交換してください。電球のワット数（型式）は、サービスデータ（8-3ページ）をご覧ください。

注意

ハロゲン電球（ヘッドライトやフォグランプ）は、高圧ガスを封入しているため、とくに慎重に扱ってください。割れるとガラスが飛散して、けがをするおそれがあります。

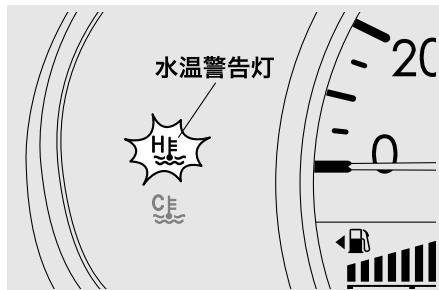
アドバイス

ハロゲン電球を扱うときは、油脂類が付着していない、きれいな手袋をはめてください。使用時電球が高温になるため、素手で扱ってガラス部分に油などが付着すると、発熱による早期電球切れを起こすおそれがあります。

オーバーヒートとは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- メーター内の水温警告灯が点灯
→ 3-38ページ（水温警告灯）
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている



81J70230

警告

エンジンルームから蒸気が立ちのぼっているときは、ボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯が吹き出してやけどをするおそれがあります。

オーバーヒートしたときは

1 車を安全な場所に止めます。

2 エンジンをかけたままでボンネットを開けて、エンジンルーム内の風通しをよくします。

3 冷却ファンの作動を確認し、水温警告灯が消灯するのを待ってエンジンを止めます。

アドバイス

冷却ファンが作動していないときや、水温警告灯が消灯しないときは、ただちにエンジンを止め、日産販売会社にご連絡ください。

7. 万一のとき／オーバーヒート

- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量やホースなどからの水漏れを点検します。

！警告

ラジエーターキャップは、エンジンが十分に冷えてから外してください。エンジンが熱いときは冷却水に圧力がかかっているため、蒸気や熱湯が吹き出してやけどのおそれがあります。



- 5 冷却水の量が不足しているときは補給します。

アドバイス

- 冷却水がなく、やむをえず水だけを補給したときは、できるだけ早く日産販売会社でエンジンクーラント濃度の点検を受けてください。
- 水漏れなどの異常があるときは、日産販売会社にご連絡ください。

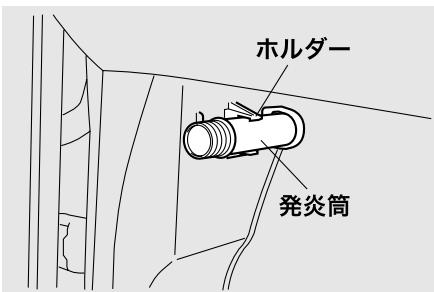
オーバーヒート

発炎筒

- 発炎筒は、助手席足元の左側面のホルダーに取り付けています。
- 点火すると約5分間発炎します。踏切や高速道路などの危険な場所で故障したときに、非常用信号として使用します。

- 使用方法は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。

- 発炎筒に表示されている有効期限が切れる前に、新品と交換してください。発炎筒は日産販売会社でご購入ください。



81J70250

！警告

- お子さまにはさわらせないでください。やけどや火災などの思いがけない事故を起こすおそれがあります。
- 必ずホルダーに保管してください。
- 点火するときは、筒先を顔や身体に向けないでください。やけどのおそれがあります。
- ガソリンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
- トンネル内など、換気が悪い場所で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなります。トンネル内の合図は非常点滅灯をご使用ください。

故障したときは

故障したときの連絡先は

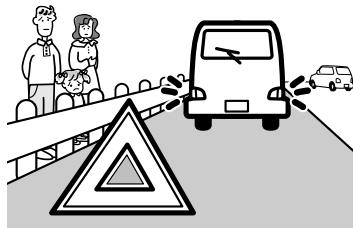
故障したときは、お買い上げの日産販売会社にご連絡ください。

停止表示板を常備する

万一のために、停止表示板（別売り）を車に備えてください。高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板を置くことが法令で義務づけられています。

路上で故障したときは

車を路肩などに止め、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板（別売り）や発炎筒で他車に注意をうながします。

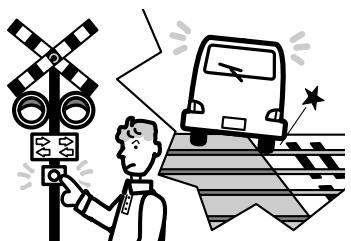


63J70501

全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪など、踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



81J70270

踏切の非常ボタンがわからないときは、発炎筒で列車に合図してください。



81J70280

エンストした車を少し移動させるときは

踏切や交差点などでエンストして動けなくなったときは、付近の人に押してもらって、車を安全な場所まで移動させてください。

このとき、セレクトレバーを **[N]** に入れます。



81J70290

アドバイス

エンジンスイッチを **[START]** の位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

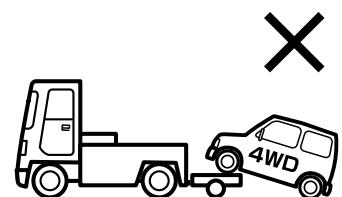
7. 万一のとき／その他

けん引してもらうときは

- レッカー車でけん引するとき、4WD車は必ず4輪を持ち上げてください。2WD車は4輪または駆動輪である前輪を持ち上げてください。
- 故障車を移動するには、車両運搬車を利用する方法もあります。
- エンジンがかかっていても車が動かなかったり、いつもと違う音がしたりするときは、駆動装置の故障が考えられます。けん引する前に、日産販売会社にご連絡ください。

▲ 注意

4WD車は、前輪だけまたは後輪だけを台車にのせた（車輪が回転できない）状態で絶対にけん引しないでください。車が台車から飛び出すなどの思いがけない事故につながるおそれがあります。また、駆動装置が破損する原因となります。

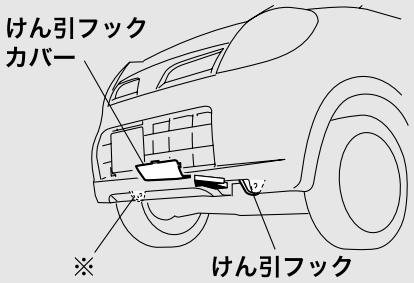


81J70300

ロープけん引

ロープをかける位置は

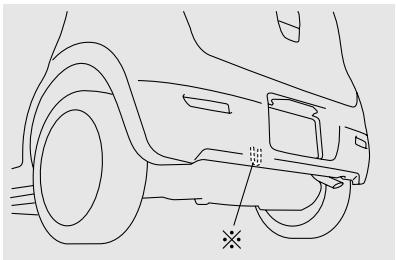
ロープは、けん引フックにかけます。けん引フックカバーは、手でつまむようにして引き抜きます。



81J70310

アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。
- フロント側およびリヤ側に装備されている※印のフックは、車を輸送するときの固定用フックです。けん引には使用しないでください。



81J70320

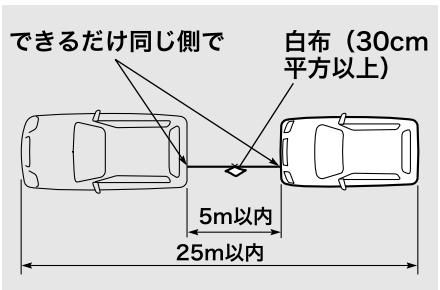
ロープでけん引してもらうときは

- けん引フックにロープをかけます。

アドバイス

- けん引中に、ロープがバンパーを傷つけるおそれがあるときは、あらかじめバンパーを外してください。
- 車にロープをかけるときは、できるだけ同じ側にかけてください。

- 2** ロープの中間に白い布（30cm 平方以上）をつきます。



81J70330

- 3** エンジンがかかるときは、ブレーキ倍力装置や、パワーステアリング装置を働かせるため、エンジンをかけたままにしておきます。

アドバイス

故障やバッテリーあがりなどでエンジンがかからないときは、エンジンスイッチを **ACC** にしてください。

- 4** セレクトレバーを **N** に入れます。

アドバイス

故障やバッテリーあがりなどで、エンジンスイッチを **ON** にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせないときは、**3-56** ページの手順でシフトロックを解除してください。

- 5** けん引中はロープをたるませないようにします。追突防止のため、前の車の制動灯をよく見て運転してください。

警告

- 長い下り坂や急な下り坂があるときは、レッカー車を依頼してください。ロープでけん引しないでください。エンジンブレーキがまったくきかないため、下り坂でブレーキペダルを踏み続けるとブレーキ装置が過熱して、ブレーキがきかなくなるおそれがあります。

エンジンが停止した車の運転は

- ブレーキ倍力装置が働かないため、いつもより強めにブレーキペダルを踏んでください。
- パワーステアリング装置が働かないため、通常より大きな力をかけて操作してください。

注意

- やむをえずロープでけん引してもらうときは、トランスマッision保護のため、速度 30 km/h 以下、走行距離 30km 以内にしてください。

7. 万一のとき／その他

万一、事故が起きたときは

処置のしかた

- 1 事故の続発を防ぐため、他の交通のさまたげにならない安全な場所に車を移動し、エンジンを止めます。
- 2 負傷者がいるときは、医師、救急車などが到着するまでの間、安全な場所で応急手当を行ないます。ただし、頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしてください。その場合でも、後続事故の心配があるときは、安全な場所に移動します。
- 3 事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。
- 4 相手方、事故の状況をメモします。
- 5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡します。

外傷がなくても医師の診断を受けましょう

後遺症が出るおそれがあります。

8. サービステーナ

項目		データ	
燃料	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン	
	タンク容量	30 L	
エンジン オイル	グレード	ターボ なし車	日産純正SMストロングセーブ・X(5W-30) 日産純正SMストロングセーブ・X Eスペシャル(5W-30) 日産純正SLストロングセーブ・X(0W-20) 日産純正SJエクストラセーブ・X(10W-30)
		ターボ車	日産純正SMストロングセーブ・X(5W-30) 日産純正SMストロングセーブ・X Eスペシャル(5W-30) 日産純正SJエクストラセーブ・X(10W-30)
	規定量	オイル交換時	2.7 L
		オイル、オイル フィルター同時交換時	2.9 L
トランス ミッション オイル	グレード	日産純正マチックフルードD	
	規定量	4.5 L	
トランス ファー オイル (4WD車)	グレード	日産純正デフオイルハイポイドスーパー 80W-90 (GL-5)	
	規定量	0.5 L	
リヤデファ レンシャル オイル (4WD車)	グレード	日産純正デフオイルハイポイドスーパー 80W-90 (GL-5)	
	規定量	1.0 L	
冷却水	グレード	スズキ純正スーパー長ライフクーラント (青)	
	規定量	ターボなし車	3.3 L
		ターボ車	3.5 L

- 油脂類などの交換時期、規定のエンジンクーラント濃度は、「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 指定外のATオイルは絶対に入れないとください。

8. サービスデータ

項目	データ		
ウォッシャー液	グレード	日産純正ウインドウォッシャー液	
	タンク容量	1.5 L	
ブレーキ液	グレード	日産純正ブレーキフルード No. 2500 (DOT-3)	
スパーク プラグ	タイプ (電極のすき間)	ターボなし車	NGK : LKR7BI8 (0.7~0.8 mm) DENSO : IXU22HPR (0.7~0.8 mm)
		ター ボ車	NGK : KR7AI (0.7~0.8 mm) DENSO : IXU22C (0.7~0.8 mm)
バッテリー	タイプ	38B20L	
ブレーキ ペダル	遊び	1 ~ 8 mm	
	床板とのすき間	水平方向に95 mm以上 (踏み込み力 300 N (31 kgf))	
パーキング ブレーキペダル	踏みしろ	6 ~ 8ノッチ (踏み込み力 300 N (31 kgf))	
Vベルト	たわみ量 (100 N (10 kgf) で 押したとき)	エアコン コンプレッサー側	新品時 6 ~ 7 mm 再張時 7 ~ 8 mm
		発電機側	新品時 7 ~ 8 mm 再張時 10 ~ 12 mm
ハンドル	遊び	0 ~ 30 mm (ホイール外周)	
タイヤ	ローテーション	5,000 km走行ごと	

- 指定外のブレーキ液は絶対に入れないでください。

81J80010

■ 電球の容量

名 称		ワット数 (型式)	名 称	ワット数 (型式)
ヘッドライト		60/55 W(H4)	後退灯	21 W(W21W)
車幅灯		5 W(W5W)	番号灯	5 W(W5W)
制動灯／尾灯		21/5W(W21/5W)	ルームランプ	10 W
方向指示器 ／非常点滅灯	前面	21 W(WY21W)	ラゲッジルームランプ	10 W
	側面 (※)	5 W ドアミラー	ハイマウントストップランプ フォグラランプ	21 W(P21W) 35 W(H8)
	後面	21 W(WY21W)		

※側面の方向指示器／非常点滅灯は、電球のみの交換はできません。

■ タイヤ／ホイール

指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認してください。

タイヤの空気圧

タイヤの種類	タイヤサイズ	空気圧
標準タイヤ	155/65R13 73S	240 kPa (2.4 kgf/cm ²)
	165/55R14 72V	
応急用スペアタイヤ	T105/90D 12	420 kPa (4.2 kgf/cm ²)
	T115/70D 14	

ホイールのサイズ

タイヤ	適合ホイール		
	リムサイズ	オフセット	取付ピッチ円直径 (PCD)
155/65R13 73S	13 × 4.00B	45 mm	100 mm
165/55R14 72V	14 × 4 1/2J	50 mm	

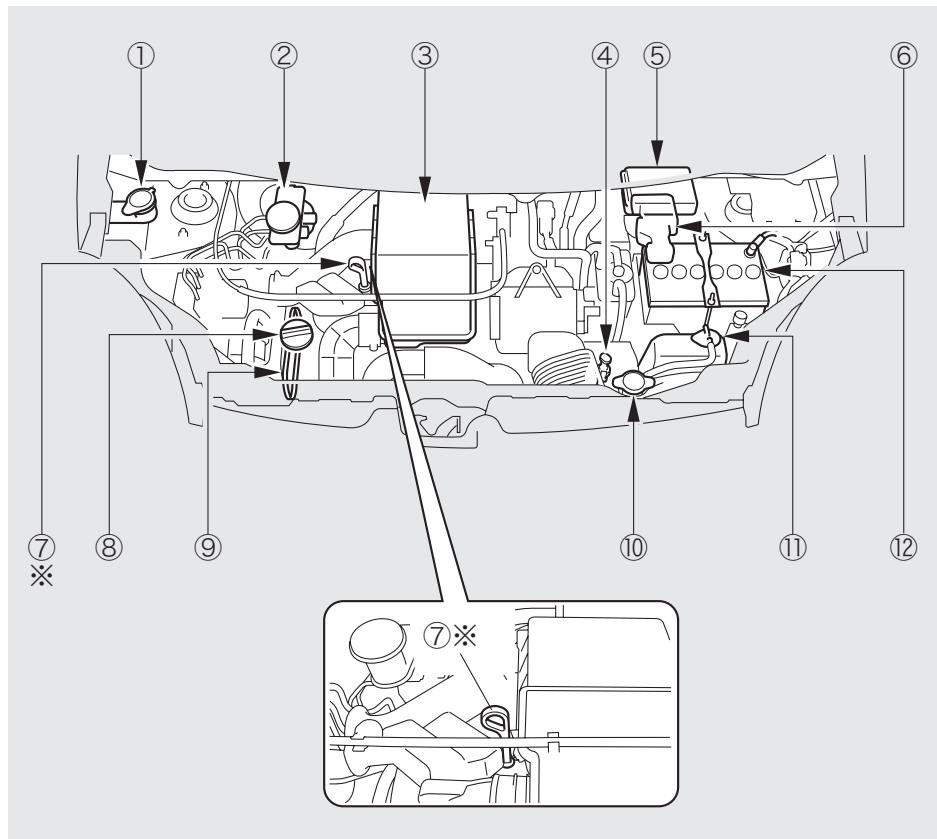
タイヤチェーン

この車に適合した日産純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、日産販売会社にご相談ください。

8. サービスデータ

エンジンルームをのぞいて

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



81J80021

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① ウォッシャータンク | ⑦ エンジンオイルレベルゲージ (※) |
| ② ブレーキフルードリザーバータンク | ⑧ エンジンオイルフィラーキャップ |
| ③ エアクリーナー | ⑨ Vベルト |
| ④ ATオイルレベルゲージ | ⑩ ラジエーターキャップ |
| ⑤ リレーボックス | ⑪ 冷却水リザーバータンク |
| ⑥ メインヒューズボックス | ⑫ バッテリー |

※エンジンオイルレベルゲージは、上図で示す向きで差し込んでください。

向きが異なると、エアクリーナーケースと干渉したり、差し込み不十分となったりするおそれがあります。

ア

アームレスト	5-21
Rポジション警告ブザー	2-18、3-58
アシストグリップ	5-26
アルミホイール	
タイヤ交換	7-3
タイヤチェーン	6-9
アンサーバック機能	3-8
アンテナ	5-14

イ

イベントデータレコーダー(EDR)	4-15
インストセンターロアボックス	5-18
インテリジェントキー	3-49

ウ

ウインドー	
ウンドーロックスイッチ	3-16
後席ウンドー	3-17
バックドアガラスの手入れ	6-4
パワーウンドー	3-15
フロントウンドーガラスの手入れ	6-3
ウェアインジケーター	6-4
ウォッシャー液	6-5、8-2
ウォッシャースイッチ	3-44
運転席アンダーボックス	5-20
運転席ヒーターシートスイッチ	3-23

エ

エアコン、ヒーター	
オゾンセーフエアコン	5-3
オゾンセーフオートエアコン	5-7
吹出し口	5-2
ABS	
(アンチロックブレーキシステム)	
警告灯	3-37、4-18
装置	4-16

エコドライブ	2-25
SRSエアバッグ警告灯	
	3-36、4-6、4-14
SRSエアバッグシステム	2-19、4-8
エンジンオイル	2-24、3-39、8-1
エンジンキー	3-2
エンジン警告灯	3-38
エンジンスイッチ	3-47
エンジンスタートノブ	3-47
エンジンスタートノブ もどし忘れ警告	3-52
エンジンスタートノブ もどし忘れ時施錠防止機能	3-12
エンジンのかけかた	3-51
エンジンフード(ポンネット)	3-18
エンジンブレーキ	2-12
エンジルームをのぞいて	8-4
エンスト	7-15

オ

オイル(エンジンオイル)	
	2-24、3-39、8-1
応急用スペアタイヤ	
収納場所	7-2
取り出しかた、取扱い	7-2、7-3
オーディオ	5-14
オートマチック車(運転)	3-59
オートマチック車 (セレクトレバー)	3-54
オートライトシステム	3-41
オーバードライブ(O/D)スイッチ	
OFF表示灯	3-40、3-57
下り坂走行	3-61
装置	3-56
オーバーヒート	7-13
お子さまを乗せるときは	2-4
オゾンセーフエアコン	5-3
オゾンセーフオートエアコン	5-7
オドメーター(積算距離計)	3-32

9. さくいん

力

カーアラーム(盗難防止装置)	3-12
カードケース	5-18
外気導入(エアコン、ヒーター)	5-5, 5-10
外装のお手入れ	6-2
買い物フック	5-18
格納式アシストグリップ	5-26
ガソリン(燃料)	2-18, 8-1
カップホルダー	5-19
仮眠するときは	2-15
ガレージジャッキ	7-6
冠水した場所	2-14
寒冷時の取扱い	6-5

キ

キー(エンジンキー)	3-2
キーインターロック	3-58
キースイッチ(エンジンスイッチ)	3-47
キーナンバープレート	3-3
キー抜き忘れ警報	3-52
キーレススタート表示灯	3-41, 3-49
キックダウン	3-57, 3-60
給油	2-16, 3-20, 8-1

ク

空気圧	8-3
区間距離計(トリップメーター)	3-32
くもり取り(リヤデフォッガー)	3-46
クリープ現象	2-18, 3-57
車のお手入れ	6-2

ケ

警告灯の見かた	3-35
警告ブザー	
Rポジション警告ブザー	2-18, 3-58
エンジンスタートノブ	
もどし忘れ警告ブザー	3-52
キー抜き忘れ警報	3-52
携帯リモコン車外持ち出し警告	3-50

シートベルト警告ブザー	4-3
ヘッドランプ消し忘れ警報	3-42
携帯電話	2-10
携帯リモコン	3-8
携帯リモコン車外持ち出し警告	3-50
携帯リモコン閉じ込み防止機能	3-11
警報装置	3-12
けん引	7-16

コ

工具	7-2
後席シート	3-24
故障したときは	7-14
小物入れ	5-21

サ

サービスデータ	8-1
サンバイザー	5-16

シ

シート	3-21
シートアンダートレイ	5-22
シートアンダーボックス	5-22
シートバックポケット	5-25
シートベルト	4-2
シートベルト警告灯	3-36
シートベルト警告ブザー	4-3
事故が起きたときは	7-18
室内装備	5-15
室内灯	5-15
ラゲッジルームランプ	5-15
ルームランプ	5-15
シフトロック	3-55, 3-61
車検証ホルダー	5-17
ジャッキ(収納場所)	7-2
ジャッキアップ(タイヤチェーン)	6-9
ジャッキアップ(パンクしたとき)	7-4
集中ドアロック(パワードアロック)	3-6
充電警告灯	3-39
樹脂部品の手入れ	6-3

出発の前に	2-2
ジュニアセーフティシート	
.....	2-5, 2-6, 4-7
瞬間燃費	3-33
助手席インストアッパーボード (スライド式)	5-17
助手席大型ポケット	5-18
助手席シートバックポケット	5-25

ス

水温警告灯	3-38
スタック(立ち往生)	2-14
スピードメーター(速度計)	3-32
スペアタイヤ(応急用スペアタイヤ)	
収納場所	7-2
取り出しかた、取扱い	7-2, 7-3
スライドレバー	3-21, 3-24
“すわるとシート開けるとBOX”(助手席シート アンダーボックス&トレイ)	5-22

セ

積算距離計(オドメーター)	3-32
セレクトレバー操作	3-54
洗車	6-2
前照灯(ヘッドライト)	3-41
前席シート	3-21

ソ

走行中の注意	2-10
速度計(スピードメーター)	3-32

タ

ターボ車の運転	2-21
タイマーロック機能	3-8
タイヤ	
空気圧	8-3
交換したあとは	7-8
交換するときは	6-4
交換の準備	7-3

チーン	6-9
ホイールサイズ	8-3
ローション	6-4
立ち往生(スタック)	2-14
暖機運転	2-25

チ

チーン(タイヤチーン)	6-9
チケットホルダー	5-20
チケットホルダー(サンバイザー)	5-16
チャイルドシート固定機構 (シートベルト)	4-7
チャイルドセーフティシート	
.....	2-5, 2-6, 4-7
チャイルドブルーフ	3-6
駐車するときは	2-14, 3-61, 6-7
チルトステアリング	3-31

テ

停止表示板	7-15
低水温表示灯	3-40
デフロスター(エアコン、ヒーター)	5-2
電球	
電球の交換(ランプ類)	7-13
ワット数(ランプ類)	8-3
点検	2-2
電源ソケット	5-20

ト

ドア	3-3
ドアミラー	3-29
ドアミラー角度調節スイッチ	3-29
ドアミラーグリップスイッチ	3-30
ドアミラーヒータースイッチ	3-31
ドアロック解除機能	3-6
凍結防止剤	6-2, 6-8
凍結路	6-7
盗難防止装置(カーアラーム)	3-12
登降坂変速制御	3-57
トリップメーター(区間距離計)	3-32

9. さくいん

ナ

内気循環(エアコン、ヒーター)	5-5, 5-10
内装のお手入れ	6-3
長い荷物を積むとき	3-23

ニ

荷室を広げるとき	3-26
日常点検	2-2
乳児用チャイルドシート	2-5, 2-6, 4-7

ネ

燃費メーター	3-32
燃料	2-18, 8-1
燃料給油口	3-20
燃料計	3-34
燃料残量警告灯	3-37
燃料タンク容量	8-1

八

パーキングブレーキ	
寒冷時の取扱い	6-7
操作	3-53
ブレーキ警告灯	3-36
ハイドロブレーニング現象	2-13
挟み込み防止機構	3-17
発炎筒	7-14
バックミラー(ルームミラー)	3-29
バッテリー上がり	7-8
バニティミラー	5-16
パワーウィンドー	3-15
パワーステアリング警告灯	3-38
パワードアロック	3-6
パンク(タイヤ交換)	7-2

ヒ

ヒーター(エアコン)	5-2
オゾンセーフエアコン	5-3
オゾンセーフオートエアコン	5-7
吹出し口	5-2

非常点滅灯スイッチ	3-44
必読!	2-2
ヒューズ切れ	7-10
表示灯の見かた	3-35
日よけ(サンバイザー)	5-16

フ

ブースターケーブル	7-8
フォグランプスイッチ	3-47
フットレスト	5-21
フューエルキャップ	3-20
フューエルリッド	3-20
フルフラットシート	3-28
フルホイールカバー(取付け)	7-7
フルホイールカバー(取外し)	7-4
ブレーキ	
ブレーキアシスト	4-18
ブレーキ液	8-2
ブレーキ警告灯	3-36
ブレーキ倍力装置	7-17
ブレーキペダル	8-2
フロントカップホルダー	5-19
フロントシート	3-21
フロントセンターアームレスト	5-21

ヘ

平均燃費	3-33
ペースメーカー	2-22
ヘッドライト(前照灯)	3-41
ヘッドライト上向き表示灯	3-40
ヘッドランプ消し忘れ警報	3-42
ヘッドランプレベライザースイッチ	3-43
ヘッドレスト	
後席	3-25
前席	3-22

木

ホイールカバー(取付け)	7-7
ホイールカバー(取外し)	7-4
ホイールサイズ	8-3
方向指示器スイッチ	3-44

方向指示器表示灯	3-40
ホーンスイッチ	3-46
ポジションインジケーター	3-40
ボンネット	3-18

マ

万一のとき	7-1
-------	-----

ミ

ミラー	
ドアミラー	3-29
バニティミラー	5-16
ルームミラー	3-29

メ

メーターの照明	3-34
メーターの見かた	3-32

ユ

油圧警告灯	3-39
雪道を走行するとき	6-7

ヨ

横風が強いときは	2-12
4WD車の運転	2-20

ラ

ライトスイッチ	3-41
ラゲッジサイドボックス	5-26
ラゲッジルームランプ (荷室室内灯)	5-15
ラジエーターキャップ	7-14、8-4
ランプ	
電球の交換(ランプ類)	7-13
フォグラム	3-47
ヘッドライト	3-41
ラゲッジルームランプ (荷室室内灯)	5-15

ルームランプ(室内灯)	5-15
ワット数(ランプ類)	8-3

リ

リクエストスイッチ	3-10
リクライニングレバー	3-22
リジッドラック	7-6
リッド付インパネボックス	5-16
リバース(R)ポジション警告ブザー	2-18、3-58

リモートコントロールエントリー

システム	3-7
リヤシート	3-24
リヤデフォッガースイッチ	3-46
リヤドアポケット	5-26
リヤワイパー/ウォッシャースイッチ	3-45

ル

ルームミラー	3-29
ルームランプ(室内灯)	5-15

レ

冷却水(ラジエーター液)	
オーバーヒート	7-14
寒冷時の取扱い	6-5
規定水量	8-1

ロ

ロードリミッター	4-6
----------	-----

ワ

ワイパー	
寒冷時の取扱い	6-5、6-6、6-8
ワイパースイッチ	3-45
ワックス	6-2

MEMO